

現状・方向性

◎新たな旅行需要に対応した観光施策のスピーディーかつ柔軟な展開による観光産業の振興

◆新型コロナ感染症拡大の影響により、観光客が大幅に減少し、観光産業は大打撃を受けました。一方で、海外との往来が制限されたことで、日本人の旅行先が国内に限られ、海外から国内へと新たな旅行需要が生じています。こうした需要も取り込み、日々移り変わる社会情勢にスピーディーかつ柔軟に対応し、国の需要喚起策等とも連携し各種施策を展開することで誘客等を図り、裾野の広い産業である「観光産業」の振興を目指します。



R3年度の取組内容

◎安心・安全な観光地の形成

安心で安全な観光地の形成に向け、観光事業者に感染防止策の着実な実施を促すとともに、新型コロナウイルス感染症や各種支援策等の情報提供や相談、業況の把握など、関係事業者と一丸となって取り組むことにより、観光産業の雇用の維持と事業の継続を実現

- ・業種別ガイドラインや新たな旅のエチケットの遵守を徹底するなど宿泊施設・観光施設等のコロナ対策を充実
- ・緊急事態宣言再発令により大打撃を受けた飲食・宿泊・旅行者を給付金により事業の継続を下支え など

◎「新たな旅のスタイル」の普及・促進、デジタル化の推進

コロナ禍での社会変化により、注目度を集めるワーケーションなどを取り入れた「新たな旅のスタイル」の普及・促進や、観光情報検索やコンテンツ予約のオンライン化やキャッシュレスの普及など、デジタルを活用した観光周遊施策を推進

- ・「ワーケーション＝わかやま」のイメージ定着を加速させるため、ワーケーション商品の造成を支援するとともに、ターゲット層を考慮したプロモーションを展開
- ・ワーケーションの利用促進に向け、企業などへの営業を強化
- ・スマートフォン1つで観光周遊できるよう、多言語WEBアプリを構築し、交通パス等のデジタル化を軸に、ワンストップで様々な観光コンテンツを提供する環境を整備
- ・アウトドア志向の高まりを受け、自然に触れ合うサイクリングや体験型観光を活用した誘客を促進 など

<以下、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、各取組を展開>

◎「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開

本県の豊かな自然で大いにリフレッシュしていただけるよう、和歌山の魅力発信する「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを引き続き実施

- ・SNS等を活用した情報発信や京阪神等をターゲットにメディアや旅行会社を対象とした総合プロモーションを実施
- ・メディア系旅行会社とのタイアップによる情報発信及び交通機関等とのタイアップキャンペーンの実施
- ・「わかやま・まるごとスタンプラリー」をはじめとする県内周遊施策の展開
- ・国の施策とも連携し、旅行需要喚起策「わかやまリフレッシュプラン2nd」を実施
- ・新たなプランの提案等による「教育旅行」のさらなる誘致
- ・世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートや首都圏対策として「和みわかやま東京レセプション2021」の開催 など

◎インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開

世界に向けた情報発信をより強化するとともに、往来の制限が解除された国・地域から順次、市場ごとの特性とアフターコロナにおける旅行スタイルの変化に応じたプロモーションを展開

- ・公式WEBやSNS、海外メディア、インフルエンサーを活用し、情報発信を強化
- ・訪日旅行実証事業の機会をとらえ、ツアーを催行する旅行会社や関係機関と連携し、本格的なインバウンド回復期に向けた効果的な情報発信を実現
- ・海外メディアを活用した訪日旅行者向けキャンペーン「RECHARGE WAKAYAMA」を展開 など

1 コロナ禍からの観光産業の振興

(1) 安心・安全な観光地の形成 (本冊 3 頁)

- ◆ガイドラインの徹底による宿泊施設や観光施設等のコロナ対策の充実
- ◆コロナに関する情報や国、県の支援情報の提供および相談受付や業況の把握などによる支援
- ◆緊急事態宣言を受け、売り上げが大幅に減少している飲食・宿泊・旅行事業者の事業継続を給付金により下支え =New=

(2) 「新たな旅のスタイル」の普及・促進、デジタル化の推進 (本冊 5 頁)

- ◆「新たな旅のスタイル」の普及・促進のため、ワーケーションを推進 =New=
- ◆観光周遊の円滑化及び消費の拡大のためデジタル化を推進 =New=
- ◆コロナ禍で高まりを見せるアウトドアを切り口とした誘客を促進 =New=

(3) 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開 (本冊 6 頁)

- ◆県公式WEBサイト「わかやま観光情報」や県公式SNS、各メディアを活用し効果的な情報発信
- ◆「わかやま・まるごとスタンプラリー」をはじめとする県内周遊施策の展開により消費を喚起 =New=
- ◆新たなプランの提案等による「教育旅行」のさらなる誘致
- ◆「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンによる誘客促進
- ◆JR西日本や阪急・阪神ホールディングス等交通機関とのタイアップキャンペーンの展開
- ◆世界遺産「高野・熊野」夢舞台コンサートなど世界遺産を核とした誘客を促進
- ◆「わかやまリフレッシュプラン2nd」による県民による県内消費の喚起策を実施

(4) インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開 (本冊 16 頁)

- ◆公式WEBやSNS、メディアなどの媒体や訪日旅行実証事業を通じ、効果的な情報発信
- ◆新型コロナウイルス感染症の収束期をとらえた「RECHARGE WAKAYAMA」キャンペーンの展開 =New=

2 和歌山を売り出す

(1) 「水の国、わかやま。」で和歌山を売り出す (本冊 18 頁)

- ◆旅行商品造成等を促進するため、引き続き、具体的な周遊モデルコースの設定や周遊案内看板の整備を行うとともに、水にまつわる体験型観光事業者を支援
- ◆「水の国、わかやま。」のスポットを周遊するモバイルスタンプラリーの充実 =New=
- ◆「水」を切り口に本県の自然の素晴らしさを伝えるため、メディア展開するとともに、PR動画やパンフレット、WEB、SNSにより情報発信

(2) 「サイクリング王国わかやま」で和歌山を売り出す (本冊 23 頁)

- ◆サイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを太平洋岸自転車道と連携し拡充 =New=
- ◆有名アニメとのタイアップによる特別企画の実施やインフルエンサーによる効果的な情報発信
- ◆自転車の屋内管理や修理道具の貸し出し等、サイクリストに優しい宿泊施設の拡大を推進

(3) 「わかやま歴史物語」(歴史・浪漫)で和歌山を売り出す (本冊 31 頁)

I 「わかやま歴史物語」

- ◆「わかやま歴史物語」講座(仮称)を東京、大阪で開催
- ◆「わかやま歴史物語」人物編スタンプラリーとして、新たに神代～安土桃山編を展開 =New=

II 周年事業

① 紀州東照宮創建400年 =New=

関西の日光と呼ばれる紀州東照宮、創建400年記念事業の効果的な情報発信による誘客促進

② 逸見万壽丸(へんみまんじゅまる)生誕700年 =New=

道成寺の本堂を再建した逸見万壽丸の生誕700年を記念し実施される、秘仏千手観音像の中開帳などの情報発信により誘客を促進

(4) 「世界遺産」で和歌山を売り出す (本冊 41 頁)

I 新たな魅力情報発信と周遊拡大

- ◆世界遺産公式 Facebook により、『高野山・熊野』の旬の情報を発信
- ◆今年開催される紀の国わかやま文化祭 2021 の一環として、世界遺産の地を舞台にしたコンサート、世界遺産「高野・熊野夢舞台」を開催し、各種メディアを介して全国的に情報発信 =New=
- ◆「高野山・熊野を愛する 100 人の会」メンバーによるイベントの開催や各種活動による情報発信

II 保全と活用

- ◆参詣道の「保全と活用」を図るため、ワーケーションや企業CSRを通じた企業誘致や環境保全トレッキング等により、「道普請」の実施を推進

(5) 「日本遺産」で和歌山を売り出す (本冊 54 頁)

I 「鯨とともに生きる」

- ◆SNSを活用した情報発信により誘客を促進
- ◆県外を対象とした修学旅行誘致の実施 =New=

II 「絶景の宝庫 和歌の浦」

- ◆ガイドブックや特設WEBサイトを活用し、和歌の浦の魅力を総合的に情報発信
- ◆前年度実施のフォトコンテスト写真を活用した T シャツアート展巡りを実施し、エリア内の周遊を促進 =New=

III 『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道のはじまりの地」 =New=

- ◆日本遺産ガイドの養成、小学生向けプログラムの開発など人材育成・普及啓発を実施 =New=
- ◆構成文化財等の解説板や誘導板の作成、ホームページやガイドブック、映像コンテンツの制作により、観光客受入体制を強化 =New=

3 和歌山へ招く

(1) 「メディアを活用」して和歌山へ招く (本冊 85 頁)

- ◆テレビ、雑誌、WEB、SNSなどありとあらゆる媒体を活用し、単体もしくはそれらを複合的に組み合わせ、「世界遺産」のブランド力やマーケットの注目度の高いテーマや「まだまだ知られていない和歌山の魅力」に関する情報を効果的に発信するとともに提案活動を実施
 - ① 企画提案活動・・・ターゲット層にマッチした観光素材を活用した企画提案活動の実施
 - ② 観光情報誌「紀州浪漫」・・・全国の主要書店160店舗等で展開(年間26万部)
 - ③ フィルムコミッション・・・業界関係者に強く働きかけ、ロケ誘致により、映像を通じた和歌山の魅力発信と認知度向上を促進

(2) 「ターゲットごとのプロモーション」で和歌山へ招く (本冊 96 頁)

- ◆若い女性層(情報発信力と旅の決定権)をターゲットの中心とした誘客戦略(情報発信)
- ◆ワーケーションの推進を通じた誘客(旅行商品の造成支援により「ワーケーション=わかやま」の定着を加速)
- ◆CSRによる世界遺産保全活動の推進(誘致活動、保全活動体験ツアー等)
- ◆信用金庫等の年金旅行誘致(営業・誘致活動、地域と一体となったおもてなしの充実等)
- ◆コンベンション誘致推進(開催支援、誘致活動)
- ◆修学・教育旅行の誘致(国内回帰・県内志向の進展など傾向の変化を踏まえ、効果的な誘致活動を展開)
- ◆南紀白浜空港を利用した誘客(エージェンツ等訪問による旅行商品造成働きかけ等を実施)
- ◆和みわかやまキャンペーン(県内周遊を促進するための食のモバイルスタンプラリー等を実施) =New=
- ◆「宇宙」を切り口とした新たな層の開拓(ロケット打ち上げ応援イベントや宇宙シンポジウム等を実施) =New=

(3) 「近畿、東海、西日本等」から和歌山へ招く (本冊 113 頁)

I 阪急阪神グループとのタイアップキャンペーン

- ◆大手私鉄グループの豊富なメディア媒体を活用し、京阪神での効果的な情報発信により誘客を促進
- ◆交通媒体の活用、沿線フリーペーパー等への情報掲載、WEB・SNS等での展開

II JRとのタイアッププロモーション

- ◆「WEST EXPRESS 銀河」の運行に合わせた観光関連事業者等と連携したおもてなしを実施 =New=

(4) 「首都圏」から和歌山へ招く (本冊 124 頁)

- ◆国内最大のマーケットで国内外の情報受発信の拠点である首都圏で、プロモーションを展開し、本県の認知度向上と誘客を促進
 - “和みわかやま”東京レセプション2021
 - 【時期等】10月13日(予定) ホテルニューオータニ東京
 - 【内容】観光PRレセプション、メディアに対する観光素材説明会等

4 和歌山でもてなす

(1) 夜の楽しみ方の提案 (本冊 131 頁)

- ◆「Nightlife in WAKAYAMA ～和歌山の夜の楽しみ方～」の拡充

(2) 快適観光空間の創造 (本冊 132 頁)

- ◆観光地内公衆トイレ整備補助
 - 公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、市町村が行うトイレ整備(大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化等)を支援
- ◆宿泊施設等のバリアフリー化 =New=

(3) 二次交通の利便性向上 (本冊 132 頁)

- ◆リムジンバス・アクセスバスの運行
 - 公共交通を利用して世界遺産を巡る観光客の利便性向上のため、リムジンバス(関西国際空港～高野山)、京都・高野山高速バス(京都駅～高野山)、高野山・熊野聖地巡礼バス(高野山～熊野エリア)、高野山麓世界遺産アクセスバス(高野山麓エリア)を積極的に情報発信し、利用を促進

(4) わかやまおもてなし県民運動 (本冊 136 頁)

- ◆「わかやまおもてなし宣言」の実施
 - 県民一人一人が来訪者への具体的なおもてなしの内容を「わかやまおもてなし宣言」に登録し、実践

(5) 接遇の向上・人材の育成 (本冊 138 頁)

- ◆おもてなし力向上研修会・課題対応研修会の開催
- ◆おもてなしの宿づくりセミナーの開催

5 「海外」から和歌山へ招く、「外国人観光客」をもてなす

(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く (本冊 142 頁)

- ◆関西広域で連携した周遊観光ルートの提案や首都圏からのプラスワントリップ推進等による外国人個人観光客対策を強化
- ◆アフターコロナに対応したアウトドア観光の推進、国立公園や南紀ジオパークと連携した誘客を促進 =New=

(2) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く (本冊 146 頁)

I アジア

- ◆増加する個人観光客をターゲットとしたメディア対策を強化、今後、求められるコンテンツ「安全・安心」や「健康」、「アウトドア(屋外型)」、「サステナビリティ(持続可能性)」をキーワードとした体験プログラムやツーリズムを積極的に提案

II 欧米豪

- ◆世界遺産「高野山・熊野古道」をはじめとした歴史や伝統文化に加え、「サステナブル(持続可能)」であることを重視する傾向を捉え、豊かな自然を生かした体験プログラムやガーデンツーリズムに取り組む。また、関西観光本部や近隣府県との連携を強化し、周遊観光ルートの造成に取り組む

(3) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く (本冊 159 頁)

- ◆多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」やフェイスブック、インスタグラム等SNSによる旬の観光情報を発信
- ◆CNNやBBCなど海外大手メディアを活用したグローバルキャンペーンの展開

(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く (本冊 161 頁)

- ◆「ほんまもん体験」に代表される和歌山ならではの体験型観光の魅力をアピールし、個人旅行者の長期滞在・消費拡大を促進
- ◆サイクリングやゴルフなどの各種アクティビティ、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西開催の機会を捉えたスポーツツーリズムを推進
- ◆県内の医療機関や旅行会社との連携により、健康づくりをテーマにした特色ある医療・ウェルネスツーリズムを推進
- ◆日本の庭園を中心に、周辺の観光地や食文化、体験プログラムを取り入れたストーリー性のあるガーデンツーリズムを国内外に向けて提案 **=New=**
- ◆外国クルーズ客船の誘致に向けた客船運航会社等へのセールスの実施、クルーズ観光情報の発信
- ◆南紀白浜空港への国際チャーター便を利用した県内宿泊ツアー商品造成の働きかけ

(5) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす (本冊 164 頁)

- ◆デジタルを活用した観光周遊環境整備 **=New=**
ウィズコロナ時代の観光ニーズに対応し、スマートフォン一つで観光周遊できる多言語WEBアプリを構築し、ワンストップで様々な観光コンテンツを提供する環境を整備
- ◆公共交通等の移動環境の整備(交通アクセスの改善、多言語案内表示の充実)
- ◆宿泊施設等のバリアフリー化の推進 **=New=**
- ◆和歌山県版通訳ガイドの育成、就業促進のための情報発信
- ◆外国人観光客の受入環境(Wi-Fi、多言語案内表示ほか)の整備
- ◆和歌山ほんまもん体験のインバウンド対応支援
- ◆多言語コミュニケーションツール(電話通訳・簡易翻訳サービスほか)の導入推進
- ◆グローバルメディアを活用した県内事業者の情報発信強化
世界的なグローバルメディアを活用し、観光関係者自身による外国人観光客への情報提供やデータ分析によるマーケティングへの活用などの取組を推進
- ◆消費拡大のためのキャッシュレス決済環境の整備、消費税免税店の拡大
- ◆JNTO認定外国人観光案内所の拡充

【問い合わせ先】

観光局	観光振興課	073-441-2777	竹本、西田、中村
	観光交流課	073-441-2789	山田、古味山

和歌山県観光振興実施行動計画

= 観光振興アクションプログラム 2021 =



和み、和らぐ。 
和歌山から 
はじまる旅。

和歌山県・(公社)和歌山県観光連盟

目 次

令和3年度方針	1
1 コロナ禍からの観光産業の振興	3
(1) 安心・安全な観光地の形成	3
(2) 「新たな旅のスタイル」の普及・促進、デジタル化の推進	5
(3) 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開	6
(4) インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開	16
2 和歌山を売り出す	18
(1) 『水の国、わかやま。』で和歌山を売り出す	18
(2) 『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す	23
(3) 『わかやま歴史物語』で和歌山を売り出す	31
(4) 『世界遺産』で和歌山を売り出す	41
(5) 『日本遺産』で和歌山を売り出す	54
(6) 『温泉』で和歌山を売り出す	62
(7) 『自然の素晴らしさ』で和歌山を売り出す	66
(8) 『食の魅力』で和歌山を売り出す	70
(9) 『ほんまもん体験』で和歌山を売り出す	72
(10) 『ブランド』で和歌山を売り出す	75
(11) 『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す	80
3 和歌山へ招く	85
(1) 『メディアを活用』して和歌山へ招く	85
(2) 『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く	96
(3) 『近畿、東海、西日本等』から和歌山へ招く	113
(4) 『首都圏』から和歌山へ招く	124
4 和歌山でもてなす	131
(1) 夜の楽しみ方の提案	131
(2) 快適観光空間の創造	132
(3) 二次交通（路線バス）	132
(4) わかやまおもてなし県民運動	136
(5) 観光週間	137
(6) 接遇の向上・人材の育成	138

5 『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』を和歌山でもてなす	141
(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く	142
(2) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く	146
(3) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く	159
(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く	161
(5) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす	164

本実行計画は、和歌山県観光立県推進条例第11条に定める観光振興実行行動計画として、同条例が定める基本理念並びに施策の基本方針、そして和歌山県長期総合計画が示す基本的な方向に沿って取り組む令和3年度の観光振興施策をまとめたものです。

【お問い合わせ】 商工観光労働部観光局

観光振興課 073-441-2777

観光交流課 073-441-2789

令和3年度方針

令和2年の観光客数（速報値）は総数：24,784千人（うち日帰り客数：21,540千人、宿泊客数：3,244千人泊）、外国人宿泊客数：45千人泊と、大幅に減少しました。そのうち、宿泊客数は昭和37年以降、総数は平成元年以降最低を記録しました。（昭和34年調査開始）

昨年はゴールデンウィークを含む4月から5月にかけて全国で緊急事態宣言が発令されたことによる都道府県間の往来自粛、各地で開催予定のイベント等の中止、夏休み期間の短縮など新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光産業は大きな打撃を受けました。7月以降の「わかやまリフレッシュプラン」やGo To トラベル事業などの需要喚起策により観光客数は一時的に回復傾向にあったものの、年末からの第3波の感染拡大により、Go To トラベル事業が停止され、年明けには2度目の緊急事態宣言が首都圏や京阪神地域などに発出されるに至り、観光需要は長期にわたって冷え込んだままの状態が続いています。

こうしたなか、和歌山県では独自の施策として全産業を対象とした「事業継続支援金」や「県内事業者事業継続推進事業」などに加え、観光関連産業に特化した「観光客あんしん受入環境整備事業」や「観光関連事業者緊急融資」などの支援も講じてきました。

新型コロナウイルス感染症との戦いは当分の間続くことが想定されるため、令和3年度においても、安心・安全な観光地の形成に向け、宿泊施設、観光施設等の感染症対策の充実を図るとともに、「飲食・宿泊・旅行業給付金」により事業の下支えを行っていきます。事業者支援については、今後も業況を的確に把握し、必要な施策をスピーディーに実施していきます。

また、コロナ禍のなか、人と人との接触や人混みを回避するため、職場ではテレワークが一気に普及し、余暇の過ごし方では屋外でのアクティビティに注目が集まっています。こうした社会の変化や新たなニーズに的確に対応する「新たな旅のスタイル」を和歌山県から全国に提案し、普及・促進に取り組みます。具体的には、和歌山がワーケーションの最適地であるとのイメージ定着を加速させるため、ワーケーションに関する旅行商品の造成支援、プロモーション展開、企業等への提案活動などに取り組みます。また、体験事業者等を対象としたワークショップや個別指導等を通して体験メニューを磨き上げ、オンラインエージェントと連携して情報発信していきます。

昨年度から実施している「蘇りの地、わかやま」キャンペーンについては、今年度も引き続き展開し、コロナ禍における行動制限などにより閉塞感が世の中を覆うなか、「蘇り」や「リフレッシュ」をキーワードに、「自然・絶景」、世界遺産「高野山、熊野」、「パンダ」、「有名温泉」、「歴史」、「体験」など、和歌山がもつ様々な観光資源の魅力を広く訴求していきます。

また、県内や近隣府県からの修学旅行をはじめ、今年度、初号機の打ち上げが予定されている民間ロケットや、夏以降に運行されるJR西日本の特別急行列車「WEST EXPRESS 銀河」について、地元自治体、関連事業者等と連携し、誘客に繋がります。

インバウンド誘客については、現在も入国制限が継続しているため、海外プロモーション

ンが制約されている状況ではありますが、本年1月に世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」において、その年の最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」読者投票の「サスティナビリティ」部門において「和歌山」が世界で唯一選出されるなど、引き続き海外からも高く評価されています。

今後、海外での新型コロナウイルス感染症の収束状況を見極めつつ、まずは海外大手メディアやSNSを活用したデジタルプロモーションによる情報発信に取り組み、沈静化の見通しが確認された国・地域から順次、機会を逃すことのないよう段階的に海外プロモーションを展開してまいります。

特に、外国人観光客が集中していたゴールデンルートから地方部への誘客を促進するため、京都・大阪、首都圏から紀伊半島へのプラスワントリップを目指した「広域周遊ルート」を構築し、「東京2020オリンピック・パラリンピック」「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に向け、東京観光財団や関西観光本部、田辺市熊野ツーリズムビューローをはじめエリア内のDMO（観光地域づくり法人）など関係機関と連携した共同プロモーションやCNNやBBCなど大手海外メディア媒体を使ったグローバル・メディアキャンペーン、旅行エージェント・メディアの招へい事業に取り組みます。

受入体制面では、外国人観光客の旅行形態が急速に個人旅行化していることから、これまでもバス停の多言語化など、二次交通アクセスの改善やキャッシュレス対応など個人観光客がストレスなく県内を周遊できる観光地づくりに取り組んできたところです。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、今後、国内外からの観光客の旅行スタイルが変化していくことが予想される中、これまでの観光コンテンツの魅力に加え、混雑している都市部よりもクリーンな自然環境や感染症対策などの安心・安全な受入体制が整っている場所やバリアフリー対応をはじめ、旅行者の多様なニーズに対応した観光地が好まれるものと思います。

このため、県では、そのような課題認識に向けた機運の醸成を図るとともに、クリーンで安心・安全な受入体制に加え、旅行者の多様なニーズに対応した観光地づくりを推進してまいります。

県及び観光連盟は、令和3年度も引き続き「和歌山ブランドの拡大」、「持続可能な観光地づくり」、「県内周遊」、「消費拡大」を基本コンセプトに、「和歌山の魅力」を国内外に発信し、和歌山への旅行動機の喚起を主軸に取組を進めてまいります。実行にあたっては、国内各地域や海外の国・地域のマーケットニーズやトレンドをオンタイムで収集、分析することで、観光資源や地域毎のターゲットを明確にし、継続的なメディアへの提案活動、旅行会社への情報提供、企業とのタイアップなどにより戦略を効果的に具現化してまいります。また、受入体制については、常にお客さまの視点に立ちハード、ソフト両面での充実に努めてまいります。

なお、本実施計画の実行にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況を含め、社会情勢を十分勘案し、誘客活動の重点地域、その手法、時期などについて情勢に応じた検討を加えることで臨機応変な対応に努めます。

1 コロナ禍からの観光産業の振興

(1) 安心・安全な観光地の形成

観光産業の雇用の維持と事業の継続に向け、業種別ガイドラインや新たな旅のエチケットの遵守など、感染拡大防止策の着実な実施を促すとともに、県内観光事業者に対し、新型コロナウイルス感染症に関する情報の提供や相談の受付、業況把握など、安心して安全な観光地の形成に向け、関係事業者と一緒に取り組めます。

◇ガイドラインの徹底等による宿泊施設・観光施設等のコロナ対策の充実

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、業種別ガイドラインや新たな旅のエチケットの遵守を促す等、コロナ対策を充実することにより、旅行先として安心して安全な観光地「和歌山」を実現します。

◇県内観光事業者に対し、コロナ関連情報の提供及び相談受付や業況の把握等の支援

公式HPを活用し、新型コロナウイルス感染症や支援に関する国や県などの情報を発信するとともに、観光事業者からの相談の受付や業況の把握に努め、効果的な観光施策の立案、実施につなげます。

◇飲食・宿泊・旅行業給付金 **=New=**

新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令されたことを受け、売上が大幅に減少している和歌山県内の飲食業、宿泊業及び旅行業の事業継続を下支えするため、給付金により、事業の継続と雇用の維持を図ります。

<対象者> 対象月のうち、ひと月の売上高が前年同月比で50%以上減少した中小法人・個人事業主であって次の業種に該当する事業者

ただし、2年1月、2月の売上高合計が15万円未満の事業者は除く

ア 飲食業：食品衛生法の許可(※)を受けた事業者であって、和歌山県内に店舗を有する者

イ 宿泊業：旅館業法の許可(※)を受け、又は住宅宿泊事業法の届出(※)をしている事業者であって、県内に施設を有する者

ウ 旅行業：旅行業法の登録(※)を受けた事業者であって、県内に主たる営業所を有する者

※ 2年12月31日までに許可等を得、対象店舗等において営業の実態があるもの

<対象月> 1月又は2月

<給付額> 従業員(※)規模に応じ、15万円から60万円

※常時使用する従業員の数	5人以下	15万円
	6人以上20人以下	30万円
	21人以上50人以下	45万円
	51人以上	60万円

<申請期間> 3月23日(火)から5月31日(月)まで(予定)

2020 実績

◇県内事業者事業継続推進事業

<内 容> 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内中小企業等に対し、新たな取組に係る経費を補助

※補助限度額：最大100万円／補助率：対象経費の2／3以内

<時 期> 8月31日受付終了

<件 数> 253件 （観光関連事業者のみ）

<補助額> 192,584千円

◇事業継続支援金

<内 容> 新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を下支えし、再起を支援

※支援額：原則20万円～100万円（従業員規模に応じ支援）

<時 期> 5月15日～3年2月28日（受付～3年3月26日）

<件 数> 50件 （観光関連事業者のみ）

<補助額> 11,360千円

◇和歌山県観光客あんしん受入環境整備

<内 容> 観光客が安心して訪問できる魅力ある観光地を形成するため、県内観光関連事業者が実施する持続的な感染拡大防止、感染リスク軽減に資する大規模な投資を伴う施設の整備等に要する経費を補助

※補助限度額：最大1,000万円

※補助率：対象経費の2／3以内（大企業）、3／4以内（中小企業）

<時 期> 7月1日～3年2月28日（受付～10月8日）

<件 数> 96件

<補助額> 498,078千円

◇観光関連事業者緊急融資

<内 容> 観光関連事業者向けの1年間無利子、全期間保証料免除の融資

※限度額：4,000万円

※融資期間：10年以内

<時 期> 12月31日受付終了

<件 数> 80件

<融資額> 2,072,360千円

(2) 「新たな旅のスタイル」の普及・促進、デジタル化の推進

コロナ禍により、海外との往来が制限され、本県を訪れる外国人観光客は激減する一方で、日本人の旅行先の選択肢が国内に限られたことにより、海外から国内へと新たな旅行需要が生じています。これらの変化を捉え、減少した観光客を取り戻し、本県へのさらなる誘客を図るため、訴求力のある情報を発信します。

また、「新たな旅のスタイル」の普及・促進を図るとともに、観光情報検索やコンテンツ予約のオンライン化、キャッシュレスの普及など、デジタルを活用した観光周遊施策を推進します。

I 「新たな旅のスタイル」の普及・促進 **=New=**

新型コロナウイルス感染症の流行以降、テレワークのイメージ定着が進み、ワーケーションの機運が高まったことを踏まえ、「ワーケーション=わかやま」の定着を一気に加速させるための施策を展開します。 [詳細 98 頁](#)

◇受入環境整備促進

ワーケーション向けのサービスを提供する事業者「Wakayama Workation Networks」を拡充し、受入体制を充実します。

◇旅行商品造成支援

わかやまで気軽に「ワーケーションが体験できる体制」を整備するため、旅行商品の造成を支援します。

<内容> 旅行会社を対象としたファムツアーの実施、エリア事業者との商談会の開催

◇利用促進

ワーケーションの利用促進に向け、首都圏及び都市圏において、ビジネスパーソンやフリーランスなど、ターゲット層を考慮したメディアによるプロモーションや企業等への営業活動を展開します。

II 観光デジタル化推進 **=New=**

情報検索やコンテンツ予約のデジタル対応、キャッシュレスの推進など、非接触が求められるウィズコロナ時代の観光ニーズに対応し、スマートフォン1つで観光周遊できるよう多言語WEBアプリを構築し、交通パス等のデジタル化を軸にワンストップで様々な観光コンテンツを提供する環境を整備します。 [詳細 164 頁](#)

III 「和歌山で楽しむアウトドア（仮称）」 **=New=**

新型コロナウイルス感染症の流行以降、“密”を回避する旅行が主流となっており、特に、自然に触れ合うアウトドア志向が急激に高まっています。これらの変化をとらえ、本県の豊かな自然を生かした素晴らしいアウトドアフィールドで大いにリフレッシュしてもらうため、情報発信や体験メニューのブラッシュアップを行い、誘客につなげます。

[詳細 68 頁](#)

(3) 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの展開

新型コロナウイルス感染拡大による影響からの回復を着実なものとするため、情報発信や周遊施策の実施など、昨年度から展開している本県の豊かな自然で大いにリフレッシュしてもらおう「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを継続します。

I 多様なチャンネルを活用した情報発信

◇県観光情報サイト「わかやま観光情報」・「わかやま紀州館」からの情報発信

「わかやま観光情報」ホームページに開設している「蘇りの地、わかやま」特設サイトを活用し、キャンペーン情報を発信するとともに「わかやま紀州館」ホームページにおいてもキャンペーン情報やわかやまの観光情報を発信します。 [詳細 91 頁](#)

◇SNSを活用した情報発信

県及び観光連盟が運営するSNSツールを活用し、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの一環として、和歌山での旅の思い出を集めた「グッドトリップ和歌山」の情報や本県が誇る海、山、川がもつ豊富な観光資源など、見るだけで心身のリフレッシュにつながり、和歌山への旅行動機を掻き立てる情報を発信します。 [詳細 92 頁](#)

<ツール>

Twitter ・わかぱん Twitter

・わかやま紀州館 Twitter

LINE ・わかやま紀州館 LINE

Facebook ・水の国、わかやま。

・WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま

・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～

Instagram ・nagomi_wakayama_tourism

◇県観光情報誌を活用した情報発信

観光連盟が発行する観光情報誌において、キャンペーン情報をはじめ、旬の観光情報とマーケットニーズに即応する誌面を制作し、全国に発信します。 [詳細 90 頁](#)

◇各メディアを活用した情報発信

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBなどの各種メディアに対し、それぞれのコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材やキャンペーンの提案活動を行うなど、メディアでの情報発信につなげます。 [詳細 85 頁](#)

2020 実績

◇和歌山観光ホームページ「わかやま観光情報」による情報発信

<時期> 6月11日～

<内容> 知事メッセージの掲載並びにキャンペーンの告知などを発信

・第1弾キャンペーン：

「わかやまリフレッシュプランの販売」及び「特別企画スタンプラリー※」など

※わかやまの休日2ndスタンプラリー、わかやま記紀の旅周遊スタンプラリー、WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー
 ・第2弾キャンペーン：
 「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンの実施

◇SNSによる情報発信

○Twitter

・わかぱん Twitter

<投稿回数> 102回 <フォロワー> 8,750人

・わかやま紀州館 Twitter

<投稿回数> 318回 <フォロワー> 7,757人

○LINE

・わかやま紀州館 LINE

<投稿回数> 23回 <友だち数> 5,159人

○Facebook

・水の国、わかやま。

<投稿回数> 32回 <フォロワー> 8,101人

<広告回数> 2回

・WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま

<投稿回数> 41回 <フォロワー> 7,147人

<広告回数> 2回

・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～

<投稿回数> 98回 <フォロワー> 14,118人

<広告回数> 2回

○Instagram

・nagomi_wakayama_tourism

<投稿回数> 35回 <フォロワー> 11,406人

◇知事メッセージによる情報発信

<時期> 6月19日～

<内容> 和歌山への来県を促すメッセージをYouTubeで発信

<時期> 7月1日

<内容> 全国旅行会社向けに本県への旅行商品の造成を依頼する文書をメールで配信

◇メディア展開

○新聞、雑誌等

名称	掲載テーマ	発行日等
WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	6月19日
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月7日

Facebook		
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	県民リフレッシュプラン等について	7月9日
(株)和歌山リビング新聞社 「リビング和歌山」	自然豊かな和歌山のみどころ、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月11日
水の国、わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月14日
(株)名古屋リビング新聞社 「CityLiving WEB」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月17日
(株)名古屋リビング新聞社 「CityLiving」名古屋版	タイアップ企画「観光お試しBOX」、「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月17日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月18日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山 PLUS」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月20日
(株)ゲイン 「KELly (9・10月合併号)」	ヘッドラインニュース「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月21日
(株)ゲイン 「日刊 KELLy」	ヘッドラインニュース「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月21日
読売新聞大阪本社 「読売新聞大阪本社版」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月21日
WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月21日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY」9月号	自然豊かな和歌山のみどころ、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月23日
(株)和歌山リビング新聞社 「Lism」	自然豊かな和歌山のみどころ、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月25日
ロカルわかやま運営委員会 「ロカルわかやま」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月29日 ～8月31日
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～ Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月30日
水の国、わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	8月17日
(株)KADOKAWA	和歌山の自然を体験しよう 絶景	8月20日

「関西ウォーカー」	&アクティビティ、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	
サンケイ広告(株)奈良支社 「Prime Time」	高野山、串本エリアのアート空間を紹介、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	8月下旬
(株)ゲイン 「KELLY (11月号)」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	9月23日
ABC朝日放送 「おはよう朝日土曜日です」	紅葉先取り！秋の高野山巡り	10月31日
観光専門誌トラベルニュース at 11月10日号	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	11月10日
(株)KADOKAWA 「ウォーカープラス」	魅力いっぱいの熊野1泊2日旅	11月26日

◇「蘇りの地、わかやま」キャンペーンコンサート（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

<時期等> 10月17日 白良浜

<規模> 400名程度

<内容> コンサートの内容を含め、「白良浜」を中心とした本県の魅力を全国に向けてPRする番組を放映

II 県内周遊施策

◇「わかやま・まるごとスタンプラリー」による周遊促進 **=New=**

昨年度から取り組んでいるスマートフォン等を活用したモバイルスタンプラリーを継続し、さらなる充実を図り、県内の周遊を促進します。

<時期> ~ 4年2月28日

※「南紀熊野ジオパーク」については4月、「和みわかやまっぷ with スタンプラリー」については、9月中旬開始予定

<内容> 「わかやま歴史物語」人物編（江戸～近代）[\[詳細 33 頁\]](#)、「水の国、わかやま。」[\[詳細 18 頁\]](#)、「和みわかやまっぷ with スタンプラリー」[\[詳細 109 頁\]](#)、「南紀熊野ジオパーク」[\[詳細 66 頁\]](#)の4つのメニューで開催

◇「WAKAYAMA800モバイルスタンプラリー」による周遊促進

サイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを継続、拡充し、サイクリストのさらなる周遊を促進します。 [\[詳細 23 頁\]](#)

2020実績

◇わかやまリフレッシュプラン（県民の県内周遊の促進）

<時期> 7月8日～9月30日 ※9月30日出発分まで対象

<対象> プラン利用者：和歌山県内在住の方
参加事業者：宿泊施設、旅行業者

- <内 容> 一人、最大10,000円（総旅行代金の1/2以内）を割引
 ※対象プラン等：一人あたり5,000円以上の日帰り・宿泊プラン
 （利用回数及び泊数の制限なし）
- <方 法> 電子チケット（額面5,000円）を2,500円で販売
 ※1人1泊（1回）あたり4枚まで
- <実 績> 販売枚数 333,439枚
 利用枚数 331,112枚 （利用率 99.3%）
 利用人数 141,764人
 参画事業者数 332社（宿泊施設 261社、旅行業者 71社）

◇WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリー “3rd season” 詳細 24 頁

◇「わかやま記紀の旅」周遊スタンプラリー 詳細 33 頁

◇「わかやまの休日」2ndスタンプラリー 詳細 111 頁

◇わかやま・まるごとスタンプラリー

<時 期> 10月30日～4年2月28日

<内 容> スマートフォン等を活用した2つのスタンプラリーを実施

①わかやま歴史物語 人物編（江戸～近代）

「わかやま歴史物語」の中から、江戸時代以降に活躍した人物にゆかりのある28のストーリーを巡るスタンプラリー

※県内周遊を促進するため1つのストーリーにそれぞれ3か所のチェックポイントを設置し、3か所全て訪れると当該ストーリーのスタンプ獲得

②水の国、わかやま。

水にまつわる観光資源を紹介する「水の国、わかやま。」の中から滝と絶景の2つのコースを巡るスタンプラリー

※「滝めぐり」、「絶景」の各コースにそれぞれ15か所のチェックポイントを設置し、1か所で1つのスタンプを獲得

<参加状況> *3月14日現在

- ・参加者：1,092人（男性 530人、女性 531人、その他6人、無回答25人）
- ・年代別：10代以下：17人、20代：92人、30代：166人、40代：306人、50代：356人、60代以上：155人
- ・都道府県別：大阪府：155人、奈良県：17人、兵庫県：15人、愛知県・三重県：11人、滋賀県：9人、京都府：8人、東京都：7人、埼玉県：5人、その他：25人、和歌山県：829人

Ⅲ 宿泊促進

◇「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンによる誘客促進

県内に宿泊された方の中から抽選で現金キャッシュバックやペア宿泊券、プレミアム和歌山認定商品が当たるキャンペーンを実施します。

<時期> ~4年2月
<内容> 県内に宿泊し、応募すると毎月抽選で豪華景品プレゼント(現金、ペア宿泊券、プレミアム和歌山認定商品など)

2020実績

◇「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーン

<期間> 10月1日~3年2月28日

<内容> 県内宿泊施設に宿泊し応募した方の中から抽選で毎月現金10万円等の豪華賞品をプレゼント

<賞品> 現金10万円 : 毎月3人
3万円分ペア宿泊券 : 毎月30人
プレミアム和歌山認定商品5千円分 : 毎月30人
同3千円分 : 毎月60人

<応募数> 8,836人

【内訳】 県内 4,726人、県外 4,110人

男性 4,009人、女性 4,797人、無回答30人

IV 教育旅行の誘致

◇新たなプランの提案等による「教育旅行」のさらなる誘致

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、教育旅行の目的地が海外から国内へ、遠方から近場へと変更される傾向がみられます。また、県内学校が県内を周遊する修学旅行を実施する新たな動きもみられます。

これら国内回帰、県内志向の進展を踏まえ、地域に密着した和歌山ならではの生活文化、地域産業、農林漁業などの体験メニューを活用し、SDGsの理念に沿って学び・体験できる学習プログラム、新学習指導要領に盛り込まれる「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた学習プログラムを提案することにより、修学・教育旅行の誘致を図ります。 [詳細103頁](#)

2020実績

◇国内教育旅行誘致 [詳細104頁](#)

V 交通機関等とのタイアップキャンペーンの展開

JRや阪急・阪神ホールディングス等、交通機関とタイアップしたキャンペーンを展開します。

◇JR西日本とのタイアップ [詳細117頁](#)

○JR6社主要駅での和歌山県観光PRポスター掲出

<時期> 10月(1か月間)

<内容> 和歌山県観光PRポスター(5連貼)をJR6社の主要駅に掲出

○「WEST EXPRESS 銀河」運行

<時 期> 夏～秋

<内 容> JR西日本の「WEST EXPRESS 銀河」が紀南方面へ運行予定。地域で乗客におもてなしを実施。

◇**阪急・阪神ホールディングスとのタイアップ** 詳細 113 頁

<時 期> 9～10月

<内 容> 「蘇りの地、わかやま」、「サイクリング王国わかやま」など

◇**南海電鉄とのタイアップ** 詳細 118 頁

<時 期> 未定

<内 容> 南海電鉄（高野線）と情報交換・連携を密にし、真田ゆかりの地・九度山及び高野エリアを効果的にプロモーション

◇**和歌山電鉄とのタイアップ** 詳細 118 頁

<時 期> 未定

<内 容> 全国的な知名度がある「執行役員ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」、また「いちご電車」「おもちゃ電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鉄とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進

◇**JALとのタイアップ** 詳細 107 頁

<時 期> 未定

<内 容> 南紀白浜空港利用促進のため、首都圏旅行会社を対象にファミツアーを実施

◇**NEXCOとのタイアップ** 詳細 119 頁

<時 期> 4月～4年3月

<内 容> 「お国じまんカードラリー2021」への参画や主要SAでの観光パンフレットを配置

◇**南海フェリーとのタイアップ** 詳細 121 頁

<時 期> 9月～4年3月

<内 容> 南海フェリー利用者に対してパンフレット掲載施設の利用特典の付与やファミリー層をターゲットにしたイベントを実施

2020 実績

◇京阪神プロモーションの実施

市町村や地域観光団体と協働で旅行会社へプロモーション

<時 期> 6月23～26日

<場所等> 京都市：京都新聞旅行センター・ヤサカ観光旅行センター・読売旅行・アルファトラベル・都観光ツアーリスト【那智勝浦町・古座川町観光協会と協働】

大阪市：読売旅行・日本旅行・タビックスジャパン・農協観光【橋本市・湯浅観光まちづくり推進機構と協働】、産経新聞開発・近畿日本ツーリスト・南海国際旅行・毎日新聞大阪開発・阪急交通

社【和歌山市・九度山町と協働】

神戸市：山陽バス・神戸新聞旅行社・神姫バスツアーズ・農協観光

【岩出市・新宮市と協働】

姫路市：農協観光【岩出市・新宮市と協働】

◇西日本・東海プロモーションの実施

市町村や地域観光団体と協働で旅行会社へプロモーション

<時期> 6月30日～7月2日

<場所等> 名古屋市：名阪近鉄旅行・阪急交通社・JR東海バスツアーズ・西鉄旅行・農協観光【和歌山市・新宮市観光協会と協働】

岡山市：下電観光バス・タビックスジャパン・農協観光・山陽新聞・阪急交通社・両備バスカンパニー【新宮市と協働】

広島市：タビックスジャパン・JTBメディアリテリング・ひろでん中国新聞旅行・クラブツーリズム・読売旅行・農協観光【新宮市と協働】

福岡市：農協観光・日本旅行・名鉄観光・クラブツーリズム・西日本新聞旅行・阪急交通社【県単独】

◇JR西日本とのタイアップ [詳細118頁](#)

JR西日本と協働で本県への誘客につなげるよう様々な取組を展開

○「蘇りの地、わかやま」観光PRイベント

○JR西日本主要駅でのポスター掲出・デジタルサイネージ放映

○JR6社主要駅での和歌山県観光PRポスター掲出

◇阪急・阪神ホールディングスとのタイアップキャンペーンの実施 [詳細113頁](#)

本県最大のマーケットである「京阪神エリア」での効果的な発信と誘客を加速させるため、阪急・阪神ホールディングスが持つ、多くの情報発信媒体を活用したタイアップによる「今が旬わかやまキャンペーン」を実施

◇JALとのタイアップ [詳細108頁](#)

◇NEXCOとのタイアップ（お国じまんカードラリー2020） [詳細120頁](#)

NEXCO 西日本が実施する西日本広域連携キャンペーン「お国じまんカードラリー」に参画し誘客を促進

◇南海フェリーとのタイアップ [詳細121頁](#)

南海フェリーと協働でフェリーを利用した本県への誘客、周遊促進につなげるための各種事業を展開

VI 世界遺産「高野山・熊野」を核とした誘客

世界遺産のブランド力を最大限に活用し、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンで展開するプロモーションにおいて世界遺産「高野山・熊野」の発信を強化するとともに次の施策に取り組みます。

◇10万人の参詣道環境保全活動の実施

CSRや来訪者等による環境保全活動をはじめ、語り部と歩きながら、参詣道の保

全活動を実践する環境保全トレッキングを開催し、県民の参加はもとより、県外からの誘客を積極的に図ります。 [詳細 46 頁](#)

<時 期> 保全活動 通年

環境保全トレッキング 3回（予定）

<場 所> 高野参詣道・熊野古道中辺路・熊野古道大辺路（予定）

◇**経済誌でのPR・保全活動体験ツアーによるCSR活動の誘致**

参詣道の保全活動「道普請（※）」と世界遺産の魅力に関する記事を掲載するとともに、保全活動体験ツアーを実施し、ツアーに参加した企業との接触・交流を積極的に行い、保全活動を通じた企業（団体）の来訪を促進します。 [詳細 46 頁](#)

※文化財保護専門家の指導の下、土を運び、参詣道の損傷を修理する作業

◇**「高野山・熊野を愛する100人の会」による情報発信**

元年7月の世界遺産登録15周年を契機に設立した、各界著名な方からなる100人の会を通じ、「高野山」「熊野」の価値の継承とさらなる魅力の発信につながる取り組みを展開します。 [詳細 43 頁](#)

◇**世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートによる情報発信**

世界遺産の地を舞台に著名なアーティストのコンサートを開催し、誘客を図るとともに、コンサートの模様とあわせ、世界遺産の魅力について各種メディアを介して全国に情報発信します。 [詳細 42 頁](#)

2020 実績

◇「高野山・熊野を愛する100人の会」による情報発信 [詳細 44 頁](#)

◇10万人の参詣道保全活動実績

（参加330人、事業開始から延べ33,841人） [詳細 46 頁](#)

◇参詣道スタンプを活用した誘客促進 [詳細 51 頁](#)

◇世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス [詳細 136 頁](#) *観光振興課・観光交流課協働

◇「京都・高野山線」高速バス [詳細 136 頁](#) *観光振興課・観光交流課協働

◇「関西空港・高野山線」リムジンバス [詳細 136 頁](#) *観光振興課・観光交流課協働

VII テーマ別の取り組み

現在展開している各テーマを活かした取り組みにより誘客を促進します。

◇**「水の国、わかやま。」による取組**

「水」を切り口に本県の自然のすばらしさを伝えるため、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーを実施するとともに、PR動画やガイドブックによる情報発信を行い、県内の周遊、誘客を促進します。 [詳細 18 頁](#)

◇**「サイクリング王国わかやま」による取組**

県内の周遊促進、地域内での消費拡大のため、有名アニメとのタイアップした特別企画を実施するなど、ターゲットに効果的な情報発信をすることにより誘客を促進します。 [詳細 23 頁](#)

◇**「わかやま歴史物語」（歴史・ロマン）による取組**

本県の歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などの観光資源を組み合わせ100の旅モデルを紹介することにより、県内の周遊、誘客を促進します。 [詳細 31 頁](#)

2020 実績

- ◇『水の国、わかやま。』による取組 [詳細 18 頁](#)
- ◇『サイクリング王国わかやま』による取組 [詳細 24 頁](#)
- ◇『わかやま歴史物語』（歴史・ロマン）による取組 [詳細 32 頁](#)

Ⅷ 県内の旅行需要喚起策

第3波による緊急事態宣言が発令されて以降、旅行マインドが一層冷え込み、観光関連産業は極めて厳しい状況。この状況を打破するべく、国が実施する「地域観光事業支援」事業を活用し、県民による旅行需要や県内消費を喚起します。

◇「わかやまりフレッシュプラン2nd」の実施

県民が県内の宿泊施設や観光施設を利用する旅行に対して、一人泊あたり総旅行代金の1/2、10,000円を上限に支援（日帰り含む）することで旅行需要を喚起します。

併せて、旅行期間中に土産物店や観光施設等で利用できるクーポン券を付与することにより、県内消費も喚起します。

2020 実績

- ◇わかやまりフレッシュプラン（県民の県内周遊の促進） [詳細 9 頁](#)

(4) インバウンドの段階的回復に向けたプロモーション展開

世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が、その年の最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」のサステナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票で「和歌山」が世界で唯一選出されました。本県の豊かな自然を背景として、観光資源と地域とが持続可能な形態で上手く維持されていることが高く評価されたものと考えます。

近年、「サステナブル（持続可能）」であることは、観光客が旅行先を検討するうえで重要な要素になってきており、これからの大きなトレンドになると考えられています。世界的に知名度が向上してきた熊野や高野山だけでなく、和歌の浦、白浜温泉、西国三十三所巡りなど古くから持続可能な形で維持されてきた本県の観光地の魅力は世界各国から高い評価を得ています。また、国内外の様々な機関が実施した調査においても、コロナ収束後に訪れたい国として日本は常に上位にあり、訪日旅行再開への期待が高まっていることから、新型コロナウイルス感染症の収束期にはインバウンドの急回復が期待できる場所です。

インバウンドの早期回復は厳しい状況にあります。県では、こういった情勢を踏まえ、世界に向けた情報発信をより強化するとともに、今後、往来の制限が解除された国・地域から順次、市場ごとの特性とアフターコロナにおける旅行スタイルの変化に応じたプロモーションを展開します。

I 情報発信

◇公式WEBやSNS、海外メディア、インフルエンサーを活用した情報発信 [詳細 159 頁]

インバウンドの回復期に向けて、多言語観光WEBサイト・SNS「VISIT WAKAYAMA」に掲載する観光情報を更に充実させるとともに、海外メディアや日本国内に拠点を置くインフルエンサーを活用した情報発信をより強化します。

◇訪日旅行実証事業を通じた情報発信

観光庁が、インバウンドの再開に向けて、防疫措置の徹底を条件に試行的に実施する実証事業の機会を捉えて、ツアーを遂行する旅行会社や関係機関と連携し、本格的なインバウンド回復期に向けた効果的な情報発信を行います。

2020 実績

◇県多言語WEBサイト等による情報発信 [詳細 160 頁]

○多言語観光WEBサイト「VISIT WAKAYAMA」

<時期> 通年

<内容> 9言語（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語繁体字・簡体字、韓国語、タイ語、インドネシア語）で運営する公式サイトで観光情報を発信

○多言語SNS「VISIT WAKAYAMA」

<時期> 通年

<内 容> 公式SNS (Facebook、Instagram) を活用し英語による観光情報を発信

○観光プロモーターによる情報発信

<時 期> 通年

<内 容> 海外6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置する観光プロモーターを通じて、現地メディアやSNS等の活用による情報発信を実施

◇海外向け観光キャンペーン

○BBCオンライン及びCNNオンライン等との共同観光キャンペーン 詳細 160 頁

II 「RECHARGE WAKAYAMA」キャンペーン =New=

新型コロナウイルス感染症の収束期を捉え、海外メディアを活用した訪日旅行者向けキャンペーンを展開することでインバウンドの回復を図ります。

2 和歌山を売り出す

(1) 『水の国、わかやま。』で和歌山を売り出す

和歌山県は、「木の国」と言われていますが、森林を育むのは「水」であり、「水」を育むのは森林です。県内各地には、水や森林に関連する清流・滝・海・温泉などのスポットや醤油・酒・酢などの食、カヌーやラフティングなどの体験メニューといった多くの「水」に関連する観光資源が存在します。また、「水」の造形でもある南紀熊野ジオパークや水辺を楽しむサイクリングロードなども「水」にまつわる観光資源です。

これら観光資源を「水を見る」、「水が創る」、「水と遊ぶ」といった「水」を切り口とした意外性のあるテーマ設定で整理し発信することにより、これまで集客力が弱かった観光資源に焦点をあて注目度を高めます。また、世界遺産ブランドを取り込んだ観光資源のゾーニングを形成することにより、新たな「和歌山の魅力」を発信します。

さらに受入体制の一層の充実を図るため周遊案内板などの整備を拡充するとともに、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーを実施することで、県内周遊を促進します。

また、観光資源の開発やブラッシュアップにより集客力を高め、将来に繋がる持続可能な観光地づくりを目指します。

I 受入対策

受入体制の整備

県内全域の「水」に関連する観光資源を洗い出し、お客様が楽しんで周遊できる具体的なモデルコースの設定を行い、新商品の開発に繋がります。

◇「水の国、わかやま。」モバイルスタンプラリーの充実 =New=

2つのコース「滝」「絶景」を継続し、新たなスポットを加えるなど内容の充実を図ります。

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定や看板整備を行います。

※嶽の森山（古座川町）を予定

◇体験観光の開発支援

新たに「水」に関連する体験型観光を実施する事業者に対する支援を行います。

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の紹介

県内全域の「水」に関連する観光資源の情報を取りまとめ、WEBサイトに掲載します。

2020実績

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の更新

県内全域の「水」に関連する観光資源を洗い出し、地域ごとに整理してWEBに掲載

◇具体的なモデルコースの設定や周遊看板の拡充

「水」の絶景スポットを周遊するモデルコースの設定・提案や看板整備を実施
次の滝（有田川町）

◇水に関連する自然環境を活用した体験観光事業の開発支援

＜時期＞ 6月19日～7月22日（公募期間）

＜内容＞ 水に関連する自然環境を活用した体験観光事業者に対して、「水の国、わかやま。」体験観光事業者スタートアップ補助金により支援
・補助率（補助金限度額）1/2以内（100万円）
・採択事業者数 9事業者

◇「水の国、わかやま。」モバイルスタンプラリー

＜時期＞ 10月30日～4年2月28日

＜内容＞ スマートフォン等を活用したスタンプラリーを実施
・滝と絶景の2つのコースを巡るスタンプラリーを企画
※「滝」「絶景」の各コースに15か所のチェックポイントを設置し、1か所で1つのスタンプを獲得



II 誘客宣伝

情報発信

「水」に関連する観光資源を世界遺産などのブランド力や集客力の高い観光資源と絡めながら、効果的な情報発信を行います。

◇メディア展開

○雑誌などによる情報発信

＜時期＞ 随時

＜内容＞ 女性向け、自然志向の雑誌やWEBなど

◇パンフレット、WEBサイト、PR動画による情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

＜時期等＞ 未定 6.5万部

＜内容＞ 「水」をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

＜展開＞ 全国のメディア、主要SA、書店（160店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信（リニューアル）

＜時期等＞ 4月～【日本語版】7万部、5月～【英語版】5千部

＜内容＞ テーマごとに「水の国、わかやま。」を紹介するとともに、新たなゾーニングや具体的なモデルコースにより、和歌山の楽しみ方を提案

＜展開＞ NEXCO西日本・中日本SA、県内レンタカー営業所
国内外の各種プロモーションで配布

○WEBサイト特集ページによる情報発信（リニューアル）

＜時期＞ 6月～【日本語版】、7月～【英語版】

＜内容＞ 県観光情報サイト内に特集サイトを開設し、水にまつわるおすすめ

スポットを巡る具体的なモデルコースなどを紹介

○PR動画による情報発信

<内 容> 絶景、温泉、食、体験など「水の国、わかやま。」の魅力を紹介するPR動画を活用し、山歩きなどネイチャーツアーを造成する旅行会社等をターゲットに情報発信

◇アウトドア体験プログラムの情報発信・フラッシュアップ 詳細 68 頁

◇Facebook を活用した情報発信

○「水の国、わかやま。」公式ページによる発信

<時 期> 随時

2020 実績

◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
日本政府観光局（JNTO）フランスの Facebook	嶽の森山	6 月 24 日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	北山川 観光筏下り	6 月 25 日
ANA 機関紙「翼の王国」	橋杭岩	7 月 1 日
水の国、わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7 月 14 日
かわの情報誌さらさ	百間山溪谷、安川溪谷	7 月 30 日
水の国、わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	8 月 17 日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	古座川カヌー体験	8 月 20 日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	キャニオニング	9 月 3 日
NHK「マイあさ！関西」	「水の国、わかやま。」	9 月 4 日
BS-TBS「梅旅」	「水の国、わかやま。」4つのテーマごとに放送	9 月 2、9、16、23 日
紀州浪漫（冬号）	冬に愉しむアウトドア	12 月 1 日
スターツ出版（株） 「オズマガジントリップ 12 月発売号」	「水の国、わかやま。を旅しよう」特集とカレンダー付録	12 月 7 日

◇パンフレット、WEBサイト等による情報発信

○専用パンフレット

<時期等> 7万部

(6月30日、日本語版リニューアル)

5千部

(7月31日、英語版リニューアル)

<内容> 新たな観光スポットや日置川の鮎釣り体験を追加
県内周遊を促すためのお得なクーポン付き

<展開> NEXCO 西日本・中日本主要SA、わかやま紀州館、
名古屋観光センター、南海フェリー、各市町村観光協会、
南紀白浜空港、県内各宿泊施設 など



○WEBサイト

<時期等> 7月10日～(日本語版リニューアル)

8月 3日～(英語版リニューアル)

PV80, 467回以上(3年3月末現在)

<内容> 専用パンフレットの内容のほか、厳選素材集や周遊コース、滝マップを紹介

◇内山りゅう氏とタイアップした情報発信

○テレビ番組による情報発信

<時期> 9月2、9、16、23日(各回22:54～22:59)

<内容> BS-TBSの番組「梅旅」全4話

和歌山の「水」にまつわる魅力を各テーマで紹介

- ・「水を見る」編：紀伊半島を潤す清らかな水と、独特の風土が生み出す橋杭岩や植魚の滝など「水の絶景」を紹介
- ・「水と遊ぶ」編：海上散歩が楽しめるSUPや渓谷でのスリリングなキャニオニング、清流古座川で行うカヌーなど、多彩なウォーターアクティビティを紹介
- ・「水を育む」編：豊かな水を育み、その水によって生まれた紀伊半島の懐深い山々や森をのんびり歩く、水のふるさとを訪ねる「山歩き」を紹介
- ・「水が創る」編：大地から湧き上がる温泉、山間を縫う河川が生み出した渓谷など、和歌山の清らかな水が作り出した自然の産物を紹介



○PR動画

<時期> 12月

<内容> 2種類の動画を制作(5分版、1分版)

「水の国、わかやま。」の7つのテーマを切り口に魅力を紹介



PR動画

◇公式 Facebook ページ「水の国、わかやま。」の開設

<時期> 平成30年9月1日～

<内容> 水にまつわる旬の情報 投稿数 62回(今年度32回)

いいね! 7, 964人 フォロワー8, 101人

◇都市圏プロモーションでの発信（夏プロモーション・春プロモーション）[詳細114頁](#)

旅行商品造成

県内全域の「水」に関連する観光資源やイベント、特別企画などを網羅した厳選素材集を作成、併せて周遊モデルコースの提案を行い、本県への旅行商品造成に繋がります。

◇「水の国、わかやま。」観光素材集の紹介

県内全域の「水」に関連する観光資源の情報を取りまとめ、WEBサイトに掲載します。

◇旅行会社訪問 [詳細113頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問時に、周遊モデルコースや観光素材などを網羅した観光素材集で「水の国、わかやま。」の提案を行います。

また、山歩きなどネイチャーツアーを造成する旅行会社にも訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を行います。

2020実績

◇厳選素材集の更新

川・海・山などの絶景、体験・食といった、「水」に関する素材を厳選し、素材集としてまとめたものを、旅行会社向け専用WEBサイトへ掲載

<掲載数> 約400素材

◇旅行会社訪問 [詳細114頁](#)

大都市圏プロモーションにおけるメディア訪問時に、「水」に関する周遊モデルコースや観光素材をPRするとともに、登山などネイチャーツアーを造成する旅行会社を訪問し、「水の国、わかやま。」に特化した提案を実施

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加 [詳細119頁](#)

(2) 『サイクリング王国わかやま』で和歌山を売り出す

サイクリングは、爽快さ、楽しさを気軽に体感できるアクティビティであり、従来の交通手段だけでは訪れることのできないような地域を自転車でめぐっていただくことで、県内周遊の促進、さらに地域での消費拡大に繋がるものと考えています。

「サイクリング王国わかやま」は、ニックネームを「WAKAYAMA 800」とし、県内全域に800kmを超えるサイクリングの推奨ルートと絶景や温泉、食などを組み合わせることで、無限大のサイクリング旅が楽しめる、まさに「和歌山がサイクリングの最適地」というイメージ定着を図るものです。

また、サイクリストに優しい宿泊施設の認定やサイクルステーションの拡大、公式WEBサイトなどにより、お客様のニーズに応えたサイクリング環境を提供しています。

サイクリング愛好者だけでなく、初心者、女性、健康志向の高い方など、幅広いターゲットにリーチできるよう、サイクリングと旅の楽しみ方を国内外に発信します。加えて、2年度に整備を終えた太平洋岸自転車道を新たな切り口に、県内周遊の促進・滞在時間の延長も図っていきます。



I 受入対策

受入体制の整備

◇モバイルスタンプラリーの拡充

サイクリングの楽しみ方のひとつとして、県内全域において、平成29年度から実施しているサイクリスト向けのモバイルスタンプラリーを拡充し、サイクリストの周遊を一層促進します。

<時期> 4月～4年3月末(予定)

<内容> 有名アニメとタイアップした特別企画の実施

モバイルスタンプラリーの拡充

太平洋岸自転車道(※)を活用した企画の実施

◇サイクリストに優しい宿泊施設の拡充

自転車の部屋への持ち込みや、修理道具の貸し出しサービスなどを提供する、サイクリストに優しい宿泊施設を拡充するため、各宿泊施設へ働きかけを行います。

<時期> 随時

◇サイクルトレイン・サイクルバスの推進【主管：観光振興課、地域政策課、総合交通政策課】

自転車を解体せずに鉄道車両やバス内に持ち込めるサイクルトレイン等の導入を鉄道事業者等に働きかけ、サイクリストの利用環境の整備を推進します。

◇サイクリングロード整備事業【主管：県道路局】

川・山・海の3つのサイクリングロードにおいて、専用化の推進や案内看板、路面

表示の充実など、より安全で快適な利用環境の整備を充実します。

また、太平洋岸自転車道について、元年9月に創設された「ナショナルサイクルルート」の指定を目指し、太平洋岸自転車道として統一した整備やサイクリストの受入環境の整備、魅力づくりなど、国をはじめ関係自治体と連携し、推進します。

※太平洋岸自転車道・・・千葉県銚子市を起点として神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山県の各太平洋沿岸を走り、和歌山市に至る延長約1,400kmの自転車道。

◇サイクリングロード利用促進事業【主管：県地域政策課】

サイクリストのおもてなし環境を向上し地域活性化に結びつけるため、サイクリングロードの利用を促す仕組みづくり、マップやWEBサイトによる情報発信、サイクルステーションの登録を行います。

また、サイクリストへの和歌山県の認知度向上を目的に、民間主催のサイクリングイベントを支援します。

○サイクリングイベントの支援

<内 容> 新たに開催される民間主催のサイクリングイベントを支援し、サイクリストが年間通じて県内各地でイベントに参加でき、安心して走行できる環境を作ります。

○サイクリングロードの利用を促すための仕組みづくり

<内 容> コース走行やイベント参加などによりポイントを獲得できる仕組みをつくり、ポイント獲得上位者のランキング表示や完走特典などによりサイクリストの走行意欲を高めます。

○サイクルステーションの登録

<内 容> 休憩や空気入れの貸出を行う「サイクルステーション」への協力店を募集し、サイクリストの受入環境の充実を図ります。

○マップやWEBサイトでの情報発信

<内 容> ルート周辺のサイクルステーションや観光情報を掲載したマップ、必要な情報を検索できるスマートフォン対応WEBサイト、サイクリングナビゲーション、メルマガなどにより情報発信します。

2020 実績

◇モバイルスタンプラリー“3rd season”の実施

<時 期> 6月12日～3年3月21日

<内 容> WEBサイトからユーザ登録を行い、各チェックポイント設置看板のQRコードを読み取り、電子スタンプを獲得
チェックポイント：県内55か所

<賞 等> ・パーフェクト賞：1人（賞品：「GARMIN」スマートウォッチ）
パーフェクト達成者には「達成証」と「オリジナルサコッシュ」& 「スポーツハンカチ」をプレゼント
・パーフェクト頑張った賞：10人（賞品「Bontrager」ライト）
・30ポイント賞：5人



- (賞品：サイクリストに優しい宿ペア宿泊券 3万円程度)
- ・10ポイント賞：100人（賞品：「オリジナルサコッシュ」）
- ・エリアクリア賞：30人（賞品：地元特産品）
- ・山岳賞：3人（賞品：オリジナルジャージ）
- 山岳ポイント5か所（高野山観光情報センター、山の家 おいし、千葉山、道の駅 田辺市龍神ごまさんスカイタワー、那智の滝）をすべて達成
- ・Wチャンス賞：200人（賞品：「スポーツハンカチ」）
- ・リピーター賞：20人（賞品：QUOカード5,000円分）
- ・インスタ賞：10人（賞品：地元特産品）

<参加者>

- ・参加者：4,551人（男性 3,494人、女性 1,057人）
- ・年代別：10代以下：128人、20代：550人、30代：969人、40代：1,559人、50代：1,034人、60代以上：311人
- ・都道府県別：大阪府1420人、兵庫県242人、奈良県199人、京都府93人、東京都83人、愛知県79人、三重県72人、神奈川県52人、滋賀県42人、和歌山県2,057人（参加比率：県外55%、県内45%）
- ・スタンプラリーチェックポイントでのチェックイン数：計21,885
- ・チェックイン数 上位3か所
 - 1位：市民スポーツ広場（和歌山市）1,955
 - 2位：いわで御殿（岩出市）1,919
 - 3位：おととつと広場（和歌山市）1,489
- ・パーフェクト達成者：103人

◇Instagram 投稿キャンペーンの実施

- <時期> 6月12日～3年3月21日
- <賞品等> 地元特産品 10人
- <投稿数> 4,011件



◇「サイクリストに優しい宿」の認定

- <認定数> 65件（3月12日現在）
- <内容> 下記条件を満たす県内宿泊施設を「サイクリストに優しい宿」として、県・県観光連盟が認定し、認定プレートを交付
- <条件> 【必須サービス】

- ①自転車の屋内保管（自転車を組み立てた状態で、客室への持ち込みが可能、一般客の立ち入らない施設可能な場所（バックヤードや車庫等）で保管が可能）
- ②「スポーツバイク対応空気入れ」及び「修理工具」の貸出
- ③手荷物一時預かり（チェックイン前/チェックアウト後）
- ④宅配便（自転車を含む）の受取・発送サービス

【あればより良いサービス（任意サービス）】

- ①洗濯機/脱水機の貸出、またはランドリーサービス（即日/翌日）

渡し)

②自転車の洗浄・作業用スペース

③周辺のサイクリングロードやサイクルステーションなどの案内

※認定施設は、和歌山県サイクリング総合サイトに掲載

◇サイクリングロード利用促進事業（主管：県地域政策課）

○サイクルステーションの設置

<内 容> 民間の店舗や公共施設等で、「休憩（駐輪）スペースの提供」、「トイレの提供」、「スポーツバイク対応空気入れの貸出」を行う施設をサイクルステーションとして登録。施設によっては、バイクラックの設置や自転車修理用工具の貸出なども実施

県内309か所（3年3月12日時点）

○サイクリングコースマップ

<内 容> 県内のおすすめサイクリングコース、コース周辺の観光情報や注意箇所などを掲載

<展開先> 県内市町村、近畿圏内スポーツバイク販売店、近畿圏内各サイクリング協会等

○和歌山県サイクリング総合WEBサイトによる発信

<内 容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿など、最新のサイクリング情報を発信

○わかやまサイクリングフェスタ 2021

<時 期> 3年3月21日 大会申込者 888人

<コース> ①空海 190km 獲得標高約2,100m
②幸村 160km 獲得標高約1,500m
③吉宗 100km 獲得標高約 800m
④孫市 60km 獲得標高約 500m

<主 催> わかやまサイクリングフェスタ実行委員会

◇川のサイクリングロード魅力発信事業【主管：那賀振興局企画産業課】

○KINOKAWA リフレッシュラリーwith宝さがし

<時 期> 9月18日～3年1月22日

<内 容> 紀の川サイクリストおもてなしスポットを自転車で巡ってシールを集めると枚数に応じて賞品が当たるラリーイベント。Instagramフォトコンテストも同時開催。

<展 開> ①紀の川サイクリストおもてなしスポットの整備

紀の川サイクリストおもてなしスポット 全57か所

- ・紀の川市・岩出市内にある飲食店や土産物店などの店舗にバイクラック、空気入れ及び工具を常備
- ・店舗ごとにサイクリストをおもてなしする独自のサービス
- ・のぼりとステッカーが目印

②レンタサイクル利用環境の充実

貸出窓口全6か所（紀の川市：5か所、岩出市：1か所）

③他機関と連携した周知・広報

紀の川サイクリングクラブ、NPO法人サイクリング王国わかやま推進協議会、紀の里農業協同組合、和歌山電鐵(株)、JR西日本和歌山支社、和歌山線活性化検討委員会、紀の川市、岩出市、県

<主 催> 紀の川エリア観光サイクリング推進協議会

II 誘客宣伝

情報発信

有名自転車メーカー、有名アニメ等とのタイアップにより、国内外に効果的な情報発信を行います。

◇メディア展開

○有名アニメとのタイアップ

- ・和歌山の観光地の書下ろし
- ・WAKAYAMA 800モバイルスタンプラリーとの連動
- ・阪急・阪神ホールディングスタイアアップキャンペーンでのPR

[詳細 113 頁](#)

○有名メーカーとのタイアップ

- ・映像、雑誌等の情報発信におけるスポーツバイクの使用
- ・メディア展開に伴う協力

○雑誌、WEBによる情報発信

- <時 期> 随時
- <内 容> 健康関連雑誌や自転車専門誌等、サイクリング関連WEB

◇パンフレット・特設WEBサイトによる情報発信

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

- <時期等> 未定 6. 5万部
- <内 容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光資源やモデルコース、特別企画等を紹介
- <展 開> 全国のメディア、書店（160店舗）等

○専用パンフレットによる情報発信

- <時 期> 随時
- <内 容> WAKAYAMA 800のサイクリング情報を紹介
- <展 開> サイクルショップ、サイクリストに優しい宿等

○特設WEBサイト（県観光連盟）による発信

- <時 期> 随時
- <内 容> 県内の周遊ルートやサイクルステーション、サイクリストに優しい宿、ブランディング映像など、サイクリング情報を発信

◇Facebook を活用した情報発信

○「WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま」公式ページを更新します。

- <時 期> 随時

◇広域連携による情報発信

○近畿2府4県が連携した広域サイクルートを形成し情報を発信します。

<時期> 随時

<内容> 広域サイクリングマップの作成、試走会等のイベントを実施

◇サイクリングイベントでの情報発信

○CYCLE MODE RIDE OSAKA 2021

<時期> 7月(予定)

<場所> 万博記念公園(大阪府)

<内容> 「サイクリング王国わかやま」をテーマとした観光素材やモデルコースを来場者に紹介

2020実績

◇人気インスタグラマー及びメディア招請ファミツアー

<テーマ> サイクリング系女子人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800

<内容> サイクリング系インフルエンサーである人気インスタグラマー2人が和歌山県のおすすめルートをサイクリングし、その魅力を発信するとともに、その様子をサイクリング系メディアが取材撮影し、後日掲載公開

<実施日> 10月26~27日

<インフルエンサー>

① 篠さん

Instagram アカウント shino_138、フォロワー2.3万人

② 平野由香里さん

Instagram アカウント hirano_yukari_official、フォロワー1.3万人

<参加メディア>

- ・産経デジタル WEBサイト「Cyclist」 11月16日から公開
- ・樫出版 雑誌「BiCYCLE CLUB」(4ページ) 11月20日発行
WEBサイト「BiCYCLE CLUB」(Facebook 広告を運用し、誘導)
- ・辰巳出版 WEBサイト「自転車日和」 11月21、22日 2回公開
雑誌「自転車日和 vol.58」 4月下旬発行

◇自転車ロードレースのプロ選手とコラボ【主管：東牟婁振興局企画産業課】

<時期> 9月

<協力> KINAN Cycling Team

<内容> 「NPO法人 SPORTS PRODUCE 熊野」が擁する県内唯一の自転車競技のプロチーム「KINAN Cycling



Team」所属の山本大喜選手協力のもと、『本州最南端ジオパークコース』のPR動画を作成。作成した動画は企画産業課や関係課、団体等のSNSに投稿、観光施設のモニターで放映するなどして発信

◇人気インスタグラマー及びメディア招請、動画制作ファミツアーvol.2

<テーマ> サイクリング系女子人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800

<内 容> サイクリング系インフルエンサーである人気インスタグラマーが和歌山県のおすすめルートサイクリングし、その魅力を発信するとともに、その様子をサイクリング系メディアが取材撮影し、後日掲載公開動画を制作し、WEBやSNSにより拡散

<実施日> 3年3月15～16日

<インフルエンサー>

平野由香里さん

Instagram アカウント hirano_yukari_official、フォロワー1.3万人

<参加メディア>

・産経デジタル WEBサイト「Cyclist」 3月26、29日から公開

<動画> 3年3月25日から公開

◇メディア展開

○新聞、雑誌、WEB等

名 称	掲載テーマ	発行日等
樫出版社 「BiCYCLE CLUB (WEB)」	WAKAYAMA 800 モバイルスタンプ ラリー	6月11日
WAKAYAMA 800 サイクリング王 国わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャン ペーン開催中	6月19日
わかやま経済新聞	WAKAYAMA 800 モバイルスタンプ ラリー	6月23日
「朝日新聞」和歌山版	ゆるり わかやま自転車たび	6月22日
WAKAYAMA 800 サイクリング王 国わかやま。Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャン ペーン開催中	7月21日
NHK「マイあさ！関西」	WAKAYAMA 800～サイクリング王 国わかやま～	7月24日
「朝日新聞」和歌山版	ゆるり わかやま自転車たび	8月24日
「朝日新聞」和歌山版	ゆるり わかやま自転車たび	9月7日
(株)樫出版 「BiCYCLE CLUB 12月号」	ジャパンバイシクルルート WAKAYAMA 800+周辺ルート	10月20日
(株)産経デジタル WEB 「Cyclist」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	公開 11月16日～
(株)樫出版 「BiCYCLE CLUB 1月号」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	11月20日
(株)樫出版 WEB 「BiCYCLE CLUB 1月号」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	公開 11月20日～

辰巳出版(株) WEBサイト「自転車日和」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA800	公開 11月21日～ 22日～
紀州浪漫(冬号)	冬に愉しむアウトドア	12月1日
八重洲出版 「CYCLE SPORTS 3月号」	百キロ温泉の誘惑	3年1月20日
和歌山放送「ぐるっと紀州路」	WAKAYAMA800モバイルスタンプ ラリーインスタ賞	3年1月20日
紀州浪漫(春号)	春巡る自転車旅	3年3月1日
(株)ピークス ムック JAPAN BICYCLE ROUTE	日本のサイクリングコース BEST10 WAKAYAMA800	3年3月8日
(株)テレビ和歌山 フリーペーパー わくわく紀州路	ロードバイクにはまる理由!?	3年3月5日
(株)産経デジタル WEB 「Cyclist」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA800 VOL. 2	3年3月下旬～ (予定)
辰巳出版(株)「自転車日和」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA800	3年4月下旬

○公式 Facebook

<時期> 平成31年1月16日～

<内容> 「WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま」
県内のサイクリングコースやブランディング映像、サイクリストに
優しい宿等を紹介
いいね!6,791人 フォロワー7,147人
投稿数 192回(今年度41回)(3年3月12日現在)

◇専用パンフレットの増刷

<時期> 4月

<内容> オススメのサイクリングルートや充実したサイクリング環境など、
WAKAYAMA800の魅力を紹介(BiCYCLE CLUB タイアップ企画)

◇JR西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載 [詳細119頁](#)

◇都市圏プロモーションでの発信 [詳細114頁](#)

(3) 『わかやま歴史物語』（歴史・浪漫）で和歌山を売り出す

神話の時代から近代に至るまで、和歌山には興味深い歴史・文化が豊富にあります。

こうした歴史・文化のストーリーに秘話やSNS映えスポット、食、温泉、体験などを組み合わせた100の旅モデルを「わかやま歴史物語」として纏め、地域に存在する観光素材のブラッシュアップを図り、歴史に興味のある方に和歌山の歴史・文化を幅広くPRするため、メディアや特設WEBサイトなどを活用し、本県のもつ歴史的な価値や魅力を発信します。また、周遊を楽しんでいただけるよう様々なテーマを設定し、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーを実施します。

さらに今年、創建400年を迎えた紀州東照宮、没後80年にあたる南方熊楠など各地で行われる周年事業を中心にイベント情報を発信することにより、県内ゆかりのスポットへの誘客に繋がります。

I わかやま歴史物語

情報発信

◇「わかやま歴史物語」講座（仮称）の開催

<時期等> 未定（東京、大阪で開催）

<内容> 和歌山の「歴史」について独自性のあるテーマで深掘りし、多角的な視点から捉えることで、知っているようで知らなかった和歌山を再発見

◇WEBサイト、パンフレット等による情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

<内容> 新たな歴史スポットや最新の立ち寄り処等を追加掲載し、更なる誘客促進を図る

○パンフレットによる情報発信

<時期> 随時

<内容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）

<展開> NEXCO 西日本・中日本SA、近畿道の駅、紀陽銀行、きのくに信用金庫、県内宿泊施設、県内市町村・観光協会などに配置、各種プロモーションでの配布

○雑誌、フリーペーパー等による情報発信

<時期> 随時

<内容> 一押しモデルコースを情報誌、旅行雑誌、カルチャー誌等へ掲載

○県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信

<時期等> 随時

<内容> 歴史をテーマとした観光資源や見どころ等を紹介

<展開> 全国のメディア、旅行会社、書店等

2020 実績

◇わかやま歴史物語セミナーの開催

○阪急交通社とタイアップした歴史セミナーの開催

<時 期> 3年3月27日

<場 所> 阪急グランドビル

<内 容> 「紀州徳川家」と「南方熊楠」をテーマに2講座を開催

◇特設WEBサイト、パンフレットによる情報発信

○特設WEBサイトによる情報発信

<内 容> 歴史ストーリーとともに、関連スポット、食、温泉、体験など、観光客が楽しんで周遊いただける旅モデルを随時、特設サイトへ掲載
URL: <http://wakayama-rekishi100.jp>

○パンフレットによる情報発信

<時 期> 随時

<内 容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）

<展 開> NEXCO 西日本・中日本SA、近畿道の駅、県内市町村・観光協会、紀陽銀行、きのくに信用金庫、県内宿泊施設、レンタカー事業者、和歌山県情報発信イベント、各種プロモーションでの配布

◇雑誌、新聞等による情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
るるぶ&more	わかやま記紀の旅	7月9日
旬刊旅行新聞	わかやま歴史物語	7月11日
紀州浪漫（秋号）	日本最古の英雄譚	9月1日
産経新聞（PR特集号）	わかやま歴史物語	11月28日
紀州浪漫（冬号）	白浜温泉	12月1日
ニュース和歌山	わかやま記紀の旅、わかやま歴史物語	3年1月1日
明治健康ファミリー	わかやま歴史物語	3年2月2日
紀州浪漫（春号）	夏目漱石の軌跡	3年3月1日
歴史人	わかやま記紀の旅	3年3月6日
旅色 4月号	わかやま歴史物語	3年3月25日

受入体制の整備

◇「わかやま歴史物語」人物編スタンプラリーの実施 =New=

- <時 期> 人物編（江戸～近代） : ~4年2月28日
人物編（神代～安土桃山） : 4年3月～（予定）
- <内 容> 「わかやま歴史物語」の100の旅モデルの中から、人物にゆかり深い旅モデルを巡るスタンプラリーを、スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリーとして実施します。開始に合わせて専用冊子を制作します。
- <賞 品> 「プレミア和歌山」推奨品を抽選でプレゼント



2020 実績

◇「わかやま記紀の旅」周遊スタンプラリー

- <時 期> 6月12日～3年3月15日
- <内 容> 『日本書紀』が昨年、編纂1300年を迎えたことを記念し、「わかやま歴史物語」の特別版として、新たに『日本書紀』『古事記』にゆかりの深い県内にある神社や神話の舞台となっているスポットを巡るスタンプラリーを実施。



<冊子規格> A4サイズ・カラー、36ページ

<和歌山県ゆかりの9ストーリー>

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ①三種の神器「八咫鏡」と同体の宝鏡 | ※スタンプ設置箇所 |
| ②緑豊かな紀伊国を創りし木の兄妹神 | ※スタンプ設置なし |
| ③神武東征 遥かなる天下平定の道 | ※都麻津姫神社（和歌山市） |
| ④神武東征 八咫鳥の導きで初代天皇に | ※宇賀部神社（海南市） |
| ⑤みかんのルーツ！？ 不老不死の霊薬を探せ | ※神倉神社（新宮市） |
| ⑥神のお告げに従って海を渡った勇猛な皇后 | ※橋本神社（海南市） |
| ⑦多くの有力豪族の祖となる歴代天皇の忠臣 | ※小竹八幡神社（御坊市） |
| ⑧聖帝、色を好む…嫉妬深き皇后の涙 | ※木本八幡宮（和歌山市） |
| ⑨名湯を広めた皇子の知られざる悲劇 | ※潮御崎神社（串本町） |
| | ※熊野三所神社（白浜町） |

<達成者> 1,547人

<賞 品> 「プレミア和歌山」推奨品を抽選で計120人にプレゼント

◇わかやま歴史物語 人物編（江戸～近代）スタンプラリー

- <時 期> 10月30日～4年2月28日
- <内 容> 「わかやま歴史物語100」の内、江戸以降に活躍した人物ゆかりの地を巡るスタンプラリーを実施（スマートフォンのアプリを使ったスタンプラリー）

◇パンフレットによる情報発信

- <時 期> 随時
- <内 容> わかやま歴史物語（概要版、スタンプラリー冊子）

＜展 開＞ NEXCO 西日本・中日本S A、近畿道の駅、県内市町村・観光協会、紀陽銀行、きのくに信用金庫で配置、各種プロモーションで配布

旅行商品造成

◇都市圏プロモーションでの提案 [詳細 113 頁](#)

都市圏の主要旅行会社を訪問時に、「わかやま歴史物語」の観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進につなげます。

2020 実績

◇都市圏プロモーションでの提案 [詳細 114 頁](#)

◇四国プロモーションでの提案 [詳細 121 頁](#)

◇J R西日本主催「観光素材説明会」の提案資料へ掲載 [詳細 119 頁](#)

II 周年事業

今年、紀州東照宮は創建400年、道成寺にゆかり深い逸見万壽丸（へんみまんじゅまる）は生誕700年の記念の年、また、平成28年に草創1300年を迎えた西国三十三所の記念事業は、4年3月31日まで開催されることから、地域で行われる記念行事やイベント等と併せて情報発信を行います。

① 紀州東照宮創建400年 **=New=**

紀州東照宮は、紀州藩初代藩主の徳川頼宣が父・家康公の霊を祀るために造営されたのが始まりで、関西の日光と呼ばれています。

今年、創建400年を迎え執り行われる記念事業を情報発信し、誘客に繋げます。

記念事業

◇特別御朱印

＜時 期＞ 1月1日～12月31日

＜内 容＞ 創建400年を記念した特別御朱印を授与します。



② 逸見万壽丸（へんみまんじゅまる）生誕700年 **=New=**

道成寺は、文武天皇の勅願により大宝元年（701年）に創建された本県最古の寺であり、能や歌舞伎の題材として多く取り入れられている「安珍清姫伝説」の舞台としても知られています。

今年は、道成寺の本堂を再建し二代目釣鐘を寄進した、逸見万壽丸が生誕700年を迎えるにあたり執り行われる記念事業を情報発信し、誘客に繋げます。

記念事業

◇秘仏千手観音像の中開帳

＜時 期＞ 9月20日～11月28日 ※10月31日は除く

＜内 容＞ 33年に一度だけ御開帳される秘仏千手観音像が、中開帳として特別に公開されます。

◇二代目釣鐘の公開

- <時期> 10月24日～11月18日 ※10月31日は除く
<内容> 現在、京都市の妙満寺に安置されている道成寺の二代目の釣鐘が、期間限定で里がえりし、一般公開されます。

③ 西国三十三所草創1300年

日本の観音及び巡礼文化のはじまりである西国三十三所の巡礼は、長谷寺の徳道上人が閻魔大王から巡礼によって人々を救うように託宣を受け、養老2年（718年）に始めたと伝わるもので、平成28年に草創1300年を迎えました。

また、元年5月20日に那智山青岸渡寺（那智勝浦町）や紀三井山金剛宝寺（和歌山市）、風猛山粉河寺（紀の川市）を構成文化財に含む「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」が日本遺産に認定されました。

記念事業は、西国三十三所礼所会（事務局：京都市）が中心となり、4年3月31日まで実施され、県内に所在する三寺院においても特別な事業が継続されます。これらの記念事業にあわせ、県内周遊を促進するための取組、各種PRを継続して実施します。

- ◇和歌山県の礼所 第一番礼所 那智山青岸渡寺
第二番礼所 紀三井山金剛宝寺（紀三井寺）
第三番礼所 風猛山粉河寺



那智山青岸渡寺



紀三井山金剛宝寺



風猛山粉河寺

※西国三十三所とは

養老2年（718年）、観音菩薩が人々を救うために示したとされる観音霊場のルーツ。その後、「観音菩薩は33の姿に身を変えて人々を救う」という教えのもと「西国三十三所」と総称され、各寺院は「礼所」となって順番に参拝する巡礼文化が生まれました。総距離は約1,000km、礼所は、近畿2府4県、岐阜県にあります。

記念事業

◇スイーツ巡礼(西国三十三所礼所会)

- <時期> 平成28年2月～4年3月31日
<内容> 各地の銘菓と一緒に楽しむ巡礼の旅を提案します。

◇限定御朱印「特別印」の授与(西国三十三所礼所会)

- <時期> 平成29年1月～4年3月31日
<内容> 全ての寺院で限定御朱印「特別印」が授与されます。

◇特別拝観(西国三十三所礼所会)

<時 期>	紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 風猛山粉河寺	4月8日～5月29日 3月27日～5月5日
<内 容>	紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 風猛山粉河寺	秘仏御本尊 本堂北側千手観音

2020実績

◇スイーツ巡礼(西国三十三所礼所会)

- <時 期> 平成28年2月～
- <内 容> 菓子を食べ歩きながら、各札所を巡礼するユニークプラン
- ・那智山青岸渡寺
じゃばらタルト、じゃばら蜂蜜ジュレ、じゃばらピール、熊野詣餅、那智黒飴
 - ・紀三井山金剛宝寺（紀三井寺）
三井水功德玉子せんべい、花蜜ロール
 - ・風猛山粉河寺
はっさくプーロ、きのくにシュトーレン
鞆淵の黒豆大福、3番スイーツコーヒーセット

◇限定御朱印「特別印」の授与(西国三十三所礼所会)

- <時 期> 平成29年1月～
- <内 容> 全ての寺院で限定御朱印、「特別印」を授与



◇特別拝観(西国三十三所礼所会)=

- <時 期> 那智山青岸渡寺 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 3月18日～6月28日
9月20日～12月20日
- ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月8日～5月29日は中止
粉河寺 3月23日～5月6日
- ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い4月29日～5月6日は中止
- <内 容> 那智山青岸渡寺 本尊開扉、寺宝展示
紀三井山金剛宝寺（紀三井寺） 秘仏御本尊
風猛山粉河寺 本堂北側千手観音

旅行商品造成

◇周遊促進/ベルティの配布

来訪者に西国三十三所を周遊する動機付けを行うためのノベルティを制作し、「西国三十三所草創1300年特別記念品」として提供（協賛）します。

- <時 期> 平成29年8月1日～4年3月31日
- <内 容> 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与



◇都市圏プロモーションでの提案 詳細 113 頁

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進につなげます。

2020 実績

◇周遊促進ノベルティの配布

＜期 間＞ 平成29年8月1日～

＜内 容＞ 条件を満たした団体ツアーに対する協賛として日本手ぬぐいを付与
実績累計 17社 1,550枚

◇都市圏プロモーションでの提案 詳細 114 頁

◇四国プロモーションでの発信 詳細 121 頁

誘客宣伝

◇情報発信

○雑誌、フリーペーパー等の情報発信

＜時 期＞ 随時

＜内 容＞ 歴史専門雑誌、旅行雑誌等へ掲載

Ⅲ 周遊促進と情報発信

歴史・浪漫を感じるスポットで誘客

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

＜時 期＞ 11月

＜内 容＞ 紅葉が色づき始めた根来寺周辺のまちなかを散策し、根来寺境内は語り部が案内します。

○旧和歌山県議会議事堂

＜時 期＞ 通年

＜内 容＞ 根来寺の施設として活用された県有形文化財「旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）」を明治31年創建当時の姿で復原整備。隣接する道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる20人以上の企画旅行参加者に対し、ノベルティグッズをプレゼントする企画を実施します。

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

＜時 期＞ 通年

＜内 容＞ 真田幸村などの歴史を中心にまちなかを語り部が案内します。

○九度山・真田ミュージアム

＜時 期＞ 第1期：4月1日～7月25日

第2期：9月1日～4年3月28日

＜内 容＞ 「真田忍者、参上！展－真田流忍者の真実－」（仮称）と題した企

画展を2期に分けて開催します。

<時 期> 7月28日～8月29日

<内 容> 「真田幸村×現代アート」（仮称）と題した企画展を開催します。

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<時 期> 通年

<内 容> 熊野古道や伝建地区を」中心にまちなかを語り部が案内します。湯浅えき蔵観光交流センターのレンタサイクルを使えば、ご当地グルメのしらす丼や醤油ソフトクリームなど、湯浅ならではの食も楽しめます。

◇稲むらの火の物語・広川町

○濱口梧陵歴史探訪ウォーク

<時 期> 通年

<内 容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の語り部が当時の逸話を交えながら案内します。

◇寺内町・御坊市

○まちなか散策

<内 容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が残るまちなか（御坊寺内町会館を含む）を語り部が案内します。

◇文化の香りの城下町・田辺市

○まちなか歩き

<時 期> 4月1日～4年2月28日

<内 容> 田辺市の三偉人として知られる、世界的博物学者・南方熊楠、合気道の開祖・植芝盛平、伝説の豪傑・武蔵坊弁慶ゆかりの地を巡るスタンプラリーを開催します。

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○観光ガイドと巡る市内観光

<時 期> 通年

<内 容> 新宮市内のスポットを観光ガイドが案内します。

- ・新宮の世界遺産、熊野速玉大社と神倉神社
- ・大逆事件と新宮の文学散歩
- ・国の史跡「新宮城跡」新宮藩の隆盛
- ・「秦の徐福」の伝承地を訪ねて
- ・国の天然記念物「浮島の森」散策

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー

<時 期> 通年

<内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内します。

◇熊野の原風景・古座街道

「古座街道」は、朝来（上富田町）から古座（串本町）を最短距離で結んでいた街

道。西国三十三所巡りの参詣道として利用され、作家 司馬遼太郎の「街道をゆく」の中でも紹介されています。元年10月、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれました。

○情報発信

<内 容> 「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」などの事業と連携し、情報発信を行います。

◇**北海道や万葉をテーマとした誘客促進**

○民間団体との連携

「紀伊万葉ネットワーク」や「紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会」などの民間団体と連携し、これらの団体が主催するイベント等の情報発信に協力することで、誘客を図ります。

2020 実績

◇歴史・文化のかおるまち・岩出市

○まちなか散策

<時 期> 11月

<内 容> 紅葉が色づき始めた根来寺周辺のまちなかを散策。根来寺境内は語り部が案内

<実 績> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

○旧和歌山県議会議事堂

<時 期> 通年

<内 容> 根来寺の施設として活用された県有形文化財「旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）」が明治31年創建当時の姿で復原整備

<実 績> 16,897人（4月～3年1月）

参考：旧和歌山県議会議事堂西隣「ねごろ歴史資料館」11,193人

※道の駅「ねごろ歴史の丘」を訪れる20人以上の企画旅行参加者を対象に、ノベルティグッズ（マイクロファイバータオル or 扇子）のプレゼント企画を実施

◇真田のまち・九度山町

○まちなか散策

<時 期> 通年（4～12月）

<内 容> 真田幸村などの歴史を中心にまちなかを案内

<実 績> 60人（まちなか語り部の会案内分）

◇重要伝統的建造物群保存地区・湯浅町

○まちなか散策

<時 期> 通年（4～12月）

<内 容> 語り部が熊野古道や醤油蔵などを中心にまちなかを案内

他にシラス井食べ歩き（マップあり）や駅前多目的広場でのレンタサイクルなども楽しめる

<参 加> 93人（湯浅ガイド協会案内分）

◇稲むらの火の物語・広川町

○濱口梧陵歴史探訪ウォーク

<時 期> 通年（4～12月）

<内 容> 広村堤防や耐久社などの濱口梧陵ゆかりの史跡を地元の語り部が当時の逸話を交えながら案内

<参 加> 3,625人（稲むらの火の館案内分）

◇寺内町・御坊市

○寺内町散策

<時 期> 通年（4～12月）

<内 容> 江戸時代の町屋と明治・大正・昭和と近代化していく時代の建物が残るまちなかを語り部が案内

<参 加> 53人（紀州ごぼう語り部案内分）

◇歴史と世界遺産のまち・新宮市

○ガイドと歩くまち歩き

<時 期> 通年（4～12月）

<内 容> 新宮市内のスポットを観光ガイドが案内
・新宮の世界遺産・熊野速玉大社と神倉神社
・大逆事件と新宮の文学散歩
・国の史跡「新宮城跡」新宮藩の隆盛
・「秦の徐福」の伝承地を訪ねて
・国の天然記念物「浮島の森」散策

<参 加> 8人（新宮市観光協会案内分）

◇日本とトルコ 友好の原点・串本町

○語り部ガイドと巡る日本・トルコ友好の歴史ツアー

<時 期> 通年（4月～12月）

<内 容> エルトゥールル号に始まる史実を語り部が案内

<参 加> 988人（南紀串本観光協会案内分）

◇熊野の原風景「古座街道」

<内 容> ・「水の国、わかやま。」キャンペーン
冊子、WEBサイトへ「古座街道ウォーク」を掲載

・わかやま歴史物語

「行きたい街道日本一！司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく」と題し、旅モデルの一つとしてWEBサイトへ掲載

◇北海道等を活用したイベント・情報発信

○歴史街道ウォーク

<時 期> 3年2月21日

<内 容> 伊太祁曽神社から藤白神社へ～紀南へ向かう北海道、今 熊野古道として生きる道～

<参 加> 70人

<実施主体> 紀の川流域文化遺産活用地域活性化協議会

(4) 『世界遺産』で和歌山を売り出す

平成16年7月に聖地「高野山・熊野」、「熊野古道」を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」が、世界遺産に登録されて以降、継続的な情報発信により、国内外から多くのお客さまに訪訪いただいています。本県の「世界遺産」は、グローバルブランドとして認知されており、そのブランド力を最大限に活用し、今後もあらゆるプロモーションにおいて「高野山・熊野」の発信を強化するとともに、お客さまに県内を広く周遊する旅モデルを提案します。

また、「世界遺産」ブランドと「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」などのキーワードとの組み合わせや「水の国、わかやま。」や「わかやま歴史物語」、「日本遺産」との連動により、引き続き強力かつ効果的に情報発信を行い、誘客に繋がります。

さらに、受入体制の整備や参詣道の四季、天候、時間（早朝・夕方）等により異なる魅力を持つ新たな見どころを、国内外のお客さまに情報発信します。

I 新たな魅力発信と周遊拡大

情報発信

◇世界遺産公式 Facebook を活用した情報発信

世界遺産「高野山」「熊野」の旬の情報を伝えるため、公式 Facebook による情報発信を行います。

◇地元の方しか知らない熊野古道の見どころを情報発信

地元の方しか知らない四季、天候により異なる世界遺産熊野古道の魅力を発掘、収集し、情報を取りまとめ、WEBサイトにおいて、お客さまに広く情報発信できるような活用するとともに、新たな見どころとして拡充を図ります。

- <内容> 作成したWEBサイトを来訪者に周知するため情報発信
- ・パンフレットなどでのQRコードの掲載
 - ・FITを対象としたWEBサイトへのバナー掲載
 - ・熊野古道を案内する語り部などへの周知

2020実績

◇世界遺産公式 Facebook による情報発信

- <時期> 元年6月～
- <内容> 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～
高野山、熊野、熊野古道などの参詣道の旬の情報を発信
いいね! 13,842人 フォロワー 14,118人
投稿数 98回

◇熊野古道の新たな見どころを情報発信

- 地域の方がすすめる熊野古道の絶景や四季、文化などの見どころを発信
- <内容> WEBサイト（日本語版・英語版）での情報発信
熊野古道沿いの新たな見どころとなる場所、位置情報、出現時期、頻度などを情報収集しデータ化、パンフレットなどでのQRコードを活用したWEBサイトへの誘導

◇メディア等での情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～ Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月7日
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～ Facebook	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開催中	7月30日
紀州浪漫（秋号）	蘇りの地、わかやま	9月1日
ABC朝日放送 「おはよう朝日土曜日です」	紅葉先取り！秋の高野山巡り	10月31日
紀州浪漫（冬号）	冬に愉しむアウトドア	12月1日
紀州浪漫（春号）	春巡る自転車旅	3年3月1日

宿泊プラン「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」企画

◇「週末は聖地へ ～時忘れの旅。～」

県観光連盟では、気軽に高野山へお越しいただく「週末は聖地へ～時忘れの旅。～」をメディアを中心に展開しており、ターゲットとする女子旅も増加しています。

大好評の宿泊プランを今年も引き続き実施し、高野山の情報発信と誘客を促進します。

<時 期> 通年

<内 容> 1泊2日でたっぷり高野山を満喫でき、土曜日のうちに帰れるプラン

金曜日/夜9時までにチェックイン、宿坊1泊・2食（朝食、昼食）

土曜日/勤行、阿字観・写経体験などで高野山を満喫

<備 考> 高野山宿坊協会と協働で企画・販売

◇WEBサイトによる情報発信

<時 期> 平成27年7月～

<内 容> 県観光情報サイト内に特集ページを開設

2020実績

◇WEBサイトによる情報発信

<時 期> 平成27年7月～

<内 容> 県観光情報サイト内に特集ページを開設

メディア等による情報発信

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート開催

世界遺産の地を舞台に著名なアーティストのコンサートを開催し、誘客を図るとともに、この内容とあわせて世界遺産の魅力について各種メディアを介して全国に幅広

く情報発信します。

＜時期等＞ 11月20日（土） 熊野那智大社 特設会場

＜出演＞ 未定

＜情報発信＞ 特別番組の制作など

◇メディアを活用した情報発信

テレビ・雑誌・新聞等のメディアを活用し、「世界遺産」ブランドに「聖地」「道」「日本人の旅の始まり」「癒し」などのキーワードを組み合わせたテーマで、若い女性層などさまざまなターゲットに対し、効果的な情報発信を行います。

◇県観光情報サイトによる情報発信

県観光情報サイト内で「高野山・熊野」の魅力やスポットを巡るモデルコースを情報発信します。

また、「天空の聖地 高野山」「街道マップ」などの専用ページにおいてもきめ細かい情報発信を行います。

◇県観光情報サイトによる情報発信

県観光情報サイト内の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」特集ページにおいて、魅力やスポットを巡るモデルコースを情報発信します。

また、「天空の聖地 高野山」「高野巡り・熊野古道 街道マップ」「熊野古道、高野参詣道を歩くモデルプラン」などの専用ページにおいてもきめ細かい情報発信を行います。

2020 実績

◇世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート

＜時期等＞ 10月 高野山壇上伽藍特設会場

※新型コロナウイルス感染症による法会の延期を受け、同地域での開催を取りやめ、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンコンサートとして白良浜での開催に変更 [詳細9頁](#)

II 「高野山・熊野を愛する100人の会」による情報発信

「高野山・熊野を愛する100人の会」によるPR

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、紀伊山地の自然がなければ成立しなかった「霊場」と「参詣道」、それを取り巻く山、川、海、滝、温泉や人間の営みなどの「文化的景観」が大きく評価され、平成16年7月ユネスコ世界文化遺産に登録されました。

近年、世界的な評価が高まり国内外の人々に今もなお感動を与え続けています。

このような中、元年7月に世界遺産登録15周年を迎え、これを契機に「紀伊山地の霊場と参詣道」の『価値の継承』と『さらなる魅力を発信』するため、各界著名な方からなる「高野山・熊野を愛する100人の会」を設立しました。

「高野山」「熊野」の価値の継承とさらなる魅力の発信につながる取り組みを世界遺産エリア（高野山・熊野）および首都圏等で展開します。

◇「高野山・熊野」イベントの開催

100人の会メンバーによる「高野山・熊野」の魅力に関するイベントを開催し、その模様をWEBでも配信することにより、多くの方に発信します。

＜時期＞ 秋

＜エリア＞ 首都圏

◇「紀の国わかやま文化祭 2021」とのコラボ事業の展開

和歌山で開催する国民文化祭事業に100人の会メンバーが出演するなど、文化祭とコラボした取り組みを展開します。

<時期> 11月

<エリア> 高野山

◇その他

「高野山・熊野」に関する、あるいは和歌山県内で開催される100人の会メンバーによる企画について、HPで情報発信します。

100人の会メンバー以外で「高野山・熊野」エリアで世界遺産にかかわる方を“匠”としてインタビューし、HPで紹介します。

<頻度> 半年毎 年2回(予定)

2020実績

◇賛同者数 117人(3年3月末現在) 50音順・敬称略

氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
相川 七瀬	小野 直路	坂本 すが	谷口 博昭	半田 美永
遠北 光彦	甲斐 みのり	坂本 冬美	趙 海成	平野 啓子
荒俣 宏	柏木 白光	澤 和樹	辻 省次	堀本 裕樹
有吉 玉青	片岡 鶴太郎	澤田 道隆	辻本 茂雄	本田 悦朗
安念 清邦	桂 小文枝	残間 里江子	辻本 好美	本谷 紗己
石田ゆうすけ	金山 秋男	塩地 隆三	出口 光	松尾 泰伸
泉 麻人	川井 郁子	志賀 俊之	デューク更家	松下 正幸
一柳 良雄	川島 ケイジ	紫舟	寺島 実郎	水森 かおり
植島 啓司	河田 恵昭	篠田 教夫	土肥 芳郎	ミネハハ
上島 達司	神崎 亮平	島田 晴雄	鳥井 信吾	宮崎 志郎
上野 顯	木村 陽子	白洲 信哉	中上 紀	美山 良夫
海老原 露巖	金 周會	鈴木 理策	中島 由貴	山川 豊
袁 文英	九鬼 家隆	清家 篤	中瀬 ゆかり	山口 明夫
及川 眠子	クミコ	千賀 修一	中平 穂積	山口 春三
王 紀言	久利 康暢	添田 隆昭	中辻 憲夫	山中 諄
大倉 正之助	コウケンテツ	高田 創	丹生 晃市	山本 一力
大森 俊之	河野 俊行	田川 寿美	仁坂 吉伸	山本 まりこ
大家 一将	古賀 絵里子	高木 亮享	西村 幸夫	顔安
岡野 玲子	コシノジュンコ	武内 和彦	西 陽子	夢枕 獺
岡本 玲	小嶋 淳司	田嶋 幸三	は な	Aika (橋本恵子)

萩野 アンナ	小西 博之	田中 和仁	濱口 道雄	May J.
小黑 世茂	小宮山 宏	田中 ひろみ	林 英哲	—
男成 洋三	坂井 希久子	田中 理恵	林 雅彦	—
音無 美紀子	阪田 雅裕	谷口 維紹	早田 卓次	—

◇ SNSによる情報発信

<時期> 5月8日～【主管：食品流通課】

<内容> 100人の会メンバー、女優の岡本玲氏と歌手の坂本冬美氏、プロデューサーの残間里江子氏、元体操日本代表の田中理恵氏、ウォーキングドクターのデューク更家氏、声優の中島由貴氏、モデルの本谷紗己氏が「おうちで和歌山」に出演し、和歌山県民へ和歌山をPR

<時期> 6月18日～

<内容> 100人の会メンバー、海老原露巖氏を「高野山」「熊野」エリアに招聘し、自身のSNS (Facebook、Instagram) での情報発信により「蘇りの地、わかやま」をPR

<時期> 11月6日～

<内容> 100人の会メンバー、鈴木理策氏自身のブログや古賀絵里子氏自身のSNS (Facebook、Instagram、Twitter) において、「高野山・熊野写真展」の開催告知や周知を行ってもらうことにより「高野山」「熊野」エリアの魅力を発信

県観光公式 Instagram 「nagomi_wakayama_tourism」において、100人の会メンバーでウォーキングドクターのデューク更家氏による「高野山・熊野写真展」のPRを実施

◇ 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンPRポスター及びロゴの制作及び情報発信

<時期> 7月8日～

<内容> 100人の会メンバーで書道家・墨アーティストの海老原露巖氏（文化庁文化交流使）の揮毫によるキャンペーンポスターの制作
・JR、県内市町村、観光協会をはじめ、観光施設等での掲出

◇ 「高野山・熊野」写真展の開催

<時期> 11月6～12日

<内容> 100人の会メンバーで写真家の鈴木理策氏と古賀絵里子氏による高野山と熊野をテーマにした写真展を首都圏で開催

<場所等> 富士フィルムフォトサロン東京（東京都港区六本木）

<参加> 6,057人

◇ 「高野山・熊野を愛する100人の会」公式HP「匠」インタビュー

<内容> 100人の会メンバー以外で「高野山・熊野」エリアで世界遺産にかかわる方をインタビューし、「匠」としてHPで紹介

・山本殖生さん「歴史と文化の案内人」（国際熊野学会代表委員、熊野三山協議会幹事、日本ヤタガラス協会会長）

『熊野の豊かな自然には神仏が宿っている。その息吹を』

ご自身の肌で確かめてほしい。』

・尾上恵治さん「高野山を守り伝えるマイスター」（世界遺産マスター、
堂宮大工、一級建築士、金剛峯寺境内案内人）

『千年前の建築を、千年後に遺す。』

Ⅲ 保全と活用

保全と活用の実践

◇10万人の参詣道環境保全活動の実施

CSRや来訪者等による環境保全活動をはじめ、語り部と歩きながら、参詣道の保全活動を実践する環境保全トレッキングを開催し、県民の参加はもとより、県外からの誘客を積極的に図ります。

また、環境保全トレッキングを通じて「ロングトレイル」や「海を感じる熊野古道」などをテーマに、参詣道の新たな魅力を発信し、誘客を図ります。

<時 期> 保全活動 通年

環境保全トレッキング 年3回（予定）

<場 所> 高野参詣道・熊野古道中辺路・熊野古道大辺路（予定）



◇経済誌でのPR・CSR活動の誘致

参詣道の保全活動「道普請（※）」と世界遺産の魅力に関する記事を掲載するとともに、保全活動体験ツアーを実施し、ツアーに参加した企業との接触・交流を積極的に行い、保全活動を通じた企業（団体）の来訪を促進します。

※文化財保護専門家の指導の下、土を運び、参詣道の損傷を修理する作業

◇世界遺産マスターの活用

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全・啓発活動に民間活力を活かすことを目的に設置している「和歌山県世界遺産マスター」の活動充実を図ります。

<内 容> 世界遺産及び周辺地域のパトロール・情報提供

世界遺産の保存活用に関する普及・啓発

世界遺産マスター会議の開催

世界遺産マスターの相互連携活動

世界遺産マスター認定試験・更新研修

2020実績

◇10万人の参詣道環境保全活動実績

<参加330人、事業開始から延べ参加33,841人>

活動日	企業・団体名等	活動場所
10月2日	J T熊野古道を歩く道普請のなかまたち	中辺路（長尾坂）
10月14日	Kumano Trek	中辺路（三軒茶屋）
10月16日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路（式水、三軒茶屋）

10月17日	(一財) さわかみ財団	中辺路(袖摺坂)
10月23日	三菱電機(株)冷熱システム製作所	中辺路(式水、三軒茶屋)
10月24日	県立田辺高等学校	中辺路(伏拝)
11月14日	西日本旅客鉄道(株)和歌山支社	中辺路(三軒茶屋)
11月17日	京都文教大学	中辺路(式水)
11月27日	日本道路(株)	中辺路(式水)
11月29日	県職員労働組合	高野参詣道 (町石道40町石)
12月17日	(公財) 日本交通公社	中辺路(式水)
12月18日	白浜町立白浜中学校	中辺路(三軒茶屋)
3年2月8日	那智勝浦町立市野々小学校	中辺路(三軒茶屋)
3年2月19日	新宮市立熊野川小学校	中辺路(式水、伏拝)
3年3月14日	和歌山県世界遺産マスター全体説明会 (熊野)	中辺路(祓殿)

◇世界遺産マスター制度

民間ボランティアによる世界遺産の保全と活用を推進するため、知事が認定する世界遺産マスターの新規認定、更新研修及び全体説明会を実施

○研修及び認定試験

<時期等> 3年2月6、7日 座学研修(和歌山市)
3年2月14日 現地研修(田辺市本宮町)
3年2月21日 認定試験(和歌山市)

<合格者> 18人

○更新研修会(第3・7期)及び全体説明会

<時期等> 3年3月13日 高野地区
3年3月14日 熊野地区

<参加者> 更新研修会 (高野地区) 7人 (熊野地区) 9人
全体説明会 (高野地区) 33人 (熊野地区) 22人

◇世界遺産管理調整員研修会の開催

世界遺産の毀損等に対して迅速に対応するため、県の各所属に設置している世界遺産管理調整員の研修会を開催

<時期等> 6月2日 和歌山県書道資料館(和歌山市) 参加20人
6月2日 西牟婁振興局 大会議室(田辺市) 参加20人
6月3日 和歌山県民文化会館(和歌山市) 参加76人(3回)

<内容> 管理調整の業務、世界遺産の基本情報・保護、県の景観施策

世界遺産登録地域の連携

◇世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会

世界遺産が所在する奈良・三重・和歌山の三県及び市町村関係者で構成される世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会により、保存管理計画を遂行するとともに、活用における指針の策定や、普及・啓発を図ります。

◇三県連携事業「吉野・高野・熊野の国」事業

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の所在する三県が連携し、世界遺産エリアの魅力について、情報発信やプロモーションを行い、認知度向上と誘客促進を図ります。

2020実績

◇「吉野・高野・熊野の国」事業実行委員会

○“今”だからこそ、“近場”で楽しもう！キャンペーン

<期 間> 10月1日～3年2月14日（応募締切3年2月28日）

<内 容> 期間中、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」地域の宿泊施設に2泊以上宿泊した三重県・奈良県・和歌山県在住者を対象にペア宿泊券や地域の特産品を計100人にプレゼントするキャンペーンを実施

<応募者> 270人

和歌山県世界遺産センター

◇和歌山県世界遺産センターへの誘客促進

展示施設と三面マルチ画面による迫力のある映像を広くPRすることにより誘客を促進し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力を広く発信します。

- ・和歌山県世界遺産センターのWEBサイトで世界遺産の魅力を情報発信
- ・モデルコースへの組み込みによる魅力アピール
- ・県が連携、協定しているスペイン、インドの世界遺産の資料を展示 等
- ・県観光PR動画のリニューアル 等

◇世界遺産を次世代に継承するための取組

世界遺産を良好な状態で次世代に継承していくために、世界遺産への関心を高める様々な事業を実施します。

○世界遺産セミナー

広く一般の方を対象として、高野・熊野地方の歴史や文化・自然をテーマに年4回開催します（無料）。

○世界遺産入門

学校・団体を対象とした学習・啓発プログラムを実施します。

○世界遺産ゼミ・自由研究

- ・大学生を対象としたゼミの課外研修や卒業論文の研究等をサポート
- ・小・中・高校生を対象とした自由研究や総合学習等のサポート
- ・フィールドワークをしながら世界遺産の価値を学習

○講師派遣の実施

県内外のセミナーやシンポジウム、研修会等へ職員を講師として派遣します。

○次世代育成事業

小・中・高校生を対象として、世界遺産入門・現地ウォークなどを組み合わせた学習を実施します。

○保存活用団体連携促進研修事業

和歌山県、三重県、奈良県において活動している保存団体や語り部団体等を対象として、交流促進を目的に研修会と現地ウォークを実施します。

2020実績

◇世界遺産セミナー（新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催見送り）

◇世界遺産入門

<参加> 20団体 計744人

活動日	団体名	場所
6月19日	県立串本古座高等学校	県立串本古座高等学校
8月18日	全国家庭科実践研究会	熊野本宮館
8月27日	田辺市立上秋津小学校	熊野本宮館
9月8日	田辺市立三栖小学校	熊野本宮館
9月16日	紀美野町立野上中学校	オンライン
9月17日	田辺市立田辺東部小学校	熊野本宮館
9月17日	白浜町立西富田小学校	熊野本宮館
9月27日	日高川町立丹生中学校	熊野本宮館
9月30日	海南市立第三中学校	オンライン
10月7日	白浜町立三舞中学校	熊野本宮館
10月8日	上富田町立市ノ瀬小学校	熊野本宮館
10月14日	Kumano Trek	熊野本宮館
10月17日	(一財)さわかみ財団	熊野本宮館
10月21日	那智勝浦町立那智中学校	那智勝浦町立那智中学校
11月11日	いきいき人生2002	熊野本宮館
11月27日	日本道路(株)	熊野本宮館
12月4日	海南市立亀川小学校	オンライン
12月7日	海南市立巽、加茂川、大東、下津小学校	オンライン
12月12日	県立南紀高等学校	熊野本宮館
3年2月8日	那智勝浦町立市野々小学校	熊野本宮館

◇世界遺産ゼミ、自由研究等（新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催見送り）

◇講師派遣

<参加> 11回実施

活 動 日	企 業・団体名等	活 動 場 所
5月22日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
6月2日	世界遺産管理調整員研修会	和歌山県書道資料館 西牟婁振興局
6月3日	世界遺産管理調整員研修会	県民文化会館
6月10日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
6月22日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
10月23日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
10月24日	特区通訳案内士養成研修	和歌山県情報交流センター Big・U
10月25日	特区通訳案内士養成研修	和歌山県情報交流センター Big・U
12月9日	地域・観光を考えるゼミ	県立田辺高等学校
12月26日	特区通訳案内士養成研修	県民文化会館
12月27日	特区通訳案内士養成研修	県民文化会館

◇次世代育成事業

<参 加> 20校 601人

活 動 日	企 業・団体名等	活 動 場 所
10月5日	有田川町立八幡中学校	那智勝浦町
10月9日	印南町立印南中学校	田辺市（本宮）
10月13日	海南市立日方小学校	田辺市（本宮）
10月15日	由良町立由良中学校	高野町
10月24日	県立田辺高等学校	田辺市（本宮）
10月28日	みなべ町立高城中学校	田辺市（本宮）
10月29日	和歌山市立加太中学校	高野町
11月5日	慶風高等学校	高野町
11月6日	海南市立内海小学校	田辺市（本宮）
11月12日	和歌山大学教育学部附属小学校	田辺市（本宮）
11月19日	和歌山市立今福小学校	高野町
11月20日	九度山町立九度山小学校	かつらぎ町、高野町
11月26日	橋本市立恋野小学校	高野町
12月1日	和歌山市立小倉小学校	高野町
12月3日	和歌山大学教育学部附属特別支援学校	高野町
12月5日	紀の川市立貴志川中学校	九度山町、かつらぎ町、高野町
12月8日	橋本市立清水小学校	高野町
12月11日	県立みはま支援学校	田辺市（本宮）

12月18日	白浜町立白浜中学校	田辺市（本宮）
3年2月2日	県立熊野高等学校	田辺市（中辺路）

参詣道スタンプを活用した誘客促進

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

全てのスタンプを押印された方に和歌山四参詣道“^{スーパー}超”完全踏破証明書を発行し、リピーターを含め、更なる誘客を図ります。

また、「熊野古道押印帳の手引き（英語版）」を活用し、外国からのお客さまもスタンプラリーを楽しみながら参詣道を周遊できる取組を進めていきます。

○高野七口、熊野古道紀伊路、熊野古道大辺路押印帳の配布

各参詣道の魅力を盛り込んだ押印帳を観光案内所等で配布（配置）します。

○踏破証明書の発行

下記のスタンプ全てを押印した方に、それぞれ踏破証明書を発行します。

また、「熊野古道中辺路」及び「和歌山四参詣道」を踏破した方の中から、抽選でペア宿泊券を贈呈します。（年2回）

- ・「熊野古道中辺路踏破証明書」－熊野古道中辺路（36か所）
- ・「紀伊路踏破証明書（記念品付）」－熊野古道紀伊路（22か所）
- ・「高野七口踏破証明書（記念品付）」－高野七口（19か所）
- ・「大辺路踏破証明書（記念品付）」－熊野古道大辺路（15か所）
- ・「和歌山四参詣道“^{スーパー}超”完全踏破証明書」－熊野古道紀伊路・中辺路・大辺路・高野七口（92か所）

2020実績

◇参詣道完全踏破のPRを通じた誘客促進

○熊野古道中辺路（36か所押印）

<踏破者> 59人 累計 1,294人（平成20年10月～）

○熊野古道紀伊路（22か所押印）

<踏破者> 44人 累計 174人（平成29年3月～）

○熊野古道大辺路（15か所押印）

<踏破者> 60人 累計 166人（平成29年3月～）

○高野七口（19か所押印）

<踏破者> 51人 累計 175人（平成29年3月～）

○“^{スーパー}超”完全踏破（92か所押印）

<踏破者> 34人 累計 95人（平成29年3月～）

「世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ」の活用促進

各種観光パンフレットなどの印刷物にQRコードを掲載し、専用WEBサイトへの誘導を図ります。

【世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ】

熊野古道中辺路・大辺路・紀伊路、高野参詣道の標準的な54コースを難易度別に分類し、選択したコースにJR等の最寄り駅における出発日時を入力することで次の情報を得ることが可能

- ・最寄り駅からウォーク出発点までの交通手段（発着時刻）、所要時間、料金
- ・ウォーク途中の主な通過ポイントまでの時間、距離
- ・ウォーク到着点から最寄り駅までの交通手段（発着時刻）、所要時間、料金
- ・コースの見どころやルートマップ

2020実績

◇熊野古道ウォーキングナビ

<P V> 専用WEBサイト 約4.1万回

IV 二次交通

二次交通（路線バス）の利便性向上

◇リムジンバス・アクセスバスの運行 詳細 132 頁

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため、関西国際空港から高野山を結ぶリムジンバス、京都駅から高野山を結ぶ高速バス、高野山から熊野エリアや高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

2020実績

◇リムジンバス・アクセスバス運行による情報発信 詳細 134 頁

V 世界農業遺産

「みなべ・田辺の梅システム」が平成27年12月15日に世界農業遺産に認定されたことを契機に、観梅をはじめ、「梅」にちなんだ体験や工場見学（システム紹介）など、世界農業遺産をうまく活用しながら、みなべ、田辺地域の梅の里への誘客を促進します。

受入対策

◇ガイド養成（みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会）

梅システムを紹介するジアス（世界農業遺産）マイスターを養成します。

また、「梅」に関連した観光素材に加え、世界農業遺産に認定された梅システムなどを紹介するための現地案内ガイドを養成します。

2020 実績

◇ジラス(世界農業遺産)マイスターの養成(みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会)

<内 容> 和歌山大学南紀熊野サテライトの世界農業遺産に係る公開講座の受講・修了者の中から、協議会が、世界農業遺産を説明・活用出来る人材として「梅システムマイスター」に任命

<時 期> 公開講座は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い次年度に延期

<備 考> 元年度までに29人任命

情報発信

◇動画配信による情報発信(みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会)

協議会ホームページ及び YouTube チャンネルで動画を配信し、世界農業遺産に認定された梅システムやシステムを支える取組、また、地域の魅力を紹介します。

2020 実績

◇世界農業遺産認定5周年記念動画配信(みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会)

和歌山大学南紀熊野サテライトで行われた公開講座を受講・修了し、梅システムを紹介・活用する『梅システムマイスター』に任命された高校生2人がリポーターとなり、システムを支える様々な方々へのインタビューや活動状況を撮影した動画を配信

<時期等> 12月15日～3年3月26日 全19本配信

(5) 『日本遺産』で和歌山を売り出す

文化庁が平成27年(2015年)に創設した「日本遺産」制度は、東京オリンピック・パラリンピックを契機に海外から訪れる観光客が地方を周遊するためのコンテンツとして、100件を目標に2年(2020年)まで認定が進められ、3年3月末日現在で104件が認定されました。本県関係としては7件が認定されています。これらの日本遺産の認知度向上を図り、誘客に繋がります。

I 「鯨とともに生きる」(平成28年4月認定)

「鯨とともに生きる」については、“海の日本遺産”、“山の世界遺産”をキャッチフレーズに、熊野エリアへの誘客促進のための情報発信に努め、案内サインや情報発信拠点の整備、日本遺産ガイドの養成等受け入れ体制の充実を図るとともに、鯨料理や体験プログラムなどの観光商品の創出・販売支援を行ってきました。引き続き、エリア内への誘客や周遊の促進、滞在時間延長のため、SNSやWEB等を活用し、同エリアの魅力を発信していきます。

情報発信・普及啓発

SNSやメディア等様々な媒体を活用し、国内外へ積極的に情報発信を行います。

◇特設WEBサイトによる情報発信

<内 容> 平成28年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、捕鯨文化と熊野エリアの魅力を総合的に情報発信

◇SNS等による情報発信

<内 容> Facebook等を活用した情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」への掲載

<内 容> 随時、新着情報を紹介

<展 開> 全国のメディア、旅行会社、高速道路主要SA、書店(160店舗)等

◇パンフレットの増刷

<内 容> 元年度に作成した『とことん体験 Book』、2年度に作成した『くじらキッチン第2弾』の掲載情報を更新・増刷

◇メディアの活用による情報発信

<内 容> 雑誌等を活用し、ターゲットを絞ったプロモーションを実施

◇修学旅行誘致の実施

<内 容> 県外を対象とした修学旅行誘致のため、学校及び教育委員会に向けて修学旅行プランを提案

2020実績

◇メディアによる情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
-----	-------	------

紀南新聞	「くじらキッチン第2弾」開始	12月19日
日刊水産経済新聞	「気軽に料理を楽しんで」 「くじらキッチン第2弾」	3年2月4日
デイリースポーツ広島版	古式捕鯨発祥の地で「癒し&健康旅」	3年2月15日
(株)大阪・神戸リビング新聞社 「City Living」大阪・神戸版	くじらキッチンと体験を愉しむ フォトジェニックな春の旅	3年2月26日
(株)たびこふれ 「たびこふれ」	日本遺産「鯨とともに生きる〜 くじらキッチン第2弾をレポート します！」	3年2月26日
産経新聞社 「産経新聞大阪本社版」	旅の達人	3年3月4、 11日
(株)JTBパブリッシング 「るるぶ情報版」	「太地町と鯨の歴史&グルメ」	3年4月末

◇新たな観光商品の開発支援

○『くじらキッチン第2弾』の開発支援

20～30歳代の女性の観光客をターゲットに、鯨肉を活用した新たなランチを開発する店舗を支援

- ・開発に必要なとなる鯨肉の提供（1kg／事業者）
- ・試食会の開催

- <開催日> 10月9日
- <商品数> 4商品（パスタやタタキなど）
- <内容> 料理研究家コウケンテツ氏を招へいし、
開発された料理の試食会を開催



- ・『くじらキッチン第2弾』パンフレットの作成
 - <規格> A5サイズ 20ページ
 - <部数> 10,000部
 - <配布> エリア内の役場、観光施設、宿泊施設 他
シティリビング大阪・神戸版への同梱
- ・『くじらキッチン第2弾』コースタープレゼントキャンペーンの実施
 - <期間> 12月21日～3年3月19日
 - <内容> 『くじらキッチン第2弾』パンフレット掲載メニューを食べた方を対象に抽選でくじらキッチン限定コースターをプレゼント
 - <応募数> 36人

◇ファミツアーの実施

- <時期> 12月2～3日
- <内容> “海の日本遺産”と“山の世界遺産”をめぐる旅
- <対象> メディア・旅行会社
- <参加者> 5事業者（6人）

＜行 程＞ 創作バル 縁 Enishi（昼食『くじらキッチン第2弾』）～神倉神社～森浦湾～くじらの博物館（カヤック等体験）～道の駅たいじ～那智参詣曼荼羅・くじらの民芸品絵付け体験～いさなの宿 白鯨（泊）鯨骨鳥居・岩門～梶取崎～熊野古道大門坂～那智大滝・熊野那智大社・那智山青岸渡寺～妙法山阿弥陀寺～九龍島・鯛島（車窓）～串本旬菜おおはし（昼食『くじらキッチン第2弾』）～南紀ジオパークセンター～道の駅くしもと橋杭岩

II 「絶景の宝庫 和歌の浦」（平成29年4月認定）

平成29年度に日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」については認定後、協議会を設立し、情報発信や受入体制の整備、地域の機運醸成に努めてきました。

今後は、観光遊覧船などの体験メニューや食事を組み合わせた楽しみ方を提案していくとともに、地域の皆さんに日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」のストーリーを理解していただき、この地域を訪れるお客さまにその魅力を語るができるよう機運を醸成していきます。

情報発信・普及啓発

観光遊覧船などの体験メニューや食事、地域の人々のオススメの景色等、和歌の浦及び周辺地域での楽しみ方を紹介します。

◇総合ガイドブック等の増刷

＜内 容＞ 平成29年度に制作した総合ガイドブック等の掲載情報を更新・増刷

◇特設WEBサイトによる情報発信

＜内 容＞ 平成29年度に制作した特設WEBサイトを引き続き運営し、和歌の浦エリアの魅力を総合的に情報発信

◇(公社)和歌山県観光連盟との連携による情報発信

＜内 容＞ 県が発行する各種観光パンフレットや県観光連盟が発行する観光情報誌『紀州浪漫』に随時関連記事を掲載

◇Tシャツアート展巡りの実施

＜内 容＞ 2年度に実施したフォトコンテストの応募作品を活用しTシャツアート展巡りを実施

◇旅行会社とのタイアップ企画

＜内 容＞ 旅行会社とタイアップセミナーを開催し関連ツアーを造成

◇メディア活用による情報発信

＜内 容＞ 雑誌やWEB等を活用し、「絶景の宝庫 和歌の浦」の魅力について情報を発信

2020実績

◇周遊促進ガイドブックの修正・増刷

＜内 容＞ 元年度に制作した周遊促進ガイドブックの掲載情報を更新・増刷

<部 数> 10,000部

◇メディア対策

・テレビ、雑誌等

名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)流行発信 「Cheek (2020年7月号)」	和製アマルフィが美しい「雑賀崎」	7月23日
紀州浪漫 (秋号)	和歌の浦フォトコンテスト開催	9月1日
わかやま新報	日本遺産和歌の浦フォトコンテスト	3年2月20日
(株)流行発信 「Cheek (2021年2月号)」	名古屋から日帰り海外旅行 日本のアマルフィ	3年2月23日
(株)昭文社 「ことりっぷ Magagin (春号)」	和歌の浦の絶景へ 紀州漆器のまち黒江へ	3年3月9日
日本航空(株) 「SKYWORD (4月号)」	日本のアマルフィ『雑賀崎』	3年4月号

◇日本遺産“絶景の宝庫 和歌の浦”フォトコンテスト・写真展の実施

構成エリア及び周辺地域の魅力を広く発信するため、Instagram を活用したフォトコンテストを実施、併せて入賞作品の展示を行う写真展を開催

・フォトコンテスト

<時 期> 9月1日～11月30日

<テーマ> 『#わかかのうら十景』 応募総数540作品
『#撮っておきわかかのうら』 応募総数506作品
それぞれ10作品を入賞作品として選定



・写真展

<時 期> 3年3月3日～13日

<場 所> 和歌の浦アート・キューブ

<内 容> フォトコンテスト入賞作品20作品に加え、和歌の浦エリアで活躍する写真家の作品も展示

Ⅲ 「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」(2年6月認定)

=New=

2年6月に日本遺産に認定された「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」については、認定後、協議会を設立し、情報発信や受入体制の整備、地元の機運醸成に努めてきました。

今後はより一層の誘客を図るため、情報発信を行うとともに、人材育成や受入体制の強化により誘客を促進していきます。

葛城修験日本遺産活用推進協議会

「日本遺産」ブランドの確立のため、行政・観光協会で構成する「葛城修験日本遺産活用推進協議会」により、構成団体が協働して事業を推進します。

2020 実績

- ◇葛城修験日本遺産活用推進協議会設立総会を開催
 - <時期等> 8月7日 ホテルアバローム紀の国
 - <内容> 協議会の規約、誘客促進基本計画、補助金に係る交付要望
- ◇葛城修験日本遺産活用推進協議会幹事会を開催
 - <時期等> 9月30日 和歌山県自治会館
 - <内容> 第2回総会、日本遺産シンポジウム 等
- ◇葛城修験日本遺産活用推進協議会第2回総会を開催（書面開催）
 - <時期等> 10月1日 ※書面開催に係る文書を発出
 - <内容> 2年度事業計画、2年度事業収支予算 等



人材育成・普及啓発・調査研究事業（文化芸術振興費補助金）

◇日本遺産ガイド養成研修会等の開催

<内容> 認定された日本遺産の魅力や構成文化財のストーリー中の位置づけをはじめ、周辺の観光資源を含め、訪れるお客様に伝える人材を育成します。

◇地域プロデューサーの育成

<内容> 日本遺産を活用した地域振興を図るため、エリアを設定し、それぞれのエリアで中心的な役割を担う地域プロデューサーを育成する研修会を開催します。

◇リレー形式セミナー及び巡回展の開催

<内容> 各構成自治体リレー形式でのセミナー及び博物館や資料館での巡回展を開催します。

◇小中学生向け教育プログラムの開発

<内容> 地域の小中学生が日本遺産に対する理解を深め、その価値を継承していこうとする意欲を高めるための教材等を作成します。

◇日本遺産のターゲットの選定等嗜好性調査

<内容> ターゲット層を詳細に調査するとともに、その層が「修験」に関するどのようなモノ・コト等に関心があり、何を求めるのか等について調査を実施します。

◇周遊ルートの開発

<内容> 地図アプリに搭載した葛城修験の周遊ルートで、旅行社やメディア等を対象にモニターツアーを実施することにより、当該ルートのブラッシュアップを図ります。

◇未指定の文化財調査

<内 容> 後世に良好な状態で引き継げるよう葛城修験の経塚やその周辺の構成文化財について調査を実施します。

2020実績

◇シンポジウムの開催（奈良会場）

<時期等> 3年2月13日 王寺町地域交流センター
リーベルホール

<参加者> 126人

<内 容> ・基調講演

演 題：「山と里と人々の祈り」

講演者：大塚 静弘（元山上千光寺住職）

・パネルディスカッション

テーマ：「現代に受け継がれる修験道」

パネリスト：奥田 昇（香芝市教育委員会生涯学習課主幹）

村瀬 憲夫（近畿大学名誉教授）

五鬼助 義之（前鬼宿坊小仲坊61代目）

五鬼助 三津子（前鬼宿坊小仲坊61代目）

※講演者の大塚 静弘氏もパネリストとして参加



◇シンポジウムの開催（大阪会場）

<時期等> 3年2月27日 エブノ泉の森ホール（泉佐野市立文化会館）小ホール

<参加者> 215人

<内 容> ・基調講演①

演 題：「修験道と日本遺産葛城修験」

講演者：田中 利典（総本山金峯山寺長騰、種智院大学客員教授）

・基調講演②

演 題：「葛城修験 歩く宗教巡る文化」

講演者：福家 俊彦（天台寺門宗、総本山三井寺（園城寺）長吏）

・パネルディスカッション

テーマ：「葛城修験と地域の関わり」

パネリスト：家田 荘子（作家、高野山真言宗僧侶、泉佐野市観光大使）

樋野 修司（泉佐野の歴史と今を知る会、元歴史館いずみ
さの館長）

※講演者の田中 利典氏、福家 俊彦氏もパネリストとして参加

◇シンポジウムの開催（和歌山会場）

<時 期> 3年3月7日 和歌山県民文化会館 大ホール

<参加者> 406人

<内 容> ・基調講演

演 題：「現代に受け継がれる修験道の奥深さ」

講演者：宮城 泰年（本山修験宗管長、聖護院門跡門主）

・パネルディスカッション

テーマ：「加太・友ヶ島と和泉山脈の葛城二十八宿」

パネリスト：大橋 直義（和歌山大学教育学部准教授、紀伊半島価値共創基幹紀州経済史文化史研究所副所長）

小橋 勇介（和歌山市立博物館学芸員）

藤井 保夫（加太浦大護摩供願彰会会長（加太地区連合自治会副会長））

※講演者の宮城 泰年氏もパネリストとして参加

◇日本遺産コンテンツ（周遊ルート）の開発

<時 期> 3年3月31日

<内 容> 経塚や構成文化財を巡る19のモデルルートを開発し、日本遺産WEBサイトにアップ

公開活用のための整備、情報発信事業（文化資源活用事業費補助金）

◇構成文化財等案内サイン等の作成・設置

<内 容> 構成文化財等に解説板や誘導板を作成・設置します。

◇葛城修験PRホームページの英訳

<内 容> 作成したWEBサイトをインバウンド向けに英訳し、海外からの誘客を図ります。

◇葛城修験ガイドブックの作成

<内 容> 葛城修験の魅力を伝えるため、葛城修験だけではなく、食事処、見どころや周遊ルートを紹介するガイドブックを作成します。

◇日本遺産コンテンツの開発

<内 容> 葛城修験の周遊ルート（19ルート）を地図アプリに掲載することで経塚や構成文化財に迷うことなく誘導できるよう受入体制を整えます。

◇映像コンテンツの制作

<内 容> 日本遺産のストーリーを視覚的に伝え、理解を深めてもらうため、葛城修験の舞台等を撮影し、葛城修験の魅力を分かりやすく紹介する観光プロモーション動画を制作します。

2020実績

◇日本遺産PRWEBサイト制作

<時 期> 3年3月31日

<URL> <https://katsuragisyugen-nihonisan.com>

◇日本遺産PR冊子（概要版）の制作

<時 期> 3年3月15日

<部 数> 50,000部



IV 県内の日本遺産との連携

県内には、一町単独で申請し認定された日本遺産や県内自治体を構成メンバーとし他府県の自治体が主体となって申請し認定された日本遺産もあります。

これらの日本遺産についても、様々なプロモーションの機会を捉えてPRを行います。

◇県内の日本遺産

○「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅（平成29年4月認定）【湯浅町】

○「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～

（平成30年5月認定）【広川町】

○1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～（元年5月認定）

【代表申請：滋賀県大津市、県内自治体：和歌山市、紀の川市、那智勝浦町】

○女性とともに今に息づく女人高野

～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～（2年6月認定）

【代表申請：河内長野市、県内自治体：九度山町、高野町】

V 日本農業遺産

「下津蔵出しみかんシステム」が平成31年2月15日に、「聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム」及び「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」が3年2月19日に日本農業遺産に認定されたことを契機に、各システムの魅力を活用しながら、各地域への誘客を促進します。

情報発信

◇WEBサイトによる情報発信

（下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会、高野山・有田川流域世界農業遺産推進協議会、有田みかん地域農業遺産推進協議会）

WEBサイトより、システムの魅力や農業遺産イベントを紹介します。

(6) 『温泉』で和歌山を売り出す

本県の温泉は、源泉数が多く、豊富な湯量があり、また、県内の至るところに特徴ある温泉地が所在する「いで湯の国」です。その泉質も抜群で、年齢性別を問わず、本県への旅行目的の上位を占める観光素材です。

温泉の「泉質の良さ」や「かけながし」を前面に出し、世界遺産、食、自然など周辺の観光素材と組み合わせたプロモーションを行います。さらに、それぞれの温泉地が持つ特色や魅力を発信しつつ、各温泉地における観光関係団体と連携しながら「おもてなし」の向上などを図り、総合的な魅力アップにより誘客を促進します。

I 源泉かけながし

源泉かけながし

源泉数の多さや豊富な湯量、「山」、「海」、「川」と趣の異なる温泉に加え、抜群の泉質、源泉かけながしなど和歌山の温泉の魅力を発信します。

- <内 容> 専用WEBサイトでの情報発信
「水の国、わかやま。」での情報発信 [詳細 18 頁](#)
県観光情報サイト「わかやま観光情報」での情報発信
各種パンフレットで紹介

2020 実績

- ◇源泉かけながし温泉WEBサイト
<内 容> 県内の源泉かけながし温泉を掲載
(エリアや泉質による絞り込みなど検索機能を構築)
105,363万PV(4月1日~3年3月末日)
- ◇「水の国、わかやま。」による情報発信
<内 容> 「水の国、わかやま。」パンフレット、WEBサイトで温泉を紹介
[詳細 18 頁](#)

II おとなの白浜さんぽ

「日本三古湯」や「泉質の良さ」など、「温泉」を中心に白浜や椿、日置川エリアが元来持つ魅力をWEBサイトで紹介します。

情報発信

◇WEBサイトによる情報発信

○専用WEBサイトによる情報発信

- <内 容> 白浜・田辺エリアの観光素材・周遊ルートを紹介します。

III 温泉地の誘客

温泉地の魅力アップ

◇わかやま12湯推進協議会

県内各地にある泉質の良い温泉地への誘客・地域活性化に寄与するため、地域・旅行会社が連携して情報発信をします。

<内 容> 県内各地の温泉を紹介するチラシの作成、各地域ならではの旅行商品の企画・販売

◇和歌山市の温泉

- 「万葉」で誘客（加太、和歌の浦、紀三井寺）

加太、和歌の浦、紀三井寺は、歴史と景観に彩られた地です。万葉集には、これらの地域で詠まれた歌がいくつか収められており、万葉をテーマとした情報発信やイベントを行うことで、全国の万葉ファンの誘客を促進します。

- 「おさかなリゾート」で誘客（加太）

地元の美味しい鮮魚と海や島を活かした体験（伝統漁法見学、漁船クルーズ等）を組み合わせ、京阪神やインバウンドの観光客の誘客を行います。

◇南紀白浜温泉

- 「しらはま和みコンシェルジュ」で周遊・滞在促進

白浜温泉旅館協同組合加盟施設の従業員が「コンシェルジュ」となり、自ら体験したおすすめ体験プログラムの紹介や手配、また、町内の隠れスポットなどの紹介を行います。

- アートによる白浜の新たな魅力付け

白浜温泉旅館協同組合と大阪芸術大学がコラボし、まちなかでのアート体験や白浜温泉の各ホテルでのコンサート、ライブペインティング等により白浜＝アートな町のイメージづくりにより白浜の新たな魅力付けを行います。

- 「ALL白浜」で周遊・滞在促進

ALL白浜“ここでしかできない旅”実行委員会（※）では、まちなかの周遊促進のための各種取組を実施します。

※構成 商工会、観光協会、旅館組合、町、県、商店街連合振興会、飲食業組合（平成22年に組織）

<主な取組>

- ・ランチプロジェクト「白浜 de ランチ」の実施
- ・おもてなしボランティア「ウェルカムサポーター」の運営 など

- 食の魅力「クエ」で誘客

観光協会、旅館組合、JR西日本、旅行会社等が連携し、安定供給が可能となった「クエ」を白浜の食として誘客に活用します。

- 多彩なイベントによる誘客

白浜の四季を彩るさまざまなイベント情報を発信し、誘客に繋がります。

◇龍神温泉

- 「日本三美人の湯」で誘客

龍神温泉は、弘法大師・空海が開き、紀州徳川家の湯治場となっていた由緒ある温泉です。また、日本三美人の湯としても知られています。こうした魅力に併せて、世界遺産「高野山・熊野」への近接性などのメリットを主に女性層に発信し、誘客します。

◇熊野本宮温泉郷

世界遺産・熊野本宮大社の膝元に開けた熊野本宮温泉郷は、世界遺産「つぼ湯」が所在する古湯「湯の峰温泉」、毎年冬、河原を掘って作られる「仙人風呂」で有名な「川湯温泉」、アウトドアと大露天風呂が楽しめる「渡瀬温泉」と、それぞれ違った魅力を有しています。世界遺産にこれらの魅力を併せて発信することで誘客を促進します。

◇串本温泉

○豊かな自然で誘客

「ラムサール条約湿地」に登録されたサンゴの海、本州最南端の「潮岬・大島」、国名勝天然記念物の「橋杭岩」をはじめ、平成26年8月、日本ジオパークに認定された「南紀熊野ジオパーク」などの豊かな自然と新たに「カヤックフィッシング」や「SUP」などのマリナクティビティを加え、更に充実した体験プログラムと本州最南端の温泉で誘客と滞在を促進します。

○食の魅力「海の食材」で誘客

ブランド「しよらさん鯉」（プレミア和歌山）をはじめ、「まぐろ」「イセエビ」「トビウオ」など、海の食材には事欠かない串本の「食」を「本まぐろ養殖体験」などユニークな体験プログラムと組み合わせて発信します。

◇南紀勝浦温泉

○世界遺産を活用した誘客

世界遺産に近接するメリットを最大限に活用しつつ、温泉、グルメ、イベント、体験プログラムといった地域観光素材を組み合わせ魅力発信を行うことで、女性層をターゲットにした誘客を促進します。

○食の魅力「生まぐろ」で誘客

南紀勝浦の食を代表する「生まぐろ」を中心に情報発信することで「食」での誘客を促進します。まぐろをテーマとした各種イベント（まぐろ祭り、バル等）の実施や「生まぐろ食べ歩きマップ」による店舗紹介など、まぐろの町ならではのPRを展開します。

2020実績

◇GO TO わかやま12湯 (株)トラベルニュース社)

<時期> 7月13日 大阪市中央公会堂

<内容> Go To トラベルキャンペーンを見据え、和歌山の温泉や歴史、文化を知っていただくため開催。

◇南紀白浜温泉

○しらはま和みコンシェルジュ (白浜温泉旅館協同組合)

<時期> 平成26年4月～

<内容> 体験プログラム案内担当(コンシェルジュ)を設け、体験プログラムの利用を促進

白浜周辺を含む体験事業者を募り、チラシ作成、施設各部屋に配置

コンシェルジュやフロントから予約

○シーサイドイルミネーション

<時 期> 11月21日～3年1月24日

<内 容> 白良浜遊歩道沿いに光のプロムナードを演出。

◇川湯温泉

○川湯温泉仙人風呂

<時期等> 12月1日～3年2月28日 来場者：約60,000人

<内 容> 川を一部せきとめて作られる日本一大きな露天風呂

【参考】

◇温泉総選挙 2020

<時 期> 10月1日～3年1月20日

<主催者> 旅して日本プロジェクト実行委員会

<内 容> 様々な部門賞を通じて温泉の効能や温泉地の魅力を広くPRし、国民へ温泉地の利用を促進することを目的として実施。

エントリー温泉地総数：210温泉地

<受 賞> ①南紀勝浦温泉

・部門賞「歴史・文化部門」第3位（獲得票数4,287票）

②やどり温泉いやしの湯

・部門賞「ファミリー部門」第2位（獲得票数2,714票）

<備 考> 総投票数 235,736票

(7) 『自然の素晴らしさ』で和歌山を売り出す

本県は、海、山、川など、天与の観光資源である自然に恵まれ、心身のリフレッシュや景観を楽しむだけでなく、自然をフィールドにさまざまな体験を楽しむ観光客が増えています。

「水」をテーマにした「水の国、わかやま。」を通じて、新たな「和歌山の魅力」を発信するとともに、観光資源の開発やブラッシュアップを行います。

また、和歌山の自然を楽しみながら走るサイクリングルートの整備が進み、現在は、サイクリストに優しい宿や、サイクルステーションなど、受入環境の拡充に取り組んでいます。

水の造形でもある南紀熊野ジオパーク（県内の9市町村に所在）は、平成31年1月、日本ジオパークに再認定されました。これは、貴重な自然、そこから発生した自然崇拝や熊野信仰、人間の営み、豊かな温泉、食文化があり、それを地域の人々が保全し、活性化につなげる活動を継続して繰り広げてきたからこそ再認定されたもので、今後、世界ジオパーク認定に向けた取り組みを行います。

I 「水の国、わかやま。」 詳細 18 頁

滝や清流など水がもたらす本県の豊かな自然を盛り込んだパンフレット及び公式WEBサイト（日本語版、英語版）等により、国内外に「水の国、わかやま。」の魅力を広く情報発信します。

II 「サイクリング王国わかやま」 詳細 23 頁

県内全域を網羅するサイクリングロード、また、サイクリストに優しい宿やサイクルステーションの拡充を行い、豊かな自然の中、安全・安心かつ快適にサイクリングを楽しめる「サイクリング王国わかやま」として国内外に発信します。

III 南紀熊野ジオパーク

「ジオパーク」を活用した観光振興

◇南紀熊野ジオパークセンターの取組

- ・南紀熊野ジオパークセンターを南紀熊野ジオパークエリアの観光の情報発信拠点とし、地域への誘客を促進します。
- ・センター内に南紀熊野ジオパークガイドが常駐し、地域の様々な魅力を発信します。
- ・教育旅行の受け入れを推進します。

◇各種情報発信ツールやメディア展開

各種情報発信ツールやメディア展開において「南紀熊野ジオパーク」の魅力を発信し認知度向上・誘客促進に努めます。

◇「南紀熊野ジオパーク」モバイルスタンプラリーの実施 =New=

昨年から実施している「わかやま・まるごとスタンプラリー」に県内のジオサイトを巡るスタンプラリーを追加します。

◇「南紀熊野ジオパーク推進協議会」と連携した観光振興

平成26年8月に日本ジオパークに認定され、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を進めている「南紀熊野ジオパーク」地域について、推進主体である南紀熊野ジオパーク推進協議会と連携しながら、観光振興での活用を図ります。

○推進協議会の観光振興に係る主な事業

- ・協議会公式ホームページやSNSによる情報発信
- ・各種メディアを活用したPRを実施
- ・南紀熊野ジオパークガイド養成（エリア拡大講座・スキルアップ研修）
- ・南紀熊野ジオパークフォトコンテストの開催
- ・南紀熊野ジオパークフェスタの開催

【ジオパーク】

貴重な地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通して地球科学の普及や環境教育などを行い、さらに観光資源として活用することで地域の活性化を目指す。

世界ジオパークは、平成27年11月に世界遺産と同じユネスコの正式事業に承認された。

【南紀熊野ジオパーク推進協議会】

構成団体：県、新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、

古座川町、北山村、串本町の行政・教育委員会・経済団体及び奈良県十津川村

設立年月：平成25年2月

2020 実績

◇「水の国、わかやま。」による情報発信

[詳細 19 頁](#)

◇南紀熊野ジオパークガイド養成（エリア拡大）【主管：自然環境室】

<内 容> 「各エリアの主なジオサイト」（座学）

「ジオサイト現地実習」

「実技試験」

受講者7人 合格者5人

<実施主体> 南紀熊野ジオパーク推進協議会

◇南紀熊野ジオパークフォトコンテスト【主管：自然環境室】

<内 容> 南紀熊野の地形や風景、自然の恵み、地元特有の動植物、歴史や文化、農業、漁業、地場産業やエリア内の人々の営みなど、南紀熊野の魅力を題材にした写真のコンテストを実施

<応募数> 91人 延べ395作品

◇第8回南紀熊野ジオパークフェスタの開催【主管：自然環境室】

<時期等> 3年3月6日 南紀熊野ジオパークセンター

<内 容> 講演会、オンライン交流会

<実施主体> 南紀熊野ジオパーク推進協議会、近畿地方環境事務所

◇各種メディアでのPR

・旅行新聞社「旅行新聞」（発行日：3年2月11日）

・JTBパブリッシング「ノジュール（4月号）」（発行日：3年3月27日）

- ・サンケイリビング新聞社「シティリビング（大阪・神戸版）」
（発行日：3年2月26日）
- ・(株)ワン・パブリッシング「CAPA CAMERA WEB」
（掲載：3年2月26日～）

IV 自然を活用した誘客

自然とのふれあい

◇「和歌山で楽しむアウトドア（仮称）」の取組

新型コロナウイルス感染症の流行以降、“密”を回避する旅行が主流となっており、特に、自然に触れ合うアウトドア志向が急激に高まっています。これらの変化をとらえ、本県の豊かな自然を生かした素晴らしいアウトドアフィールドで大いにリフレッシュしてもらうため、情報発信や体験メニューのブラッシュアップを行い、誘客につなげます。

また、「ほんまもん体験プログラム」において人気の高いプログラムを積極的に情報発信することで、ファンを増やしリピーター化を図ります。

○OTA等と連携した情報発信 =New=

OTA等と連携し、訴求力の高い魅力的なアウトドアコンテンツを集約し、テーマ別に整理の上、情報発信します。

○ワークショップや研修会等の実施 =New=

体験事業者や観光協会など観光関連団体を対象としたワークショップ等を開催し、既存メニューのブラッシュアップや新たなコンテンツの掘り起こしを実施します。

○体験観光の開発

新たに「水」に関連する体験型観光を実施する事業者に対する支援を行います。

○各種メディア等と連携した情報発信 =New=

雑誌への掲載など各種メディア等と連携した情報発信を行います。

○アウトドア関連イベントへの出展

・アウトドアフェス

<時期> 4年3月（予定）

<場所> 万博記念公園（吹田市）

2020実績

○アウトドアフェス（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い参加見送り）

<時期> 3年3月6、7日

<場所> 万博記念公園（吹田市）

<主催> テレビ大阪(株)

県立自然公園を活用した誘客

◇県立自然公園のイメージアップ【主管：自然環境室】

里程標の設置や歩道整備等を行った県立自然公園の魅力を発信するため、専用WEBサイトやSNS等の各種広報媒体を活用した周知・PRに取り組みます。

2020実績

◇ロゴの活用

きいちゃんのデザインによるロゴマークを作成し、WEBサイトに掲載するとともに、看板等へ表示

◇専用WEBサイトを活用した魅力発信

各自然公園の周遊ルート又はおすすめスポットなどがわかるページやルールのページを掲載したWEBサイトを制作し、「和歌山県観光情報」や「南紀熊野ジオパーク」のWEBサイトと連携

◇SNSを活用した情報発信

専用のInstagramを開設

◇周遊コースの整備

幅広い世代に利用してもらえる登山ルートに里程標を設置するとともに、安心して利用できるように歩道整備を実施

また、劣化や腐敗が進んでいる看板等を撤去・整備し、イメージアップ



フォトライブラリーの活用

◇フォトライブラリー

WEBサイトを活用し、旅行会社等へ和歌山の魅力ある風景や観光スポットの写真を提供することにより、本県への誘客を促進します。

2020実績

◇情報発信力の強化

○写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運用

<内 容> 写真登録件数 721件（3年3月末現在）

(8) 『食の魅力』で和歌山を売り出す

温暖な気候風土に恵まれた本県には黒潮で獲れる海の幸、梅やみかんをはじめとする山の幸があります。「食」は「温泉」などとともに旅行目的の重要な要素であり、地元の新鮮な食材を活かした特色あるメニューや郷土料理等を他の観光素材と組み合わせて情報発信することで誘客につなげます。

また、地域で人気のあるお店やカフェなど女性にうける店舗や、バルなどの地域等が新たに実施する「食」に関する取組について情報発信等を行います。

I 女性に人気のあるお店やカフェ

和歌山通がおすすめするグルメ情報

◇観光情報サイト内「わかやまグルメ」

随時、旬なグルメ記事を掲載。観光客が来店しやすいような店舗情報を掲載、更新することで誘客を図ります。

2020実績

◇和歌山通がおすすめするグルメ情報の発信

<時期> 4月1日～

<内容> 随時旬なグルメや観光客が実際訪れられるよう店舗情報を掲載、更新

<実績> 計6テーマを更新

II 情報発信

「食」の情報発信

◇県観光情報サイトにおける情報発信

すべての情報発信の際に、旅の楽しみ方として最新グルメやご当地グルメなど「食」の情報や周辺観光スポットなどの情報をあわせて発信することで誘客を図ります。

◇地元グルメの情報発信

「地元ならではの食」や「地元の看板グルメ」を各種観光パンフレット等に掲載し、積極的に情報発信することで誘客に繋がります。

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー（お得なクーポン付与）

県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設をめぐるスタンプラリー。規定数のスタンプを集めて応募すると、宿泊券や県産品等を抽選で進呈。「わかやま・まるごとスタンプラリー」の1メニューとして、アプリでの運用に移行。 [詳細 109 頁](#)

○県観光ガイド&マップ

○県観光情報誌「紀州浪漫」 など

2020実績

◇県観光情報サイトにおける情報発信

「郷土料理・特産・土産」「果物」「魚介類・肉類」「飲料」毎に代表する「食材」

を紹介

◇地元グルメの情報発信

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー 詳細 110 頁

○県観光ガイド&マップ

県内主要路線・航路図・高速バスリニューアル

○県観光情報誌「紀州浪漫」

各号の特集などで旬の素材や地域グルメを紹介

(9) 『ほんまもん体験』で和歌山を売り出す

体験観光は、観光客が訪問先での滞在時間を延ばし、消費拡大につながる重要な観光素材です。自然、農林漁業や歴史文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」は約390のメニューがあり、これらを活用して和歌山を売り出します。

特に、自然に触れ合うアウトドア志向の急激な高まりに対応するため、本県の豊かな自然を生かしたアウトドアフィールドと体験メニューの魅力を情報発信するとともに、体験メニューのブラッシュアップを行い、誘客に繋がります。

「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行は、県外の児童・生徒が「和歌山の魅力」に触れる絶好の機会であり、将来、和歌山を再訪する潜在的なお客さまを増加させるツールとして積極的な誘致活動を展開します。

I 「ほんまもん体験」を活用した修学・教育旅行の誘致 詳細 103 頁

「ほんまもん体験」を修学・教育旅行に組み込むことによる教育的効果の期待が高まり、本県への修学・教育旅行が増加しています。この機を活かし、様々な学習・体験ができる修学・教育旅行を全国の学校に提案します。

また、訪日教育旅行は、学校交流や農山漁村生活体験を通じて、県内の児童・生徒や地域の方々が異文化を体験し、国際理解を深める機会にもなっています。今後も海外の旅行会社や学校に積極的にプロモーションを行い、さらなる誘致に努めます。

II 体験プログラムの魅力発信

体験プログラム情報発信等

◇「水の国、わかやま。」との連動 詳細 18 頁

「水の国、わかやま。」で水の体験アクティビティを紹介します。

◇体験プログラムの情報発信

さまざまな媒体を活用して体験プログラムの情報発信を行います。

その際、利用状況や事業者からのヒアリング結果などから利用しやすい体験プログラムを選別し、それらをより強く情報発信します。

- <内 容> 県観光情報サイトにおける専用ページでの紹介
パンフレットの配布
イベント等における情報発信
プレスツアーへの組入れ
雑誌への特集記事掲載

◇旅行会社へのセールス活動の強化

団体での受入れが可能で、かつ、人気が高く利用しやすい体験プログラムを旅行会社に積極的に情報提供し、商品化に繋がります。

- <内 容> 旅行会社訪問時の情報提供
旅行会社現地研修ツアーへの組入れ

◇アウトドア体験プログラムの情報発信 =New= 詳細 68 頁

2020 実績

◇体験プログラムの情報発信

「ほんまもん体験」ホームページ、パンフレットやメディアを通じた情報発信を実施

- 「わかやま観光新聞・なごみ旅」での情報発信

＜時 期＞ 3年3月26日

- シティリビングでの情報発信

＜時 期＞ 3年3月26日

- 「ほんまもん体験」ホームページの改修、更新

- 「ほんまもん体験」パンフレットの配布

体験プログラムの魅力アップ・利便性向上

◇地域観光関係団体による体験観光の利便性向上

観光協会、旅館組合など地域観光関係団体を中心となって、周辺の体験プログラム等を積極的に情報発信することにより、地域への滞在と消費を促します。

◇体験観光の開発支援 詳細 18 頁

◇アウトドア体験プログラムのフラッシュアップ =New= 詳細 68 頁

◇紀州語り部のレベルアップ

紀州語り部のおもてなし力の向上を促す研修会等や相互連携を図る連絡会議を実施すると共に、次世代の担い手とされる人材確保等に努めます。

- 紀州語り部ガイドレベルアップ支援

紀州語り部各団体等が独自で行うレベルアップ研修に対する助成を行います。

＜対 象＞ 紀州語り部各団体等

- 紀州語り部連絡会議、研修会の実施

紀州語り部登録団体・登録者間の交流、語り部の資質向上、相互連携を図るための研修会等を開催します。

＜時期等＞ 4年1～3月頃、連絡会議は県内2か所、研修会は県内外1～3か所で開催

◇将来の地域人材確保に向けた取組

世界遺産の語り部などの将来的な人材不足を見据え、地域が求める次世代を担う人材の裾野を拡大します。

- 紀州語り部 次世代担い手の育成

次世代を担う語り部を育成するために、各語り部団体・各市町村・市町村観光協会等と連携し、担い手となる各団体等への調整や周知を図ると共に、座学編、実践編、お見合い編と段階的な認知活動を進めます。

＜時 期 等＞ 9月～4年1月頃

＜募集対象＞ 県内外の希望者

- 世界遺産を次世代に継承するための取組 詳細 48 頁

○日本遺産ガイドの養成 [詳細 58 頁](#)

○和歌山県版通訳ガイド育成 [詳細 165 頁](#)

2020 実績

- ◇わかやま次世代語り部の育成 (新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)
- ◇体験事業者及び紀州語り部のレベルアップ
 - 県内体験事業者研修会の実施 (新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)
 - 紀州語り部ガイドレベルアップ支援事業 (新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)
 - 紀州語り部おもてなし研修会の実施 (新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

(10) 『ブランド』で和歌山を売り出す

世界的旅行誌「ロンリープラネット」が発表した「ベスト・イン・トラベル 2021」の「サスティナビリティ（持続可能性）部門」において、読者投票により『和歌山』が世界で唯一選出されるなど世界からの評価がより一層高まっています。本県にはグローバルブランドである「世界遺産」や「ミシュラン三つ星」に加え、「スピリチュアル」、「絶景」、「良質な温泉」など富裕層観光客の欲求を満たす観光資源が豊富にあるにもかかわらず、富裕層に対応できる宿泊施設が依然不足しています。富裕層向け宿泊施設の立地により、地域ブランドの向上や新しい顧客層の誘客が期待できることから、県では平成28年度に富裕層向け宿泊施設誘致のための奨励金制度を創設し、担当部局と協働して誘致に向けた取組を開始しました。さらに、元年度には所有と運営が分離する開発スキームに対応した新奨励金制度に改定。富裕層向けの上質な宿泊施設の誘致に向けた活動をさらに強化します。

また、本県独自のブランドとして「和歌山県ふるさと大使」をはじめ、スーパースターなどを前面に出したPR活動を行います。県が委嘱している「和歌山県ふるさと大使」、「わかやまパンダ大使」、「和歌山県観光大使」、県観光連盟が委嘱している「わかやま応援団」や「和歌山ファンクラブ」の方々には、メディアや企業等、それぞれが関係するフィールドにおいて広く情報発信を行っていただくとともに、本県のスーパースターであるアドベンチャーワールドの「パンダファミリー」や和歌山電鉄貴志川線の「執行役員ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」の世代を問わない人気や、安全で高品質な県産品として認定されたわかやまの逸品「プレミアム和歌山」など、ブランド力を活かしたプロモーションを実施します。

I 富裕層向け宿泊施設の誘致

そのエリアにストーリー性があり眺望や非日常感に優れる候補地を選定して、不動産投資事業者、宿泊施設運営事業者、その他関係事業者に対して提案活動を実施します。併せて、候補地における各種規制への対応や地元関係者との調整など、宿泊施設の誘致に向けた総合的な活動を実施します。

2020 実績

◇県の誘致活動により開業が決定した宿泊施設

「（仮称）南紀白浜 和みの湯 花鳥風月」

立地場所：西牟婁郡白浜町3729-32他

総客室数：全24室（全室半露天風呂付き）

雇用予定：20人（うち正社員従業員13人）

運営：(株)京都プラザホテルズ（本社：京都府京都市南区）

開業予定：3年12月（予定）

II ふるさと大使などによる情報発信

和歌山県ふるさと大使等によるPR

「和歌山県ふるさと大使（坂本冬美さん、小西博之さん）」や「わかやまパンダ大使（岡本玲さん）」、「和歌山県観光大使（袁文英さん）」には、さまざまな観光イベントなどに出演を依頼し、メディアを介して広く情報発信を行っていただきます。また、「わかやま応援団（33人）」「和歌山ファンクラブ（814人）」の方々には、各人の持つ広い人脈を通して観光や県産品等の情報を発信していただきます。



2020 実績

◇和歌山県ふるさと大使等によるPR活動

○ふるさと大使・坂本冬美さん

- ・「おうちで和歌山」への出演

＜時期等＞ 5月8日～ YouTube

○わかやまパンダ大使・岡本 玲さん

- ・「おうちで和歌山」への出演

＜時期等＞ 5月8日～ YouTube

- ・紀州浪漫（春号）でのインタビュー

＜時期等＞ 3年3月1日

＜内 容＞ 11月に産まれたパンダに関するコメント等

○わかやまファンクラブ

＜会員数＞ 814名

＜内 容＞ 紀州浪漫の送付

Ⅲ パンダなどブランドを活用した情報発信

情報発信

◇日本一の飼育頭数を誇る「パンダ」を活用した誘客展開

アドベンチャーワールドにおいて、昨年11月、2年ぶりにメスの赤ちゃんパンダ「楓浜（ふうひん）」が誕生しました。引き続き、「パンダ＝和歌山」のイメージの拡大・定着を図るとともに、周辺の楽しみ方も含め情報発信に努めます。

○都市圏プロモーションにおける情報発信

- ・メディア、旅行会社訪問時にパンダ情報を紹介

○メディアを活用した情報発信

- ・テレビ、雑誌、新聞広告などによる情報発信

◇和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」による情報発信

和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぱん」の露出機会を増やし、『パンダ＝和歌山』イメージの拡大・定着を図ります。

○「わかぱん」の全国的な露出拡大を図るため、大手企業とのタイアップを開拓・推進

○県内事業者等に、商品やパッケージへの「わかぱん」の使用を働きかけ

○各種プロモーション（メディア訪問等）実施時に「わかぱん」着ぐるみ登場

○「わかぱん」各種ノベルティ（シール、缶バッジ、絆創膏、ピンバッジ等）の活用

◇「パンダ」イメージプロモーション

○メディアを介した情報発信を期するため、「わかやまパンダ大使」の岡本 玲さんをイベントや観光情報等で起用

○県観光情報サイト、「わかぱん Twitter」等による旬のパンダ情報の発信

◇和歌山電鐵「たまⅡ世駅長・ニタマ」で誘客促進

全国的な知名度がある「執行役員ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」や「いちご電車」「おもちゃ電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鐵とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進します。

○「ニタマ駅長」への和歌山県勲功爵授与式 **=New=**

＜時 期＞ 4月29日（木）

＜内 容＞ 和歌山電鐵貴志駅の執行役員ウルトラ駅長として活躍する「ニタマ駅長」が、本県の魅力を全国へ発信し続けている功績を称え、和歌山県勲功爵の称号を授与します。

○都市圏プロモーション [詳細 113 頁](#)

・メディア、旅行会社訪問時の紹介

○岡山市における情報発信

・同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

2020 実績

◇「わかやま観光新聞・なごみ旅」の発行

＜時 期＞ 3年1月8日、3月26日

＜内 容＞ 赤ちゃんパンダの誕生と旬の観光情報を紹介

◇シティリビングへの掲載

＜時 期＞ 3年3月26日

＜内 容＞ 赤ちゃんパンダの誕生とトレッキングなど県内のアウトドア体験メニューを紹介。

◇テレビ番組での放映

＜時 期＞ ①3年2月26日

（びわ湖放送、三重テレビ、岐阜放送、テレビ和歌山）

②3年3月4日（サンテレビ）

＜内 容＞ 赤ちゃんパンダの誕生と白浜のおすすめスポットを紹介した番組を制作・放映

◇紀州浪漫（春号）への掲載

◇京阪神エルマガジン社「SAVVY」（3年3月23日発行）

＜内 容＞ パンダの赤ちゃん誕生と白浜広域のおすすめスポット（6ページ）抜き刷りパンフレットを作成（2.5万部）し、名古屋市内及び京阪神地区の店舗等に設置配布

IV アニメの活用

本県にゆかりのある「アニメ」の活用

本県にゆかりのある「アニメ」作品を集約し、本県出身の漫画家の協力を得ながら、ゆかりの地を巡る旅を提案・発信します。

◇イメージキャラクターの活用

本県出身の人気漫画家・助野嘉昭氏の協力により制作したアニメ系のイメージキャラクター「和歌みなみ」の等身大パネル等を各種プロモーションや媒体で活用します。

◇「わかやまアニメ旅」による発信

県観光情報サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」作品や舞台となった地の情報を発信することで誘客（アニメ聖地巡礼）に繋がります。

2020 実績

◇「わかやまアニメ旅」による発信

県観光情報サイト内「わかやまアニメ旅」において本県にゆかりのある「アニメ」作品や舞台となった地の情報を追加発信

○サマータイムレнда

和歌山市の友ヶ島がモデルとなっているサスペンス漫画

V プレミア和歌山

プレミア和歌山の活用

優良県産品（プレミア和歌山）の販促活動と連携した観光プロモーションを実施することで、観光と物販の相乗効果を高めます。

また、各種キャンペーンにおける賞品等でプレミア和歌山認定商品を積極的に活用し、認知度向上に努めるとともに、地域の特産品やお土産として観光的価値の高い商品について、積極的にPRを行います。

さらに、プレミア和歌山の高品質な県産品をセレクトしたお土産PR冊子を宿泊施設に配置し、観光客の消費単価の向上、消費拡大につなげます。

◇厳選お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」による情報発信

＜時 期＞ 随時

＜内 容＞ プレミア和歌山認定商品の中から高品質なものをセレクトするとともに

に、エリア毎におすすめのお土産や道の駅などの販売店舗をダイジェストで紹介。

<展 開> 県内宿泊施設

◇特設WEBサイト「**premier SELECT－わかやまの逸品－**」による情報発信

<時 期> 随時更新

<内 容> お土産パンフレット「premier SELECT－わかやまの逸品－」の掲載内容をベースに内容を随時更新していきます。

<展 開> 県観光情報サイト内に開設している特設WEBサイトに誘導
「和歌山の絶品グルメ」「和歌山のほんまもん体験」「ナイトライフインわかやま」「和歌山の夜の楽しみ方」「premier SELECT－わかやまの逸品－」の各WEBサイトへ誘導するために纏めたリーフレットを県内宿泊施設（各部屋）に配置

2020 実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」ミニ特集「紀州三昧」

秋号：近大キャビア、冬号：紀州南高梅ひつまぶし

春号：海の生ハム

(11) 『四季折々の魅力』で和歌山を売り出す

四季折々の表情を見せる和歌山の観光素材。その時期ならではの見どころや楽しみ方がたくさんあります。こうした情報に加え、特色ある祭りや地域イベントなど本県ならではの旬の情報をきめ細やかに発信します。

旬の情報発信

県観光情報誌やイベント情報チラシ、県観光情報サイト、ラジオ番組等で旬の情報をタイミングよく発信します。

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 詳細 90 頁

<時期等> 年4回（6、9、12、3月）発行
各号6.5万部

<展開> 全国のメディア、和歌山ファンクラブ会員、全国主要都市の主要書店160店舗など

◇県観光情報サイト 詳細 91 頁

旬のイベント情報、四季折々の見どころや楽しさを紹介します。

◇地元の方しか知らない熊野古道の見どころを情報発信 詳細 41 頁

地元の方しか知らない熊野古道の魅力をWEBサイトで国内外に広く情報発信します。

◇ラジオ番組

○県内の主なイベントなどの観光情報をタイムリーに発信し、聴取エリアからの誘客を図ります。

<番組名> 和歌山放送
「つながるワイド」内の観光情報コーナー「ぐるっと紀州路」

<時期> 毎週木曜日 15時20分～約5分間

○関西の観光情報を発信

<番組名> NHK第1
「マイあさ！関西」内の「関西おでかけ情報」

近畿2府4県（6週に1回）毎週金曜日 7時46分～約5分間

2020実績

◇県観光情報誌「紀州浪漫」 詳細 90 頁

各号のミニ特集「紀州三昧」やイベントカレンダーで四季折々のお祭りやイベントなどを紹介

◇ラジオ番組

<放送日等> (※)はNHK第1、その他は和歌山放送

テーマ	放送日	場所	時期
和歌山城の桜	4月2日	和歌山市	4月上旬

熊野本宮大社例大祭	4月9日	田辺市	4月13～15日	※
こいのぼり丹生川渡し	4月16日	九度山町	4月上旬～5月5日	
和歌山市森林公園のアジサイの見頃	6月4日	和歌山市	6月上旬～下旬	
源氏螢の鑑賞	6月11日	有田川町	5月下旬～6月下旬	
滝原温泉ほたるの湯の大賀ハス	6月18日	広川町	6月中旬～7月中旬	
北山村 観光筏下り	6月25日	北山村	7月1日～	
御滝注連縄張替式	7月2日	那智勝浦町	7月9日	
県民リフレッシュプラン等	7月9日	県内	7月8日販売開始、7月10日利用開始	
串本町 橋杭、田原海岸海開き	7月16日	串本町	7月18日～8月31日	
花園あじさい園	7月23日	かつらぎ町	7月下旬	
WAKAYAMA 800～サイクリング王国わかやま～	7月24日	県内	～3月21日	
世界の美しい昆虫展	7月30日	和歌山市	6月5日～9月22日の土・日・祝	
しあわせの宮 夢風鈴まつり	8月6日	海南市	8月1日～8月15日	
森浦湾海上遊歩道	8月13日	太地町	7月1日～	
古座川カヌー体験	8月20日	古座川町	通年	
観光ぶどう園「有田巨峰村」	8月27日	有田川町	8月中旬～9月	
キャニオニング	9月3日	北山村	9月末まで	
「水の国、わかやま。」	9月4日	県内	通年	
令和2年度夏期企画展「如来 — NYORAI —」	9月10日	高野町	～9月27日	
和歌の浦遊覧船	9月17日	和歌山市	～10月31日	

鷲ヶ峰コスモスパークのコスモス	9月24日	有田川町	9月上旬 ～10月下旬	※	
KINOKAWA リフレッシュ♪ラリー with 宝さがし	10月1日	岩出市、 紀の川市	9月18日 ～1月22日		
—有田みかんが当たる—湯浅・広川 日本遺産巡りスタンプラリー	10月8日	広川町、 湯浅町	8月6日 ～11月30日		
いせえび味覚まつり	10月15日	すさみ町	10月15日 ～2月28日		
和みわかやまっぷ	10月16日	県内	10月6日 ～4年8月31日		
和みわかやまっぷ	10月16日	県内	10月6日 ～4年8月31日		
シャボテン・多肉植物即売会	10月22日	岩出市	10月31日、 11月1日		
北山三村フェスタ	11月5日	北山村	11月1日 ～30日		
みなべフォトコンテスト	11月12日	みなべ町	10月1日 ～12月31日		
わかやま・まるごとスタンプラリー	11月19日	県内	10月30日～		
甘露寺駅周辺「恋の聖地」	11月25日	紀の川市	～12月13日		
フェスタ・ルーチェ	11月26日	和歌山市	10月31日 ～3年2月14日		
わかやま・まるごとスタンプラリー	11月27日	県内	10月30日～		※
川湯温泉「仙人風呂」	12月3日	田辺市	12月1日 ～3年2月28日		
フォトコンテスト～てくてく歩いて ワクワク和歌山新発見～	12月9日	和歌山市 他紀北エ リア	～3年1月31日		
白浜シーサイドイルミネーション	12月10日	白浜町	3年1月21日 ～24日		
「ヘンな模様の石」展（特別展示）	12月16日	串本町	12月11日 ～3年1月8日		
冬季平常展「密教の美術」	12月17日	高野町	12月12日 ～3年4月11日		
和みわかやまっぷインスタ賞	12月23日	県内	～3年8月31日		

きみのフォトコンテスト 2020	12月24日	紀美野町	10月1日 ～3年2月28日	
ニューイヤーズカウントダウン ニューイヤーズスターライトイリ ュージョン	12月30日	和歌山市	12月31日 ～3年1月1日	
那智の滝、三重の塔ライトアップ	12月31日	那智勝浦 町	12月31日	
葛城修験シンポジウム	3年1月7日	和歌山市	3年2月6日	
有田みかん海道マラソン オンラ イン	3年1月14日	有田市	募集3年1月31 日 実施3年2月14 日 ～28日	
WAKAYAMA 800モバイルスタンプ ラリーインスタ賞	3年1月20日	県内	～3年3月21日	
古座川ジオサイトサイクリングス タンプラリー	3年1月21日	古座川町	～3年2月28日	
早春の洋ラン展	3年1月28日	岩出市	3年2月5～7日	
まぐろ・くじら満喫体験フェスタ	3年2月4日	那智勝浦 町	3年2月1日 ～7日	
赤ちゃんパンダ名前募集について	3年2月11日	白浜町	12月24日 ～3年2月23日	
シラハマシネマ 2021 ドライブイン シアター&フードマルシェ	3年2月18日	白浜町	3年2月20日 ～2月22日	
いちご狩り	3年2月25日	紀の川市	3年1月9日 ～5月中旬	
古座川町、クマノザクラ紹介	3年2月26日	古座川町	3年3月上旬～	※
九度山・真田ミュージアム令和2年 度企画展「火縄銃の魅力～砲術研究 科澤田平コレクションより～」	3年3月4日	九度山町	3年1月6日 ～3月28日	
家族で参加しよう！友が島大好き 大作戦	3年3月11日	和歌山市	3年3月20日	
田辺のうまい昼ご飯あがら井 2020	3年3月18日	田辺市	～3年3月31日	
桃源郷フォトコンテスト	3年3月25日	紀の川市	3年3月15日 ～4月15日	
◇「熊野古道の新たな見どころ100選」による情報発信				詳細41頁

祭り・イベント

伝統的な祭りのほか、奇祭、参加型イベントなどバラエティーに富んだ祭りの数々をタイミングよく情報発信し、誘客を図ります。

【紀州三大祭り】

- ・和歌祭（５月第２日曜日） 紀州東照宮（和歌山市） プレミアム和歌山
- ・田辺祭（７月２４、２５日） 鬪雞神社（田辺市）
- ・粉河祭（７月２５、２６日） 粉河駅前通り（紀の川市） プレミアム和歌山

【火祭り】

- ・那智の扇祭り（７月１４日） 熊野那智大社（那智勝浦町） プレミアム和歌山
- ・高野山万燈供養会（ろうそく祭り）（８月１３日）
金剛峯寺／奥之院（高野町）
- ・本州最南端の火祭り（１月最終土曜） 潮岬望楼の芝焼き（串本町）
- ・御燈祭（３年２月６日） 神倉神社（新宮市） プレミアム和歌山
- ・生石高原の山焼き（３年３月） 生石高原（紀美野町・有田川町）

【有名な祭り】

- ・湯登大祭（４月１３～１５日） 熊野本宮大社（田辺市本宮町）
プレミアム和歌山
- ・花盛祭（４月第２日曜日） 丹生都比売神社（かつらぎ町）
プレミアム和歌山
- ・齋刺祭（１０月第１土曜日） 大宮神社（岩出市） プレミアム和歌山
- ・みかん祭（１０月第２日曜日） 橋本神社（海南市）
- ・笑い祭（１０月第２日曜日） 丹生神社（日高川町）
- ・奉納花相撲（泣き相撲）（１０月中旬）
山路王子神社（海南市）
- ・隅田八幡神社の秋祭（１０月上旬） 隅田八幡神社（橋本市） プレミアム和歌山
- ・御船祭（１０月１６日） 熊野速玉大社（新宮市） プレミアム和歌山
- ・ひな流し（３年３月３日） 淡嶋神社（和歌山市）

【市民参加型イベント】

- ・砂まつり（秋頃） 白良浜（白浜町）
- ・弁慶映画祭（１１月） 田辺市内
- ・南紀おやじバンドコンテスト（１２月上旬）
上富田文化会館（上富田町）

2020 実績

祭りやイベント等について、県観光情報サイト、県観光情報誌「紀州浪漫」、イベントカレンダー、マスコミ等を通じて広く情報発信

3 和歌山へ招く

(1) 『メディアを活用』して和歌山へ招く

「和歌山の魅力」の発信は、本県観光戦略の主軸であり、なかでもメディアの活用は、最も重要な施策です。近年、ロンリープラネットやAirbnb、ガイジンポットなどの国内外からの高評価を連続して得ているのは、明らかに各種メディアからの情報発信の成果であるといえます。引き続き、県観光情報誌「紀州浪漫」の全国展開に加え、「世界遺産」「女子旅」などのブランド力やマーケットの注目度の高いテーマと「まだまだ知られていない和歌山の魅力」をテレビ、ラジオ、雑誌、新聞、WEB及びSNS（Facebook、Twitter、Instagram）などとの組み合わせに加えインフルエンサーの活用などにより効果的かつ効率的に発信します。

また、有名自転車メーカーなどの企業とのタイアップやCSR活動の推進により企業のブランド力とパブリシティを活用するとともに、大都市圏等でのプロモーション活動においても、プロモーション実施地域のテレビ、新聞などのメディアから情報発信を行います。

さらに、映画やテレビ番組等のロケ地を誘致するフィルムコミッション活動を展開し、映像を通じた魅力発信を図ります。

番組制作、記事掲載の促進

◇企画提案活動の実施

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEBなどの各種メディアに対し、それぞれの媒体のコンセプトやターゲット層にマッチした観光素材やキャンペーンの提案活動を推進します。

◇企業とのタイアップ事業、企業のCSR活動による広報展開

トレッキングやマリンスポーツ、サイクリングなどを展開するメーカーなどの企業とのタイアップや企業がCSR活動を広報するため実施しているパブリシティを積極的に活用します。

◇SNSを活用した情報発信の実施

サイクリング、アウトドア、グルメなど各分野に影響力のあるインフルエンサーを招致し、それぞれのSNSで魅力を発信していただきます。

<時期> 随時

◇阪急阪神グループタイアップキャンペーン 詳細 113 頁

◇都市圏などでのプロモーション活動における情報発信 詳細 113 頁

都市圏やターゲットとする地域において実施する複合プロモーション活動の一環として、地域のテレビ局や主要新聞社などを訪問し、ニュースや記事等で旬の情報を発信します。

◇各種イベント・事業での情報発信

○世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 詳細 42 頁

○その他の事業

「10万人の参詣道環境保全トレッキング」、「世界遺産三県連携事業」、「ほんまもん体験」などの事業を展開するなかで、雑誌、フリーペーパーなどを活用し、本県の魅力を発信します。

◇**観光PR動画を活用した情報発信** =New=

和歌山県全域にわたる観光地を紹介するプロモーション動画を制作。WEBサイトやSNS、イベント、観光施設等で放映し、美しい映像で観光地の魅力を発信します。

◇**広告展開**

コンベンション、スポーツ合宿などのターゲットに確実に訴求できる専門誌への広告掲載や各種キャンペーン、旬の情報等の雑誌、新聞広告を実施します。

◇**旬の情報発信**

レジャー関連記者やメディアに対し、写真共有サイト「Flickr（フリッカー）」を活用した観光情報を随時メールで発信します。

◇**わかやま紀州館の取組** [詳細 124 頁](#)

わかやま紀州館が東京都心に位置することを活かし、情報発信効果の高い首都圏の各種メディアに積極的にアプローチすることにより情報発信を促進します。

2020 実績

◇**企画提案活動**

本県の露出拡大を目的に、メディアや企業等へのセールスを実施

<時期> 6月

<訪問先> 名古屋のメディア 1社
(株)名古屋リビング新聞社

<内容> 「蘇りの地、わかやま」を中心に県内の最新情報を紹介

<時期> 7月

<訪問先> 名古屋のメディア 1社
(株)ゲイン

<内容> 「蘇りの地、わかやま」を中心に県内の最新情報を紹介

<時期> 8月

<訪問先> 名古屋のメディア 2社
(株)KADOKAWA、(株)名古屋リビング新聞社

<内容> 「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンを中心に県内の最新情報を紹介

<時期> 9月

<訪問先> 名古屋のメディア等 1社
(株)ゲイン

<内容> 「蘇りの地、わかやま」宿泊得々キャンペーンを中心に県内の最新情報を紹介

○テレビ（一部再掲）

名称	掲載テーマ	発行日等
----	-------	------

ABC朝日放送 「おはよう朝日土曜日です」	紅葉先取り！秋の高野山巡り	10月31日
○新聞、フリーペーパー、雑誌等		
名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)流行発信 「Cheek（7月号）」	おうちで絶景（田辺市、和歌山市、由良町）	5月23日
(株)和歌山リビング新聞社 「リビング和歌山」	自然豊かな和歌山のみどころ、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月11日
(株)名古屋リビング新聞社 「CityLiving」名古屋版	タイアップ企画「観光お試しBOX」、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月17日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月18日
ニュース和歌山(株) 「ニュース和歌山 PLUS」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月20日
読売新聞大阪本社 「読売新聞大阪本社版」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月21日
(株)ゲイン 「KELLY（9・10月合併号）」	大自然が心を満たす夏の和歌山	7月21日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 9月号」	自然豊かな和歌山のみどころ、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月23日
(株)和歌山リビング新聞社 「Lism」	自然豊かな和歌山のみどころ、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月25日
(株)流行発信 「おでかけ大人旅13プレミアムベスト」	天神崎、千畳敷、一枚岩、那智の滝	7月30日
(株)KADOKAWA 「関西ウォーカー」	和歌山の自然を体験しよう 絶景&アクティビティ 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	8月20日
サンケイ広告(株)奈良支社 「Prime Time」	高野山、串本エリアのアート空間を紹介、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	8月下旬
(株)ゲイン 「KELLY（11月号）」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	9月23日

(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 11月号」	夢みるニッポン旅 和歌山 熊野	9月23日
サンケイ広告(株)奈良支社 「Mamarche2020Autumn」	親子で楽しむ紀南1泊2日の旅	9月30日
(株)京阪神エルマガジン社 「月刊 SAVVY 別冊 1泊2日& 日帰り旅」	夢みるニッポン旅 和歌山 熊野	11月6日
(株)KADOKAWA 「東海ウォーカー」	魅力いっぱいの熊野1泊2日旅	11月20日
スターツ出版(株) 「オズマガジントリップ12月 発売号」	「水の国、わかやま。を旅しよう」 特集とカレンダー付録	12月7日
(有)ユーフォリアファクトリー 「TRANSIT50号」	和歌山・熊野古道 蒼に宿る神	12月17日
八重洲出版 「CYCLE SPORTS 3月号」	百キロ温泉の誘惑	3年1月20日
(株)昭文社 「ことりっぷ Magazine」春号	春の高野山巡りと山麓エリアの みどころ	3年3月9日
スターツ出版(株) 「Oz magazine」	パワースポット	3年3月12日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 5月号」	パンダと白浜広域	3年3月23日
辰巳出版(株)「自転車日和」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	3年4月下旬

OWEB等

名称	掲載テーマ	発行日等
(株)ゲイン 「日刊 KELLY」	大自然が心を満たす夏の和歌山、 ヘッドラインニュース「蘇りの 地、わかやま」キャンペーン情報	7月21日
ロカルわかやま運営委員会 「ロカルわかやま」	「蘇りの地、わかやま」キャンペ ーンの紹介	7月29日 ~8月31日
Kansai Scene WEB	ウォーターアクティビティ	6月29日
(株)名古屋リビング新聞社 「Cityliving WEB」	「蘇りの地、わかやま」キャンペ ーン情報	7月17日
Japan Travel WEB	ウォーターアクティビティ (百間山溪谷, ダイビング、シー カヤック、SUP)	8月10、18日

(株)KADOKAWA 「関西ウォーカー」	和歌山の自然を体験しよう 絶景&アクティビティ 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	8月20日
Kansai Scene マガジン、WEB	ファームステイ	9月1、2日
マガジンハウス WEBマガジン 「casabrutus.com」	南紀白浜で建築半日散歩	9月4日
(株)KADOKAWA ウォーカープラス	水の国わかやま、高野山、熊野、サイクリング王国わかやま、わかやま歴史物語の5本	9月4日～
Yahoo! JAPAN インフィード広告	秋の和歌山旅	9月16日 ～10月17日
Gaijin Pot WEBサイト	高野山	9月21日 10月20、21日
Gaijin Pot YouTube	高野山	9月21日 10月20、21日
(株)産経デジタル WEBサイト 「Cyclist」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	11月16日～
(株)柊出版 「BiCYCLE CLUB 1月号」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	11月20日～
辰巳出版(株) WEBサイト「自転車日和」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800	公開 11月21日～ 22日～
(株)KADOKAWA 「ウォーカープラス」	魅力いっぱいの熊野1泊2日旅	11月26日
Japan Digest WEB	みかん	12月11日
Rough Guides WEB	アウトドアスポーツツーリズム	3年2月10日
VOYAPON WEB	アウトドアスポーツツーリズム	3年2月10日
Japan Travel WEB	みかん	3年2月15日
Japan Travel WEB	みかん	3年3月予定
Japan Travel WEB	ロードトリップ	3年3月予定
Golf in Japan WEB	ゴルフツーリズム	3年3月予定

（株）昭文社 「ことりっぷ Magazine」春号	春の高野山巡りと山麓エリアの みどころ	3年3月9日
Japan Travel、Japan Digest WEBサイト	柿	3年中予定
（株）産経デジタル WEB 「Cyclist」	人気インスタグラマーが走る WAKAYAMA 800 VOL. 2	3年3月下旬～ （予定）

- ◇人気インスタグラマー及びメディア招請ファムツアー [詳細 28 頁](#)
- ◇企業のCSR活動による広報展開 [詳細 101 頁](#)
- ◇和歌山県×阪急阪神グループ「今が旬わかやまキャンペーン」 [詳細 113 頁](#)
- ◇大都市圏などでのプロモーションにおける情報発信 [詳細 114 頁](#)
- ◇各種イベント・事業での情報発信
 - 世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサートにおける情報発信 [詳細 43 頁](#)
 - 10万人の参詣道環境保全活動 [詳細 46 頁](#)
 - 熊野古道見どころ100選 [詳細 41 頁](#)
 - 水の国、わかやま。 [詳細 20 頁](#)
 - サイクリング王国わかやま [詳細 28 頁](#)
 - わかやま歴史物語 [詳細 32 頁](#)
 - 日本遺産「鯨とともに生きる」 [詳細 54 頁](#)
 - 日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」 [詳細 56 頁](#)
 - 日本遺産「『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」 [詳細 57 頁](#)
 - リムジンバス・アクセスバス [詳細 134 頁](#)
 - 和みわかやまキャンペーン事業 [詳細 110 頁](#)
 - 旬の情報ほか [詳細 80 頁](#)
- ◇わかやま紀州館 [詳細 124 頁](#)

県観光情報誌による情報発信

◇県観光情報誌「紀州浪漫」

県観光情報誌「紀州浪漫」は発刊から19年が経過し、本県を代表する観光情報誌として定着しています。

引き続き、旬の観光情報とマーケットニーズに即応する誌面を制作し、主要書店を始め全国に情報発信します。

<時期等> 年4回（6、9、12、3月）発行

各号6.5万部

<配布> 全国のメディア、和歌山ファンクラブ、全国主要都市の主要書店約160店舗 など

2020 実績

◇観光情報誌「紀州浪漫」特集面

○夏号（6月）※新型コロナウイルス感染拡大に伴う取材中止を受け発行取りやめ

○秋号（9月）「蘇りの地わかやま」

自然に癒やされる和歌山の魅力を紹介

○冬号（12月）「冬に愉しむアウトドア」

トレッキングやサイクリング、グランピングなど冬にこそ楽しみたいアウトドアコンテンツを紹介

○春号（3月）「春巡る自転車旅」

春にふさわしいスポットをレンタサイクルで巡る旅を紹介

「わかやま観光情報」「わかやま紀州館」サイトによる情報発信

◇県観光情報サイト「わかやま観光情報」からの情報発信

「水の国、わかやま。」、「サイクリング王国わかやま」、「わかやま歴史物語」、「高野山」「熊野古道」「グルメ」等、常時アクセス頻度の高いコンテンツバナーをトップページに配置し、和歌山の旅の魅力を発信します。

○和歌山のグルメ情報の提供

随時旬なグルメ記事を掲載します。

○写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運営

法人・旅行会社の皆さまに使用していただけるよう、四季の風景や旬の料理など魅力的な写真データを集めたダウンロードサイトを運営します。

<掲載数> 721枚（随時更新）

○源泉かけ流し温泉

エリアや泉質による絞り込みなどの検索機能を付加し、バラエティに富んだ源泉かけ流し温泉の魅力を発信します。

○ほんまもん体験

約410の体験プログラムを紹介します。予約時期、ジャンル・エリア別等の検索機能により容易に体験したいプログラムが見つかります。

○旬の観光情報発信

旬のイベントやおすすめ情報、四季折々の見どころや楽しさを時期に応じて紹介します。

○イベント情報、観光スポット情報の検索

エリア、カテゴリ、タグ、キーワードなど、利用者の目的に合った検索が可能なわかりやすい検索システムを提供します。

○利用者ごとの情報発信

観光事業・教育旅行関係者向けのページにより、教育旅行やコンベンションなどの情報を発信します。

◇県観光情報サイト「わかやま紀州館」からの情報発信

わかやま紀州館サイトの観光・物産・イベント・講座などの各種情報を随時更新し、首都圏向け情報発信の強化を図ります。

2020実績

◇情報発信力の強化

- 和歌山県観光情報サイト「わかやま観光情報」リニューアル
見やすく、親しみやすく、情報提供をしやすいホームページを目指し、10月にリニューアルを実施
- 写真ダウンロードサイト「和歌山県観光フォトライブラリー」の運営
 - <時期> 平成29年1月10日～
 - <内容> 観光連盟が使用权等を有する写真データを、インターネットを通じて観光事業・教育旅行関係者向けに和歌山の紹介・PRにダウンロードしていただけるシステムを運用

SNSを活用した情報発信

◇Twitter・LINEの連動による和歌山観光情報の多角発信

県・県観光連盟主催のキャンペーンやイベント情報のみならず、県産品の魅力などについて、各地域から情報を集約して発信します。

- わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama) 平成22年10月開設
- わかばん Twitter (@wakayamakanko) 平成23年8月開設
- わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan) 平成24年12月開設

◇Facebookを活用した情報発信

個人旅行者の旅行意欲やサイクリストの来県を喚起するため、日本・和歌山の四季の魅力、観光地やイベントなどの情報を随時発信します。

- WAKAYAMA 800 サイクリング王国わかやま Facebook ページ 平成30年1月開設
- 水の国、わかやま。Facebook ページ 平成30年9月開設
- 鯨とともに生きる Facebook ページ 平成31年1月開設
- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～Facebook ページ 元年6月開設
- 葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地 Facebook ページ 3年1月開設

◇Instagramを活用した情報発信

観光客誘客を目的に近年、急速にユーザー数を増やしている写真・動画共有ソフト「Instagram」を用い、県内各地の観光資源を世界に発信します。

- 観光連盟 Instagram (nagomi_wakayama_tourism) 平成27年5月開設
- Instagramを活用した投稿キャンペーンの実施
 - <時期> 随時
 - <内容> 和歌山県オフィシャル「@nagomi_wakayama_tourism」をフォローし、「#グッドトリップ和歌山」「#(撮影スポット名等)」を付けて投稿いただいた中から入選作品を選定し、「わかやま観光情報」サイト内の専用ページで紹介するとともに、同「フォトライブラリー」でも掲載・活用します。

◇YouTubeを活用した情報発信 =New=

観光情報誌「紀州浪漫」発行に合わせて YouTube による動画配信を行います。
また、サイクリング関連動画等も配信します。

2020 実績

◇Twitter・LINE の連動による和歌山観光情報の多角発信

○わかばん Twitter (@wakayamakanko)

<実績> フォロワー 8,750人
 ツイート 2,794件

○わかやま紀州館 Twitter (@soon_wakayama)

<実績> フォロワー 7,757人
 ツイート 16,758件

○わかやま紀州館 LINE (@wakayamakisyukan)

<実績> 友だち数 5,159人

◇Facebook を活用した情報発信

○水の国、わかやま。

<実績> 発信回数 62回 (うち今年度32回)
 フォロワー数 8,101人

○WAKAYAMA800 サイクリング王国わかやま

<実績> 発信回数 151回 (うち今年度41回)
 フォロワー数 7,147人

○世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」～高野山、熊野、熊野古道～

<実績> 発信回数 98回 (うち今年度47回)
 フォロワー数 14,118人

○鯨とともに生きる

<実績> 発信回数 51回 (うち今年度4回)
 フォロワー数 1,394人

○「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

<実績> 発信回数 31回 (うち今年度31回)
 フォロワー数 397人

◇Instagram を活用した情報発信

○和みわかやま (nagomi_wakayama_tourism)

<実績> 投稿数 371回 (うち今年度35回)
 フォロワー数 11,406人

<内容> 和歌山の絶景、温泉、食、体験アクティビティ、旬の観光情報などを紹介

◇Instagram 投稿キャンペーン

○「和みわかやまっぷ with スタンプラリー」 [詳細 110 頁](#)

○「WAKAYAMA800 モバイルスタンプラリー」 [詳細 24 頁](#)

○「#グッドトリップ和歌山」

- <時 期> 6月19日～3年3月19日
- <投稿数> 29,609件
- <内 容>
- ・和歌山県内を訪れて写真を撮影
 - ・和歌山県公式アカウント「@insta_wakayama」をフォロー
 - ・ハッシュタグ「#グッドトリップ和歌山」「#(撮影スポット名等)」を付けて投稿
 - ・毎月入選10作品を選びWEBサイトで紹介
 - ・フォトライブラリーへ掲載

フィルムコミッション

ジャパン・フィルムコミッションのネットワークを積極的に活用し、業界関係者に強く働きかけ、映画やテレビ番組等のロケを誘致することで、映像を通じた魅力発信と認知度向上を図ります。

◇ジャパンフィルムコミッション近畿ロケ地フェア2021への出展

- <時期等> 8月頃 大阪
- <内 容> 国内外の映像関係者との人脈作りやロケ地の魅力発信を実施

◇ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア2022への出展

- <時期等> 4年1月頃 東京
- <内 容> 国内外の映像関係者との人脈作りやロケ地の魅力発信を実施

◇ロケ地情報等発信

わかやまフィルムコミッション専用サイトによるロケ適地等の情報を発信

◇ロケ実施支援

情報提供、ロケハン・ロケ協力、エキストラの動員、市町村等との連携

◇ロケ誘致活動

首都圏制作会社等への営業活動（年4回程度）

2020実績

- ◇ロケ受入れ担当者研修会
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
- ◇ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア2021への出展
（新型コロナウイルス感染症拡大に伴い参加見送り）
- ◇ロケ実施支援
ロケ実施支援 19件

種 別	放送局・番組等タイトル	ロケ等時期 公開時期
映画	「私をくいとめて」	6月29・30日 12月18日
〃	「コンフィデンスマンJP 英雄編」	3年3月13日～18日 公開日未定

”	「Make me your friend」	3年3月23日23日 公開日未定
テレビ	NHK「逆転人生 伝説のパンダ飼育員 命の大逆転劇」	7月8日 8月17日
”	日本テレビ「イッテQ イモトアヤコジャ パンツアー In 和歌山県」	7月18・19日 7月26日
”	フジテレビ「99人の壁2時間スペシャル」	10月4日 11月14日 3年1月16日
”	NHKワールド JAPAN「“Spiritual Explorers” KUMANO NATURE DEITIES「熊野・自然の神々（原始自然信仰）」	10月4～7日 11月29日、12月14日
”	日本テレビ「遠くへ行きたい」	10月8～10日 11月1日
”	フジテレビ「死との約束」	11月9・10日 3年3月6日
”	NHKBSプレミアム「渋沢栄一 IN パリ万博」	12月8日 3年2月20日
CM等	Canon カメラWEB&カタログCM	4月8日 調整中
”	チョコヤ梅酒CM	6月20・21日 8月12日～
”	ユーチューバー「くぼゆか」和歌山県紹介チャンネル「濱口梧陵編」・「南方熊楠編」	9月15・16日 9月22日～
”	インディーズバンド「doa（ドア）」配信シングル「キャンプ」ミュージックビデオ	10月13日 10月28日～
”	声優「中島由貴」ミュージックビデオ「Chapter I」	10月24～26日 12月23日～
”	アイシン精機企業CM	11月12・13日 調整中
”	JAL分散型旅行 PR動画	12月13～15日 12月23日～
”	歌手「島津亜矢」ミュージックビデオ	12月22日・23日 3年1月10日・11日 3年春（予定）
”	文楽「義経千本桜」オンライン動画	3年3月9・10日 3年6月上旬（予定）

◇ロケ誘致活動

（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

(2) 『ターゲットごとのプロモーション』で和歌山へ招く

日本の旅をリードしているのは女性です。旅の決定権を握り、口コミ、SNSでの情報発信力も高く、雑誌などのメディアの露出量も圧倒的に多くなっています。本県には、「スピリチュアル」「聖地」「癒し」など、女性が好む要素を多く持つ世界遺産や温泉、絶景などの観光地が多数存在することから、「女性層」をメインターゲットとした誘客により、和歌山のイメージアップと情報の拡散を促進します。

また、有名自転車メーカーなどの企業とのタイアップやCSR活動を推進することにより、企業のブランド力やパブリシティを活用した誘客を促進します。

さらに、年金旅行、コンベンション、教育旅行、スポーツ合宿など具体的なターゲットに対し誘致活動を実施するとともに、ワーケーション推進による本県での中長期的な滞在を促進します。

I 若い女性層をターゲットの中心とした誘客戦略

女性誌を中心に多くのメディアにおいて「和歌山の魅力」を発信することで、若い女性層はもちろんのこと、その家族や友達といった幅広い観光客層にまで拡大した誘客促進を行います。

◇メディア展開

東京、名古屋、大阪、福岡など大都市圏の女性層に高い支持のある雑誌を中心にメディアを活用した魅力発信を実施します。

◇女性集客企画への参画

女性への発信力が高いメディア等の企画に積極的に参画し、魅力的でかつ効果的なPRを展開します。

2020実績

◇メディア展開（女性向け）

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

名 称	掲載テーマ	発行日等
(株)流行発信 「Cheek（7月号）」	おうちで絶景（田辺市、和歌山市、由良町）	5月23日
(株)和歌山リビング新聞社 「リビング和歌山」	自然豊かな和歌山のみどころ、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーンの紹介	7月11日
(株)名古屋リビング新聞社 「CityLiving」名古屋版	タイアップ企画「観光お試しBOX」、 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月17日
(株)名古屋リビング新聞社 「CityLiving WEB」	「蘇りの地、わかやま」キャンペーン情報	7月17日

(株)ゲイン 「KELLY (9・10月合併号)」	大自然が心を満たす夏の和歌山、 ヘッドラインニュース「蘇りの地、 わかやま」キャンペーン情報	7月21日
(株)ゲイン 「日刊 KELLY」	大自然が心を満たす夏の和歌山、 ヘッドラインニュース「蘇りの地、 わかやま」キャンペーン情報	7月21日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 9月号」	自然豊かな和歌山のみどころ、 「蘇りの地、わかやま」キャンペ ーンの紹介	7月23日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 11月号」	夢みるニッポン旅 和歌山 熊野	9月23日
(株)京阪神エルマガジン社 「月刊 SAVVY 別冊 1泊2日& 日帰り旅」	夢みるニッポン旅 和歌山 熊野	11月6日
スターツ出版(株) 「オズマガジントリップ12月 発売号」	「水の国、わかやま。を旅しよう」 特集とカレンダー付録	12月7日
(有)ユーフォリアファクトリー 「TRANSIT 50号」	和歌山/熊野 蒼に宿る神	12月17日
(株)昭文社 「ことりっぶ Magazine」春号	春の高野山巡りと山麓エリアのみ どころ	3年3月9日
スターツ出版(株) 「Oz magazine」	パワースポット	3年3月12日
(株)京阪神エルマガジン社 「SAVVY 5月号」	パンダと白浜広域	3年3月23日

II 大手企業とのタイアップ推進

◇大手企業とのタイアップ施策の展開

和歌山県の観光戦略とマッチする有名自転車メーカーなど、大手企業とタイアップし、企業側のパブリシティを最大限に活用することで、本県への誘客につながる取組を実施します。

III プレミアムフライデーを活用した誘客

プレミアムフライデーにより新たに生まれた時間を使って観光や宿泊を伴った旅行などで和歌山にお越しいただくため、宿泊施設等へ特別宿泊プランの造成について働きかけを行い、誘客促進に努めます。

◇プレミアムフライデー向け特別宿泊プラン造成の協力要請

遅い時間帯の夕食、割引クーポンなどのプレミアムフライデー向け特別宿泊プラン造成への協力を宿泊施設へ要請します。

◇情報発信

- 県観光情報誌「紀州浪漫」による情報発信
- 県観光情報サイトによる情報発信
- フリーペーパー等による情報発信

* プレミアムフライデーとは

平成29年2月24日から始まったプレミアムフライデーは、企業が従業員に毎月最終週金曜日午後3時終業を呼びかけ、以後は買い物や飲食、レジャーを楽しんでもらう取組で、経済産業省、経団連、及び15の業界団体が個人消費への刺激を狙って企画したものです。



2020実績

◇情報発信

○特設WEBサイト「プレミアムフライデーわかやま」

<内容> プレミアムフライデーを和歌山で過ごしてもらうため、関連特集記事への誘導

IV ワークেশョンの推進を通じた誘客

新型コロナウイルス感染症の流行以降、テレワークの定着が進み、ワークেশョンの機運が高まったことを踏まえ、「ワークেশョン=わかやま」の定着を一気に加速させるための施策を展開します。

※ワークেশョンとは

リゾート地等の環境の良い場所で、休暇や研修などを兼ねて短中期的に滞在し仕事を行う取組で、休暇の取得促進だけでなく、地域主体との協働や地域の資源を活用したイノベーションの創出や新しい生き方の発見等に繋がる働き方。

◇受入環境整備促進【主管：情報政策課】

県内でワークেশョン向けのサービスを提供する事業者「Wakayama Workation Networks」を拡充し、受け入れ体制を拡大し、充実します。

◇旅行商品造成支援 =New=

わかやまで気軽に「ワークেশョンが体験できる体制」を整備するため、旅行商品の造成を支援します。

<内容> 旅行会社を対象としたファムツアーの実施、エリア事業者との商談会の開催

◇利用促進

ワークেশョンの利用促進に向け、首都圏および都市圏において、ビジネスパーソンやフリーランスなど、ターゲット層を考慮したメディアによるプロモーションや関係企業（CSR）への営業活動を展開します。

◇情報発信【主管：情報政策課】

和歌山のワークেশョンに関する情報をホームページ上で一元的に情報発信するとともに積極的にコンテンツを追加し、都市圏の企業を主なターゲットとして訴求効果を高めます。

2020実績

◇Wakayama Workation Networks 創設 【主管：情報政策課】

＜時 期＞ 6月～

＜内 容＞ ・ワーケーション実施者の受入に協力的な県内の民間事業者を募り、「Wakayama Workation Networks（和歌山ワーケーションネットワークス）」として登録、県のワーケーションホームページで一元的に情報発信するなどPRを行う
・「コーディネート事業者」「宿泊施設」「ワークプレイス」「アクティビティ」の4つのカテゴリで事業者の登録を随時募集

＜登録事業者＞ 69事業者 102サービス（3年1月末現在）

◇ワーケーションホームページリニューアル 【主管：情報政策課】

＜時 期＞ 6月

＜内 容＞ ・県のワーケーションホームページを大幅にリニューアルし、デザインやコンテンツを刷新、拡充
・特に和歌山ワーケーションネットワークスに関する情報を積極的にPRするとともに、その他のコンテンツも積極的に追加していく

◇ワーケーション・リーダーズ・サミットの開催 【主管：情報政策課】

＜時 期＞ 10月22～23日

＜場 所＞ 白浜町及びオンライン配信

＜内 容＞ 日本航空(株)、ユニリーバジャパンホールディングス(株)、(株)パソナJOB HUB等ワーケーション先進企業や先駆者達が一堂に会し、講演やパネルディスカッション、地域の主体とのワークショップなど様々なプログラムを提供するイベントを現地及びオンラインのハイブリッド方式で開催

＜参加者＞ 現地70人、オンライン参加のべ391人

◇WAKAYAMA オンラインワーケーションの開催 【主管：情報政策課】

＜時 期＞ 11月12～13日

＜場 所＞ オンライン配信

＜内 容＞ 新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつワーケーションの更なる普及促進を図るため、ワーケーションに関するWEBセミナーとバーチャルツアーで構成するプログラムをオンラインイベントとして配信

＜参加者＞ 180人

◇取組状況 【主管：情報政策課】

○本県でのワーケーション実施（4～12月） 9社 約151人（県把握分）

＜内 容＞ 地域交流、テレワーク、観光、CSRなどを実施

＜参 加＞ 主に首都圏の企業や個人 など

◇情報発信

○雑誌「一個人」冬号への掲載

<時 期> 3年1月4日発行

<内 容> ・「天空の聖地でワーケーション」と題し、高野山のワーケーション施設等について紹介
・本県でのワーケーションに関するアンケートを実施し、回答者の中から抽選で15人の方にプレミアムわかやまの商品をプレゼント

○WEB「男の隠れ家」

<時 期> 12月27日～

<内 容> ・「新しい時代の働き方と癒され方」と題し、白浜でのワーケーションをルポタージュで紹介
・JALとコラボし、本県でのワーケーションに関するアンケートを実施し、回答者の中から抽選で5人の方に羽田ー南紀白浜往復空港券と宿泊券をプレゼント

○雑誌「男の隠れ家」

<時 期> 3年1月27日発行

<内 容> WEBと同様

V CSRによる世界遺産保全活動の推進

◇世界遺産の保全活動をテーマとした誘客

「道」が世界遺産であり、誰でも世界遺産の保全活動に携わることができる本県ならではの特性を活かしたこの活動は、世界遺産の保全と活用という本来は相反する2つのテーマを同時に実践できることから、全国から注目されており、多くの企業に参加をいただいています。

今後も、CSR関連メディアや提案活動などにより、さらなる参加の拡大を目指すとともに、企業の広報と連携し、世界遺産のブランド力を高めます。

また、ワーケーションに取り組む企業に、世界遺産の保全活動をメニューの1つとして組み入れていただけるよう働きかけを行うなど、誘致の活動を上げていきます。

○誘致活動

企業・団体への提案活動を展開します。（目標100社）

<時 期> 通年

<対 象> ワーケーションに積極的に取り組む企業、上場企業、CSR活動に熱心な企業・団体 等

○保全活動体験ツアー

CSR担当者向けの保全活動体験ツアーを実施します。

<時期等> 12月頃 熊野

○情報発信

・CSR活動に関心の高い企業等が交流・情報交換を行う場である「毎日メディアカフェ」に参加し、イベントとクロスメディアを組み合わせた情報発信により、企業による保全活動を促進します。

・環境やCSRに特化した情報誌等への記事掲載による保全活動の認知度向上を図

ります。

2020実績

◇情報発信

○企業のCSR活動による広報展開

名 称	掲載テーマ	発行日等
わかやま新報	熊野古道の道普請 JATA が本宮 で	9月23日
わかやま新報	本宮で古道の保全 三菱冷熱シス テム	10月16日
毎日新聞	安全に歩けるよう 熊野古道30 人が道普請	10月23日
紀伊民報	雨の熊野古道を清掃 和歌山FB の21人	11月4日

○企業のCSRレポート等

日本道路㈱

◇企業CSRの環境保全活動実績

一部再掲 46 頁

(合計：5団体 131人)

活 動 日	企業・団体名等	活動場所
10月16日	三菱電機㈱冷熱システム製作所	中辺路（式水、三軒茶屋）
10月17日	（一財）さわかみ財団	中辺路（袖摺坂）
10月23日	三菱電機㈱冷熱システム製作所	中辺路（式水、三軒茶屋）
11月14日	西日本旅客鉄道㈱和歌山支社	中辺路（三軒茶屋）
11月27日	日本道路㈱	中辺路（式水）

VI 信用金庫等の年金旅行誘致

信用金庫が実施するいわゆる年金旅行等の誘致を促進するため、きのくに信用金庫、新宮信用金庫、信金中央金庫と連携し、全国の信用金庫や旅行会社に積極的に提案活動を行います。（平成28年11月8日「観光・産業振興等に関する連携協定」締結）

◇プロモーション活動の実施

全国の信用金庫及び年金旅行を扱う旅行会社に対し具体的な提案を行います。

<時 期> 通年

<対 象> 日帰り旅行（近畿・東海エリア：バス利用）

1泊2日旅行（近畿・東海・中国・北陸エリア：バス利用）

2泊3日旅行（全国エリア：JR・航空機＋バス利用など）

◇受入地域との連携強化

年金旅行を受け入れる県内市町村や観光事業者等との連携を強化し、地域一体となったおもてなしの充実と誘客を図ります。

2020 実績

◇誘致活動

- 信用金庫訪問（新型コロナウイルス感染拡大に伴い訪問見送り）
- ファムツアーの実施（新型コロナウイルス感染拡大に伴い見送り）
- 2020 “よい仕事おこし” フェアでの誘致活動

＜時期等＞ 11月5～6日 羽田イノベーションシティ

＜内容＞ ブース出展、ステージイベント、わかばんによる観光PRなど

＜訪問先＞ 館山信用金庫（千葉県）、三島信用金庫（静岡県）、信金中央金庫、一関信用金庫（岩手県）、ひまわり信用金庫（福島県）、奈良中央信用金庫（奈良県）、愛媛信用金庫（愛媛県）、熊本中央信用金庫（熊本県）

◇受入対応（地域と連携したおもてなし）（新型コロナウイルス感染拡大に伴い見送り）

VII コンベンション誘致推進

コンベンション（国際・国内規模の各種会議や学会等）やスポーツ大会などの誘致を市町村や関係団体等とともに、交流人口の拡大を図ります。

また、世界遺産を活用したユニークベニュー（特別な会場）を提案することで和歌山での開催をアピールするとともに、ニーズに合わせたサポートを実施します。

◇開催支援

コンベンション開催助成金や、観光パンフレット等のツール提供により、主催者を支援します。

＜時期＞ 随時（申請に基づく）

＜内容＞ 助成金の交付、観光パンフレット等の提供

◇誘致活動

- 地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参画

首都圏において協議会構成メンバー（5地区）による合同セールスに参加し、本県でのコンベンション開催に向けた営業活動を展開します。

＜時期等＞ 未定（年3回程度） 東京都

- 地方都市コンベンション協議会への参画

協議会主催セミナー（対象：学会2回、旅行会社・企画会社各1回）及びイベントPRブースに参加します。

＜時期等＞ 未定（年3回程度） 東京都もしくはオンライン開催

- 下見の支援

コンベンションを計画している団体、学会関係者を対象に、施設やアフターコンベンション等の下見実施のための支援をします。

<時期> 随時

◇情報発信

○コンベンションガイドブック、ユニークベニューMICE ガイド、専用サイトによる支援制度や施設情報の発信

2020実績

◇誘致活動

○地方都市コンベンション協議会合同セールスへの参加

<相手方> 第50回日本腎臓学会西部学術大会運営事務局、大阪大学、和歌山県立医科大学

<内容> 大会主催者などに対する誘致PRをメール及び電話で実施

◇開催支援

○コンベンション開催助成金による支援

- ・助成金交付件数 3件
- ・延べ宿泊者件数 2,369人

開催状況

(人)

開催日	コンベンション名	開催場所	参加者数	延宿泊者数
8月29日 ～9月4日	第10回全国大学女子 硬式野球選手権大会 和歌山大会	田辺スポーツパー ク・上富田野球場	250	1,515
11月5 ～6日	第27回日本神経内視 鏡学会	和歌山県民文化会 館	938	215
12月15 ～17日	第75回日本消化器外 科学会	和歌山県民文化会 館・ホテルアバロー ム紀の国・ホテルグ ランヴィア和歌山	6,264	639

VIII 修学・教育旅行の誘致

地域に密着した和歌山ならではの生活文化、地域産業、農林漁業などの体験メニューを活用し、SDGs の理念に沿って学び・体験できる学習プログラム、新学習指導要領に盛り込まれる「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた学習プログラムを提案することにより、国内外からの修学・教育旅行の誘致を行います。

<現在紹介している主なプログラム>

- ①世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全活動「道普請」
- ②南紀熊野ジオパーク～大地に触れ、生活への恵みを知る～
- ③自然・生物との共存～サンゴの海を残す保全活動～
- ④災害に備えて何ができるのか（津波と土砂災害）
- ⑤世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

～一次産業の技術、生物の多様性を学ぶ～

⑥作って、食べて、学ぶ「食文化学習」

～豊かな風土と人々に育まれた和歌山の食～

⑦マグロから学ぶ「将来を見据えた資源管理」

⑧日本遺産「鯨とともに生きる」～多様な文化を理解することの大切さ～

⑨和歌山とトルコの友好から国際社会における人間の「心」を学ぶ

◇国内でのセールス活動の実施

○県外校の誘致活動の展開（和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による取組）

修学・教育旅行で来県される皆さまのサポートを目的に設立した誘致団体と県、県観光連盟で構成する「和歌山県体験型教育旅行誘致協議会」がさらなる誘致活動を展開します。

＜時 期＞ 首都圏：対高校商戦時期の8月～4年2月

その他：対中学商戦時期の6～7月

＜対 象＞ 首都圏、中京圏、近畿圏、中国圏の旅行会社及び学校

＜内 容＞ 旅行会社や学校を直接訪問するローラー作戦を展開

○県内校への働きかけ

県内を目的地とした修学・教育旅行が選択肢の一つとして定着し、前年度に引き続き実施されるよう県内教育関係者に対し働きかけを行います。

◇インバウンド教育旅行の誘致

インバウンドの段階的回復を見据え、学校交流に係る支援のための教育旅行コーディネーターを引き続き配置し、近隣府県と連携したVJ地方連携事業を実施するなど体験型観光や農家民泊を取り入れたインバウンド教育旅行の誘致活動を展開します。

○京都府・大阪府・兵庫県・奈良県と連携したVJ地方連携事業を実施

○東アジア、オセアニア等での海外プロモーションの実施

○多言語WEBサイト「Visit Wakayama」による情報発信

○「ほんまもん体験」を取り入れたファムツアーの実施



◇教育旅行実現に向けた総合的な支援

○教育旅行プランづくりの支援

教育旅行のテーマ、目標に沿ったプランの作成を支援します。

○事前学習の支援

学校を訪問し、児童・生徒の事前学習をサポートします。

○教育旅行現地視察支援の実施

学校関係者及び旅行会社の下見のための現地視察を支援します。

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会研修会の実施

本県の修学・教育旅行の受入体制の充実を図るため、地域の体験事業者や宿泊施設などの協議会会員を対象とする研修会を実施します。

2020実績

◇修学旅行来県校

県外校158校(14,010人)、県内校293校(12,214人)

◇国内でのセールス活動の展開

○県外学校の誘致活動

<時期> 8月5～7日

<訪問先> 広島県内公立中学校 5校、旅行会社 8社

<時期> 11月26～27日

<訪問先> 東京都内の旅行会社、航空会社 6社

<時期> 12月17日

<訪問先> 滋賀県内の旅行会社 4社

<時期> 12月18日

<訪問先> 兵庫県内旅行会社 4社

<時期> 12月18日

<訪問先> 奈良市教育委員会、奈良市内旅行会社 6社

<時期> 12月21日

<訪問先> 京都市内の旅行会社 5社

<時期> 2月、3月

<対象> 北海道札幌市内の旅行会社 5社(WE B商談)

○県内学校への働きかけ

<時期> 7月1～17日

<訪問先> 県内全市町村の教育委員会 他

◇教育旅行現地視察支援事業の実施

<支援件数> 22件

<支援団体> 首都圏：神奈川県立多摩高等学校、東京都立芝商業高等学校

東海圏：愛知県豊田市立高岡中学校、愛知県長久手市立北中学校

愛知県名古屋市立平田中学校、愛知県立横須賀高等学校

愛知県立鳴海高等学校

愛知県立半田農業高等学校、愛知県立岩津高等学校

近畿圏：大阪府立高槻北高等学校、大阪府立園芸高等学校

大阪府泉南市立西信達中学校、兵庫県西宮市立甲陵中学校

兵庫県私立雲雀丘学園中学校、兵庫県私立六甲学院高等学校

奈良市立春日中学校、奈良市立平城東中学校

四国圏：岡山県総社市立昭和中学校、岡山県総社市立総社西中学校

岡山県総社市立総社東中学校、香川県私立大手前高松高等学校

九州圏：福岡県立福岡講倫館高等学校

◇和歌山県体験型教育旅行誘致協議会による活動

○総会

<時期等> 6月9日(書面開催)

<内容> 元年度事業実施・収支決算報告

2年度事業計画・予算案審議

◇海外学校とのWEB学校交流

○台湾学校と県内6校が学校交流

12月16日 国立玉里高級中学（耐久高校と学校交流）

3年1月 8日 台北市立南港高級中学（橋本高校と学校交流）

1月27日 国立彰化女子高級中学（新宮高校と学校交流）

3月 8日 台中市立恵文高級中学（神島高校と学校交流）

3月 9日 新北市立竹園高級中学（星林高校と学校交流）

3月18日 国立新営高級中学（那賀高校と学校交流）

◇海外教育旅行の誘致活動の展開

○訪日教育旅行ウェビナー

<時期> 12月4日

<対象者> アメリカの学校・教育関係機関、現地旅行会社

○オンライン台湾大商談会

<時期> 3年2月3～5日

<対象> 台湾の高等学校の訪日教育旅行担当教員

<商談校> 23校

○情報発信ツールの作成

・関西5府県PR動画「WELCOME TO KANSAI」の制作

<言語> 英語、繁体字、簡体字、韓国語

・PR動画「和歌山の体験型教育旅行の魅力」の制作

<言語> 英語、繁体字、簡体字

・PRパンフレット「和歌山県教育旅行ガイド」の制作

<言語> 英語、繁体字、簡体字

IX スポーツ合宿誘致

本県の温暖な気候と国体を契機に整備された施設を活用して、県教育委員会やキャン
プ誘致に積極的な市町村等と連携したより効果的なプロモーションを展開することによ
り、各種団体のスポーツ合宿を誘致します。

併せて、「スポーツ王国わかやま合宿ガイド」のパンフレットを活用し、スポーツ振
興に取り組んでいる和歌山のPRにつなげます。

◇プロスポーツキャンプの誘致

キャンプ地としての知名度アップやブランド化を目指します。

<内容> 激励品（特産品等）の提供

スポーツ施設、宿泊施設等の調整

<対象> プロスポーツチーム

◇ターゲットを絞ったプロモーションの実施

<内容> 競技力の高い社会人・大学のスポーツチームの合宿を取り扱う旅行会
社へセールスし、キャンプ地としての知名度アップと誘致を図り、県
内宿泊施設等の利用を促進

<対 象> 旅行会社

2020 実績

◇スポーツ合宿ガイドの改訂

○スポーツ施設及び宿泊施設の情報を更新しガイド本を改訂

◇キャンプ・合宿誘致

○日野レッドドルフィンズ（ラグビートップリーグ）

<時期等> 11月22～28日 参加76人
串本町総合運動公園

○トヨタ自動車ヴェルブリッツ（ラグビートップリーグ）

<時期等> 11月23～27日 参加70人
上富田スポーツセンター球技場

○横浜FC

<時期等> 3年1月20～25日 参加53人
上富田スポーツセンター球技場

○女子ラグビー15人制日本代表

<時期等> 3年1月26～31日 参加52名
上富田スポーツセンター球技場

※新型コロナウイルス感染症の影響により歓迎セレモニー、激励品の贈呈等は未実施

X 南紀白浜空港を利用した誘客

本県が有する豊富な観光資源や白浜エリアを中心としたIT企業誘致の取組を背景に民間事業者による空港基本施設やターミナルビルの一体運営が実現しました。これにより、チャーター便など新たな航空ネットワークによるさらなる交流人口の拡大及び空港運営の効率化が期待されるため、航空事業者等への働きかけにより積極的に誘客を促進します。

◇旅行商品造成の働きかけ

南紀白浜空港～羽田空港便の就航機材が全便大型化し、首都圏から更なる誘客を促すため、旅行会社訪問やファムツアーを実施し旅行商品造成につなげます。

○旅行会社訪問

<時期> 未定（ファムツアー前に実施）

<対象> 首都圏エリア等の旅行会社

○旅行会社ファムツアーの実施

<時期> 未定

参加 旅行会社15社（予定）

<内容> 首都圏旅行会社を対象に現地視察（場所未定）および地元事業者との商談会

◇利用促進【主管：港湾空港振興課】

○県外からの誘客活動

首都圏からの誘客のため、旅行商品造成による団体ツアーの誘致、わかやま紀州館等との連携による旅行会社への情報発信、また、国内チャーター便誘致により団体ツアーを取り込みます。その他、空港利用促進のためのキャンペーン等を実施します。

○地元の空港利用促進活動

企業・団体、中学校の修学旅行等、スポーツ合宿誘致、空の日フェスタ等イベント時のPR活動、各種メディア、団体会報での周知による利用促進活動を行います。

○その他

- ・航空乗継利用促進協議会事業への参画
- ・全国地域航空システム推進協議会への参画

2020実績

◇首都圏対策

○南紀白浜空港利用促進実行委員会による誘客（地方航空路線活性化プログラム）

- ・南紀白浜～羽田便の就航機材が全便大型化（10月25日～）
- ・団体旅行商品造成（首都圏旅行代理店に商品造成を働きかけ）

○旅行会社ファミツアーの実施

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言解除が延長され、3月実施予定であったファミツアー、商談会の実施については中止

○JALとタイアップした観光PR「日本博 神宮の杜芸術祝祭 新 JAPANPROJECT」

<時期> 10月16～18日

<内容> 明治神宮フォレストテラス内で観光案内ブースを設置し、来場者へ観光案内パンフレット、ノベルティ（わかぱんグッズ）を提供

○JALとタイアップした観光PR「ワーケーション」

<時期> 3年1月27日～2月27日

<内容> 雑誌「男の隠れ家」に白浜でのワーケーション取り上げるとともに、本県でのワーケーションに関するアンケートを実施
回答者の中から抽選で5名に羽田～南紀白浜間の航空チケット及び宿泊券をプレゼント

XI クルーズ客船誘致による誘客推進

国内クルーズ船の寄港（和歌山下津港・日高港・新宮港）を誘致し、周辺観光地への誘客を図るため、船会社や関係旅行会社へ観光素材をはじめ、オプションツアーの提案活動を実施します。

<寄港予定>

飛鳥Ⅱ 4月（日高港）

ぱしふいっくびいなす 6、8月（日高港）

2020実績

◇クルーズ船の寄港

時 期	寄 港 名	船 名	人 数
11月15日	新宮港	飛鳥Ⅱ	282
11月21日	新宮港	飛鳥Ⅱ	401
12月1日	新宮港	にっぽん丸	148
12月2日	新宮港	飛鳥Ⅱ	131
1月6日	新宮港	ぱしふいっくびいなす	74

XII 和みわかやまキャンペーン

平成27年5月に設立した、「わかやまDC推進協議会」の後継団体である、「和みわかやまキャンペーン推進協議会」において、わかやまDC期間中に実施した企画等で高い評価を得た取組を一層ブラッシュアップし、継続実施するとともに、県内観光地の周遊促進を促進するための新たな取組を実施します。

<構成団体> 県、県観光連盟、市町村・観光関係団体、西日本旅客鉄道(株)和歌山支社、南海電気鉄道(株)、和歌山電鐵(株)、紀州鉄道(株)など
80団体

<名 称> 和みわかやまキャンペーン推進協議会

<設 立> 平成27年5月27日

◇旅行会社に対する取組

○旅行会社とのタイアップ

旅行会社とタイアップし、旅行商品造成にむけ観光情報を発信します。

○旅行会社訪問 [詳細113頁](#)

都市圏プロモーションにおける旅行会社訪問の際、世界遺産「高野山・熊野」、「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」のほか、ブラッシュアップした企画等をアピールすることで誘客を働きかけます。

○観光素材の情報発信

県観光情報サイトに掲載している「観光素材」について、随時更新を行います。

◇情報発信

○メディアによる情報発信

<時 期> 随時

<内 容> 旅行雑誌、タウン情報誌等へ掲載

○WEBサイトによる情報発信

<内 容> オススメ観光素材を随時情報発信

○都市圏プロモーション [詳細113頁](#)

<内 容> 京阪神の主要駅等で市町村等と共同で観光PR

◇受入対策

○和みわかやまっぷwithスタンプラリー

県内観光地の周遊促進とおもてなしを目的に、県内のお食事処、お土産処、温泉

・入浴施設を紹介。規定数のスタンプを集めて応募すると、「プレミア和歌山」認定商品などを抽選で進呈。「わかやま・まるごとスタンプラリー」の1メニューとして、アプリでの運用に移行。

<時 期> 9月～4年8月(予定)

○地域観光素材開発支援

地域で新たに実施する魅力ある素材を支援

<時 期> 7月～4年3月

◇**デスティネーションキャンペーンに向けた取組**

2024年(6年)の世界遺産登録20周年を契機としたJR6社の大型キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」の開催に向け、関係機関と協働で誘致に向け働きかけを行います。

2020実績

◇「和みわかやまキャンペーン推進協議会」総会を書面にて開催

<内 容> 各種議案の提案・承認

(事業報告、収支決算、事業計画、収支予算など)

◇旅行会社に対する取組

○夏プロモーション [詳細114頁](#)

○観光素材の情報発信

「観光素材」について、専用サイトで随時更新

◇プロモーション

○「蘇りの地、わかやま」観光PRイベント [詳細118頁](#)

◇受入対策

○和みわかやまっぷ with スタンプラリー

県内のお食事処、お土産処、温泉・入浴施設をめぐるスタンプラリー。規定数のスタンプを集めて応募すると、宿泊券や県産品を抽選で進呈

<時 期> 10月6日～3年8月31日

<部 数> 12万部

<内 容> 県内のお食事処、お土産処、温泉、入浴施設249店舗
全店舗で使えるお得なクーポン付き、県内ペア宿泊券や県産品(プレミア和歌山)が当たるスタンプラリー
バリアフリー・トイレ(オストメイト付)・バイクラック・サイクルステーション・禁煙店情報

<配 置> 県内市町村、観光協会、旅館組合、観光案内所、宿泊施設ほか

<備 考> 専用サイトで個店情報検索サービス

県観光情報誌「紀州浪漫(冬号)」のトピックスで紹介

<応募数> 447通 ※3月12日時点

XIII 大型記念行事等を契機としたキャンペーン

今年開催されるスポーツの祭典「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」や関西で開催される「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」という千載一遇のチャンスをとらえ、ターゲットに応じたプロモーションなどを行うことにより効果的な誘客や県内周遊を促進します。

◇**東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据えた取組**

○誘客促進の取組

・首都圏からのプラスワントリップ誘客促進 詳細 142 頁

◇**ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を見据えた取組**

○国内観光客向けの取組

・各種イベントでの参加・誘客促進

全国的なイベントへの出展等によるプロモーションを展開し、マスターズへの参加・誘客を促進します。

○インバウンド向けの取組 詳細 161 頁

2020 実績

◇「わかやまの休日」2ndスタンプラリーの実施

<時 期> 6月12日～3年2月28日

<内 容> 新型コロナウイルス感染症による閉塞感からの脱却を図り、心身のリフレッシュのため、県内各地にポイントを設置しスタンプラリーを実施

・押印箇所（12か所）

淡島神社（和歌山市）、道の駅青洲の里（紀の川市）、高野山観光情報センター（高野町）、湯浅美味いもん蔵（湯浅町）、稲むらの火の館（広川町）、紀州鉄道紀伊御坊駅（御坊市）、印南SA（上・下）日高観光物産センター（印南町）、道の駅みなべうめ振興館（みなべ町）、秋津野ガルテン（田辺市）、まちなか総合案内所しらすな（白浜町）、紀州なぎさの駅水門まつり（串本町）、那智駅交流センター（那智勝浦町）

・配布場所

スタンプラリースポット、県内各市町村・観光協会・観光案内所、県内SA・PA等

<応募数> 2,748人

和歌山県2,080人、大阪府323人、奈良県71人

兵庫県68人、京都府38人、他都道府県168人

XIV 「宇宙」を切り口とした新たな層の開拓 **=New=**

本年夏頃、日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が串本町に完成し、ロケット初号機の打上げが予定されています。これを契機に地域に溶け込んだ新たな観光コンテンツを創出するとともに、ロケット関連イベントを開催するなど、新たな層の誘客や県内周遊を促進します。

◇**ロケット打ち上げ応援イベント等の実施**【主管：産業技術政策課】

○公式見学場の設置

- ・パブリックビューイングを設置し、発射の瞬間を中継することで臨場感ある見学が可能となるプレミア感のある見学場を整備

○宇宙シンポジウム等の実施

- ・衛星産業やロケット産業などの宇宙関連産業の集積に向けた機運を醸成するとともに、宇宙科学への興味誘発や理解深化

◇**「WEST EXPRESS 銀河」の運行** [詳細 117 頁](#)

(3) 『近畿、東海、西日本等』から和歌山へ招く

近畿、東海、中国、四国、九州の都市部において、メディア、旅行会社を対象にプロモーションを行います。

世界遺産「高野山・熊野」、サイクリングと旅を融合した「サイクリング王国わかやま」、自然をテーマにした「水の国、わかやま。」、歴史・文化をテーマにした「わかやま歴史物語」、紀州東照宮創建400年など、旬の観光素材を情報発信するとともに、特に本県最大のマーケットである京阪神においては、「阪急阪神グループ」などとのタイアップによる大型観光キャンペーンを実施することで、誘客を加速します。

なお、各種プロモーションや企画の実施に際しては、核となる交通事業者と連携するとともに、市町村、地域団体・事業所に対して積極的な参画を働きかけます。

I 京阪神大型観光キャンペーン

阪急阪神グループタイアップキャンペーン

大手私鉄グループの豊富なメディア媒体を活用し、京阪神での効果的な情報発信により誘客を促進します。

<時期> 9～10月

<内容> 「蘇りの地和歌山」、「サイクリング王国わかやま」など

2020実績

◇阪急阪神グループタイアップキャンペーン

最大のマーケットである「京阪神エリア」での効果的な情報発信と誘客を加速させるため、阪急阪神グループが持つ多くの情報発信媒体を活用したタイアップによる「今が旬わかやまキャンペーン」を実施

<時期> 11月1日～12月31日

<内容> ①阪急・阪神電鉄交通媒体（車内中吊り、沿線主要駅構内）に広告掲出
B1ポスター700枚、B2ポスター200枚、
B3ポスター6,000枚



②阪急電鉄沿線情報誌「TOKK」に掲載

発行日：11月25日（12月1日号）

部数：30万部

③和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品等プレゼントキャンペーン
クイズに答えると抽選で103名様に和歌山県への旅行や和歌山の逸品「プレミア和歌山」推奨品をプレゼント（応募件数8,895件）

④WEBやSNSでの情報発信

特設サイトやFacebook・Twitterにて情報発信

Facebook表示回数20,795 Twitter表示回数111,190

II 都市圏プロモーション

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造りや販売促進につなげます。また、テレビ局や新聞社など主要メディアをキャンペーンスタッフやご当地キャラクターなどで訪問し、記事等での露出を図ります。

◇観光プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」、「アウトドア体験」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、旅行会社、メディアを訪問し、PR・提案を行います。

- <時期> 夏プロモーション 6～7月
春プロモーション 4年2～3月
- <対象等> 京阪神 大阪、神戸、京都
西日本 岡山、広島、福岡
東海 名古屋

◇わかやま発信イベント

○Cityliving Party 2021 in NAGOYA

<時期等> (未定) 名古屋市内(予定)

○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～

<時期等> (未定) 名古屋市内(予定)

○ふるさと全国県人会まつり 2021

<時期等> 9月(予定) 久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場(名古屋市)

○ツーリズム EXPO ジャパン 2021

<時期等> 11月25～28日 インテックス大阪

<内容>

- ・各種メディアや日本旅行業協会加盟の国内大手旅行会社との商談会に地域団体とともに参加
- ・一般向けの展示会に地域団体とともに出展し観光PRを実施

○旅まつり名古屋 2022

<時期等> 4年3月(予定) 久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場(名古屋市)

2020実績

◇夏プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、都市圏の旅行会社、メディアにアピールすることで誘客を促進

○旅行会社

<時期等> 6～7月 京阪神、西日本、東海

<訪問先> 計36店舗

・京阪神／大阪市・京都市・神戸市・姫路市(19店舗)

産経新聞開発、近畿日本ツーリスト、南海国際旅行、毎日新聞旅行、阪急交通社、読売旅行(2店舗)、日本旅行、タビックスジャパン、

農協観光（3店舗）、京都新聞旅行センター、ヤサカ観光旅行センター、アルファトラベル、都観光ツーリスト、山陽バス、神戸新聞旅行社、神姫バスツアーズ の本店、支店、営業所など

・西日本／岡山市、広島市、福岡市〈12店舗〉

タビックスジャパン（2店舗）、ひろでん中国新聞旅行、下電観光バス、クラブツーリズム、読売旅行、JTBメディアリテーリング、阪急交通社、農協観光（2店舗）、山陽新聞旅行社、両備バスカンパニー
の本店、支店、営業所など

・東海／名古屋市〈5店舗〉

名阪近鉄旅行、阪急交通社、JR東海バスツアーズ、西鉄旅行、農協観光
の本店、支店、営業所など

○メディア

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止

◇春プロモーション

「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」をはじめ、旬の観光素材や特別企画について、都市圏の旅行会社、メディアにアピールすることで誘客を促進

○旅行会社

<時期等> 3年3月 京阪神

<訪問先> 計13店舗

・京阪神／大阪市・京都市〈13店舗〉

産経新聞開発、タビックスジャパン、阪急交通社、南海国際旅行、毎日新聞旅行、日本旅行、読売旅行、名鉄観光、アローズ、アルファトラベル、京都新聞旅行センター、ヤサカ観光旅行センター、MKトラベルの本店、支店、営業所など

○メディア

・広島ホームテレビ「やぎうまサンデー」出演（3月21日放送）

◇旅行商品造成 計 25件

会社名	商品名
アルファトラベル	熊野古道大辺路を歩く
京都新聞旅行センター	三国三十三所霊場 巡拝シリーズ
クラブツーリズム	【女性限定】<ハイク中級>『熊野三山と中辺路トレッキングと伊勢路 3日間』
クラブツーリズム	『高野山・比叡山 厳かなる二大霊場めぐり 3日間』
クラブツーリズム	<ウォーキング>『熊野古道系我峠ハイキングと白い花と青い海の白崎海岸スイセン』

ケイランド	岩峰 嶽の森山と馬越峠から天狗倉山
サンシャシントア	世界遺産の聖地 熊野三山巡り
山陽バス	熊野古道ウォーク 紀伊路～中辺路
J T B	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」へ 熊野古道ウォーキングと天空の聖地・高野山 3日間
J T B	秋の高野山記念法会见学と伊勢神宮参拝
J T B	南紀・伊勢・白浜 神秘の瀬峡そして高野山
J T Bガイアレック	【山旅／ハイキング】登山教室〈番外〉秋冬講座1月 和歌山・真妻山
J T Bガイアレック	【山旅／ハイキング】紀和隧道から高野山
シティライントラベル	紀州の古刹 道成寺と興国時 四郷・串柿の里
信毎観光	7つの世界遺産を巡る「日本の聖地」高野山・熊野三山と南紀の美食旅
旅のデザインルーム	紀伊の世界遺産・熊野古道ウォーキングと天空の宗教都市・高野山 5日間
たびぱる	有田みかん狩り食べ放題と紀州おっきな富有柿狩り
ハミングツアー	語り部と巡る、熊野の神域「世界遺産・那智山」と日本人の心のふるさと「伊勢神宮」を訪ねて
阪急交通社	そこはまるで映画の世界…神秘的すぎる絶景 無人島「友ヶ島」上陸 日帰り
阪急交通社	高野山専門ガイドがご案内！満喫 高野山癒し旅 2日間
阪急交通社	熊野古道ハイライトウォークと熊野三山癒し旅
びゅうトラベル	世界遺産熊野三山と伊勢神宮
毎日新聞旅行	友ヶ島に残る台場址
毎日新聞旅行	足守神社と伊太祁曾神社ハイク
毎日新聞旅行	雑賀衆の二つの戦い

◇わかやま発信イベント

○Cityliving Party 2020 (新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

<時 期> 8月3日

<場 所> 名古屋東急ホテル (名古屋市)

<内 容> 観光PR

- <主 催> 名古屋リビング新聞社
 ○ふるさと全国県人会まつり 2020 (新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止)
 <時 期> 9月12～13日
 <場 所> 久屋大通公園 久屋広場・エンゼル広場 (名古屋市)
 <内 容> 物産および観光PR
 <主 催> ふるさと全国県人会まつり実行委員会
 ○第16回国内観光活性化フォーラム in やまなし (新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止)
 <時 期> 2月9日
 <場 所> YCC県民文化ホール (甲府市)
 <内 容> 物産および観光PR
 <主 催> 一般社団法人全国旅行業協会
 ○ふるさとフェア～全国センター合同物産観光展～
 <時 期> 12月1～4日
 <場 所> 金山総合駅連絡通路橋
 <内 容> 物産および観光PR
 <主 催> 全国物産観光センター連絡協議会
 ○アウトドアフェス (新型コロナウイルス感染症拡大に伴い参加見送り) 詳細 68 頁
 ○ほんまにええとこ関西観光展 (横浜) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止)
 ○旅まつり名古屋 2021 (新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止)
 <時 期> 3年3月6～7日
 <場 所> 久屋大通公園 (名古屋市)
 <主 催> 旅まつり名古屋実行委員会

Ⅲ 鉄道事業者とのタイアップ

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2022 年度観光素材説明会」において、和歌山の旬の素材について説明を行うとともに、主要旅行会社、JR関係者と情報交換を行います。

- <時期等> 10月28日 ホテルグランヴィア大阪
 11月16日 東京 (予定)

◇JR月別重点宣伝ポスターの掲出

JR6社の主要駅に和歌山県のPRポスターの掲出を行います。

- <時期等> 10月 (1か月間)
 <内 容> 和歌山県観光PRポスター (5連貼) をJR6社の主要駅に掲出

◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行

「WEST EXPRESS 銀河」運行に合わせて、紀南地域の市町村、観光関連事業者等と連携し、地域におけるおもてなしを実施します。

- <時期等> 3年夏～秋

<運行区間> 京都駅～新宮駅

◇南海電鉄とのタイアッププロモーション

南海電鉄（高野線）は、大都市圏から高野山へアクセスする唯一の鉄道として独自の誘客宣伝事業を実施するため、引き続き、同社と情報交換・連携を密にし、真田ゆかりの地・九度山及び高野エリアを効果的にプロモーションします。

◇和歌山電鉄とのタイアッププロモーション

全国的な知名度がある「執行役員ウルトラ駅長・ニタマ、スーパー駅長・よんたま」、また「いちご電車」「おもちゃ電車」「たま電車」「うめ星電車」といったユニークな電車が観光客を惹きつける和歌山電鉄とタイアップして貴志川線沿線の誘客を促進します。

○都市圏プロモーション [詳細 113 頁](#)

メディア、旅行会社訪問時の紹介

○岡山市における情報発信

同社が属する両備グループの岡山電気軌道(株)の路面電車「たま電車／わかやま 応援館」を使用して岡山市において継続的な情報発信

2020 実績

◇「蘇りの地、わかやま」キャンペーン

「蘇りの地、わかやま」キャンペーンと連動して県内の観光PRを実施

○「蘇りの地、わかやま」観光PRイベント

<期 間> 11月14日、15日

<場 所> JR大阪駅アトリウム広場

<内 容> 県、市町村制作のPR動画を大型ビジョンで放映し、パンフレットを配架。和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかぼん」による観光PR

○JR西日本主要駅でのポスター掲出、デジタルサイネージ放映

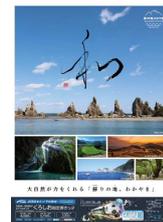
<期 間> 11月9～15日、12月8日

<内 容> 「蘇りの地、わかやま」観光PRイベントの開催にあわせPRポスター掲出（11月9日～12月8日）

大阪駅：8 枠、京都駅：6 枠、天王寺駅：4 枠

デジタルサイネージ放映（11月9～15日）

大阪駅：4 面、京都駅：4 面、天王寺駅：4 7 面



◇JR6社主要駅での和歌山県観光PRポスター掲出

<時 期> 11月（1カ月間）

<内 容> 和歌山県観光PRポスター（5連貼）をJR6社の約800駅に掲出



◇「WEST EXPRESS 銀河」の運行誘致

JRが運行する「WEST EXPRESS 銀河」の紀南方面への運行を誘致するため、紀南関係市町村と共同で要望書を提出

<時期> 10月7日

<内容> 紀南関係市町村を代表して新宮市長がJR西日本和歌山支社長へ要望書を提出

◇JR西日本主催「観光素材説明会」への参加

「2021年度観光素材説明会」に出席し、JRが一括して観光素材等をPR

<時期等> 11月24日 ホテルグランヴィア大阪（WEB併催）

IV 高速道路会社とのタイアップ

高速道路会社（NEXCO 西日本、中日本）と連携したキャンペーン企画をはじめ、主要サービスエリアでの観光パンフレット設置により情報発信します。

◇NEXCO 西日本・広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2021」

NEXCO 西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー2021」に参画し、誘客を図ります。

<時期> 4月下旬～4年1月中旬

<内容> 選定された場所・施設等に設置されたカードを収集し、応募により特産品等が当たるもの

四季の里公園（同左）、紀州漆器伝統産業会館（同左）、道の駅柿の郷くどやま（同左）、新鮮市場浜のうたせ（同左）、道の駅 Sanpin 中津（同左）、道の駅すさみ（同左）、道の駅おくとろ（同左）

※県内7か所のお国じまん、（ ）はカード設置箇所

<広報> NEXCO 西日本管内主要SAにポスター、チラシ設置

NEXCO 西日本の広報媒体（サイト、フリーペーパー等）掲載
県観光情報サイトに掲載

◇NEXCO と連携した誘客促進

○西日本エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

<時期> 4月1日～

<内容> 「高野山・熊野」など

<場所> 西日本主要SA 5か所

紀ノ川Ⓣ、岸和田Ⓣ、三木Ⓣ、大津Ⓣ、淡路Ⓣ

○東海エリア主要SAへの観光パンフレット等の配置

<時期> 4月16日～

<内容> 「高野・熊野」など

<場所> 東海圏主要SA 6か所

土山(集約)、多賀^下、南条^上、恵那峡^下、諏訪湖^下、安濃^下

2020実績

◇NEXCO西日本広域観光連携キャンペーンへの参画

○「お国じまんカードラリー2020」

NEXCO西日本が実施する西日本広域観光連携キャンペーン「お国じまんカードラリー」に参画し、県内周遊を促進

<時期> 8月1日～3年2月28日

<内容> 参画した24府県、全157か所に設置されたカードを収集し、応募により特産品などを抽選で進呈

紀三井寺、旧県議会議事堂、白崎海洋公園、稲むらの火の館、龍神温泉元湯、南紀熊野ジオパークセンター、熊野川川舟センター

<広報> 同社管内の主要SA、県内のカード設置箇所にパンフレットを設置
同社の各種広報媒体(サイト、フリーペーパー等)及び県観光情報サイトで告知

<備考> 県内カード配布計約26,000枚

◇NEXCO西日本のSAへの観光パンフレット等の配置

○「わかやま記紀の旅」 約20,000部

<時期等> 7月1日～3年3月16日

紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^上 計4か所、

○「わかやま歴史物語スタンプラリー人物編」 約8,000部

<時期等> 10月1日～3年3月31日

紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^上、計4か所

○「水の国、わかやま。」 約10,000部

<時期等> 6月1日～3年3月31日

紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^上、計4か所

○「高野山・熊野」 約5,000部

<時期等> 4月1日～6月30日

紀ノ川^下、岸和田^下、三木^上、大津^上、計4か所

◇NEXCO中日本のSAへの観光パンフレット等の配置

○「わかやま記紀の旅」 約35,000部

<時期等> 5月1日～3年3月16日

土山(集約)、多賀^下、南条^上、諏訪湖^下、安濃^下、恵那峡^下、賤ヶ岳^上 計7か所

○「わかやま歴史物語スタンプラリー人物編」 約30,000部

<p><時期等> 10月16日～3年3月16日 土山（集約）、多賀Ⓣ、南条Ⓢ、諏訪湖Ⓣ、安濃Ⓣ、恵那峡Ⓣ、賤ヶ岳Ⓢ 計7か所</p> <p>○「水の国、わかやま。」 約25,000部</p> <p><時期等> 7月1日～11月30日 土山（集約）、多賀Ⓣ、南条Ⓢ、諏訪湖Ⓣ、安濃Ⓣ、恵那峡Ⓣ、賤ヶ岳Ⓢ 計7か所</p> <p>○「高野山・熊野」 約10,000部</p> <p><時期等> 4月16日～6月30日 土山（集約）、多賀Ⓣ、南条Ⓢ、諏訪湖Ⓣ、安濃Ⓣ、恵那峡Ⓣ、賤ヶ岳Ⓢ 計7か所</p>

V 南海フェリーとのタイアップ

南海フェリー、県内市町村等、県が協働でフェリーの利用促進及び和歌山県への誘客、周遊促進に繋げるための各種事業を実施します。

◇誘客キャンペーン

○「フェリーで快適わかやま周遊 TRIP」（仮）

<時期> 9月～4年3月（予定）

<内容> パンフレット掲載施設における利用特典（クーポン）付与

<広報> キャンペーンパンフレットの製作・配布

県観光情報、市町村等のサイトで情報発信

四国高速道路サービスエリア、道の駅等にパンフレット配置 等

○旅行会社訪問

南海フェリーと共同で、四国4県の主要旅行会社を訪問し、観光素材やモデルコースの提案を行い、南海フェリーを利用した旅行商品の造成や販売促進につなげます。

○フェリー利用促進キャンペーン（仮）

<実施主体> 南海フェリー、県（総合交通政策課）

<内容> ファミリー層をターゲットにイベント実施

<広報> キャンペーンパンフレットの製作・配布

四国主要メディア訪問による露出

2020実績

◇南海フェリーとのタイアップキャンペーン

○「フェリーで快適わかやま周遊 TRIP」の開催

<時期> 10月1日～3年3月31日

<内容> フェリー乗船割引券付きのリーフレットを作成・配布

（A3二つ折り：15,000部）

※南海フェリーキャンペーン情報、和歌山県観光情報（温泉地情報、

和みわかやまっぶ、わかやま・まるごとスタンプラリー) を掲載
<配布先> 四国内の道の駅、四国内の高速S A、徳島イオン、阿波銀行、徳島銀行等へ配置

○ 旅行会社訪問

<時 期> 11月16～18日

<内 容> 南海フェリーと協働で、四国4県の主要旅行会社を訪問

<訪問先> 徳島市：タビックスジャパン徳島支店、阿波交通(株)

高松市：ことでんバス(株)、阪急交通社高松支店

高知市：読売旅行高知営業所、阪急交通社高知支店

松山市：愛媛新聞旅行、伊予鉄トラベル、読売旅行松山営業所

内子町：ジェイジェイ旅行センター

西予市：えひめバス旅行

VI 旅行会社対策

◇旅行商品造成の働きかけ

○観光素材の情報発信 [詳細 91 頁](#)

旬の「イベント・観光素材」について、わかやま観光情報のサイトを通して、随時掲載情報の更新を行い、情報発信を行います。

<時 期> 随時

○旅行会社訪問 [詳細 113 頁](#)

各都市圏の主要旅行会社を訪問して、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成や販売促進に繋がります。

○情報ツールの提供

新たな観光素材等について、詳細資料をはじめ写真やビデオ等の素材情報をタイムリーに提供し、魅力的な商品案内カタログの作成を支援します。

○旅行商品造成支援

旅行会社ファムツアー以外に、随時、企画担当者の現地下見を受け入れ、観光素材の商品への組入れ・造成を働きかけます。また、下見に係る経費の支援やアテンド等を行い、商品造成を促進します。

○全国旅行業協会（ANTA）加盟の旅行会社対策

地域の団体旅行を牽引する第2種、第3種旅行者に対し、旅行商品造成のための提案活動を実施します。また、社員、従業員あるいは顧客向けの旅行商品を企画するいわゆるハウスエージェントに対しても提案活動を実施します。

<時期等> 通年 近畿、東海、首都圏、九州

○日本旅行業協会（JATA）とのタイアップによる商品造成促進

JATA とのタイアップ事業として、会員向けの観光素材説明会及び現地研修ツアーを実施し、商品造成を促進します。

2020 実績

○旅行商品造成支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全14社うち近畿、東海、西日本等は10社）

○旅行商品造成に係る下見支援制度の提案

本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、都市圏の全国旅行業協会（ANTA）支部や旅行会社に対してセールスを実施（全36社のうち近畿、東海、西日本等は26社）

(4) 『首都圏』から和歌山へ招く

人や情報が集中する首都圏において、メディアや旅行会社と連携し世界遺産「高野山・熊野」や「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」などの観光素材を継続的に情報発信し、首都圏からの観光客誘致につなげます。

“和みわかやま”東京レセプションの開催を通じた情報発信をはじめ、訴求力のある媒体への提案活動を実施するとともに、和歌山の観光をテーマとする講座を開催するなど、和歌山への興味と旅行動機を喚起します。

I メディア展開

◇メディア開拓、連携強化、企画提案の実施

県内の地域や企業等との連携のもと、誘客に効果的なメディアの新規開拓や有力媒体に対する企画提案活動・取材誘致を行い、訴求力のある情報発信を実現します。

○「“和みわかやま”東京レセプション 2021」において、テレビ番組制作、新聞、雑誌等首都圏メディアを招集し、観光素材のプロモーション説明会を実施します。

○記者取材会の実施

企画提案活動を通じ、より効果的な露出を図るため、首都圏メディアを対象に記者取材会を実施します。

◇メディア等情報交換会の開催

近畿6府県が連携し、首都圏の各記者クラブ等メディア関係者、旅行エージェント企画造成担当者を対象に、県内地域参加のもと対面型による観光素材の説明を実施し、媒体露出と旅行商品造成による送客促進の流れを築きます。

<時期> 6、10月、4年2月

2020実績

◇メディア各社への情報提供及び企画提案の実施

○テレビ

媒体名	テーマ	発行日等
日本テレビ 「遠くへ行きたい」	串本、古座川	6月21日
日本テレビ 「遠くへ行きたい」	和歌山・紀の川沿い	11月22日

○雑誌、新聞、フリーペーパー等

媒体名	テーマ	発行日等
柴田書店 「月刊ホテル旅館（4月号）」	プレスツアー 南紀白 浜、田辺	4月1日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	プレスツアー 熊野古 道、本宮	4月3日

朝日新聞出版 「sesame（5月号）」	プレスツアー 南紀白 浜、田辺	4月7日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	プレスツアー 南紀白 浜、田辺	4月7日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	プレスツアー 南紀白 浜	4月10日
交通新聞社 「散歩の達人（5月号）」	プレスツアー 南紀白 浜、田辺	4月21日
デイリースポーツ新聞社 「デイリースポーツ」	プレスツアー 田辺、 温泉、ジビエ	4月23日
旅行読売出版社 「旅行読売（6月号）」	南紀勝浦温泉ホテル浦 島、花山温泉薬師の湯	4月28日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	わかやまジンジャーエ ール	5月3日
デイリースポーツ新聞社 「デイリースポーツ」	プレスツアー 南紀白 浜、パンダ、温泉	5月28日
旅行読売出版社 「旅行読売（7月号）」	有田川鉄道公園	5月28日
交通新聞社 「旅の手帖（7月号）」	温泉、食、和歌山城、 白崎海岸	6月10日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	白浜町ふっこう割クー ポン	6月24日
旅行読売出版社 「旅行読売（8月号）」	橋杭岩の日の出、日本 の棚田百選あらぎ島	6月29日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	有田川町二川ダム湖・ 蔵王橋	7月17日
講談社 「週刊現代」	熊野三山、ジオ、古座 川、串本	8月7日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	発酵文化、なれずし、 めはりずし、梅、梅肉 エキス	8月7日
文藝春秋 「CREATraveler（秋号）」	高野山、宿坊、名庭	9月5日
三栄 「男の隠れ家（11月号）」	かつらぎ町のアウトド アショップOrange	9月26日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	生石高原	10月1日
ベストセラーズ 「一個人（秋号）」	紀州梅真鯛	10月2日

旅行読売出版社 「旅行読売（12月号）」	南紀勝浦温泉、熊野別 邸中の島	10月28日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	日高町の名物天然ク エ、なぎさビール	10月30日
交通新聞社 「旅の手帖（12月号）」	紀三井寺の寺宝の特別 公開	11月10日
三栄 「男の隠れ家（1月号）」	わかやまワーケーショ ンの取組	11月27日
ワールドフォトプレス 「モノマガジン（年末年始合併号）」	海南市、紀美野町	12月16日
デイリースポーツ新聞社 「デイリースポーツ」	レジャー記者取材会 和歌山市加太、有田川 町	12月17日
光文社 「パンダ自身」	アドベンチャーワール ドの赤ちゃんパンダ	12月21日
ベストセラーズ 「一個人（冬号）」	わかやまワーケーショ ン 高野山編	3年1月4日
三栄 「男の隠れ家（3月号）」	わかやまワーケーショ ン 白浜&田辺熊野編	3年1月27日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツ」	レジャー記者取材会 めでたいでんしゃ、加 太の鯛、天空の湯	3年2月20日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツ」	レジャー記者取材会 淡島神社、有田川町	3年3月6日
中日新聞東京本社 「東京中日スポーツ」	神倉神社、橋杭岩、白 浜温泉	3年3月12日
日刊現代 「日刊ゲンダイ」	レジャー記者取材会 和歌山市加太の鯛、有 田川町	3年3月23日

OWEB等

媒体名	テーマ	発行日等
サンケイリビング新聞社 「Cityliving ブログ シティリビ ング編集部アスコミ体験記その1」	南紀白浜、アドベンチ ャーワールド、サイク リング	4月12日
サンケイリビング新聞社 「Cityliving ブログ シティリビ ング編集部アスコミ体験記その2」	熊野古道ウォーキング	4月18日
交通新聞社	プレスツアー 日本全	4月21日

「さんたつ by 散歩の達人」	国を「ツウ」な視点で旅する 南紀白浜&田辺	
サンケイリビング新聞社 「Cityliving ブログ シティリビング編集部アスコミ体験記その3」	熊野本宮、湯の峰温泉	4月24日
朝日新聞出版 「AERA.dot」	プレスツアー 南紀白浜	5月12日
三栄 「男の隠れ家デジタル」	ワーケーション 白浜、田辺市、本宮	12月25日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツコム」	レジャー記者取材会 めでたいでんしゃ、加太の鯛、天空の湯	3年2月20日
日刊スポーツ新聞社 「日刊スポーツコム」	レジャー記者取材会 淡島神社、有田川町	3年3月6日

◇レジャー記者取材会の実施

＜時期等＞ 11月12～13日
和歌山市～有田川町 参加3社3人

＜内容＞ -わかやまの休日-レトロタウンに行ってみた

◇観光素材説明会の開催

- ・近畿6府県首都圏観光連絡協議会
情報交換会（参加：旅行会社・メディア）

＜時期等＞ 10月7日 参加25人

＜内容＞ 和歌山市、白浜町が観光素材をプレゼンテーション

II 旅行会社対策

◇旅行会社ファムツアーの実施

首都圏発の旅行商品造成を目的とし、旅行会社を招いた現地研修会等を実施します。

＜時期等＞ 夏～秋

参加旅行会社15社（予定）

＜内容＞ 首都圏旅行会社を対象に現地視察旅行（場所未定）を実施

◇旅行会社担当者（企画担当・販売担当）との関係強化

○企画担当者との意見交換会の開催

「“和みわかやま”東京レセプション2021」において、県内地域団体との商談会形式による情報交換会を実施します。

○旅行会社各店舗等への出前研修実施（観光素材や交通アクセス等のレクチャー）

◇旅行商品造成支援

○旅行会社企画担当者への有力観光素材や各種キャンペーン情報の提供

○旅行会社企画担当者による現地下見実現のための人的・財政的支援

◇販売促進支援

- 旅行商品パンフレットの「わかやま紀州館」への配置・配布
- 旅行商品販売促進のためのタイアップ事業の実施

◇情報ツールの提供

より魅力的な旅行商品パンフレットの作成を支援するため、観光素材の詳細資料や写真等の提供を迅速に行います。

2020 実績

◇旅行会社ファムツアーの実施

<時期等> 11月26～27日
参加10社13人

<内容> 蘇りの地、わかやま～真言密教に触れる、弘法大師空海の聖地高野山の旅～をテーマに実施

◇観光素材説明会の開催 詳細 127 頁

◇旅行商品造成 7 件

○商品内容

会社名	商品名
京成トラベルサービス	高野山・熊野三山を巡る3日間
JTB	語り部と歩く熊野古道と熊野三山・伊勢神宮・高野山参詣
JTB	伊勢神宮両参りと世界遺産 熊野古道・熊野三山・高野山 伊勢南紀ハイライト
ジャルパック	ふるさと納税さといこ掲載専用ツアー 南紀白浜の旅
JTB	2021 年度高野山霊宝館100周年記念大宝藏展と1400年御遠忌の聖徳太子ゆかりの地を巡る3日間
JTB	高野山と河内・摂津・紀州の紅葉名所巡り3日間
セブンカルチャーネットワーク	仏教の教えが今も生き続ける、世界遺産の聖地・高野山へ

○旅行商品造成支援

旅行会社企画担当者の現地下見受入を随時行い、現地下見に係る案内や経費の支援を実施（全14社のうち首都圏4社）

○旅行商品造成に係る下見支援制度の提案

本県向け旅行商品の造成促進を目的とした下見支援制度について、大都市圏の旅行会社に対してセールスを実施（全36社のうち首都圏10社）

Ⅲ 和歌山の観光をテーマとする講座の開催

◇和歌山の観光をテーマとする講座の開催

首都圏で、メディア、大学公開講座、カルチャーセンター、民間企業等と連携し、地元講師や有識者による講座の開催等を通じて「和歌山の魅力」を伝え、深い知識を得ることで和歌山県への旅行動機を喚起し、誘客を図ります。

<時期等> 随時

2020 実績

◇「わかやま講座」の開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見合わせ

IV 首都圏観光物産PRイベント等の実施

◇“和みわかやま”東京レセプション2021の開催

「世界遺産」や「わかやま歴史物語」、「サイクリング王国わかやま」、「水の国、わかやま。」など話題性のあるテーマを活かしたPRイベントを実施します。

<時期> 10月13日(予定) ホテルニューオータニ東京(東京都)

<内容> メディア・旅行会社関係者約300名を招いてのPR

【第1部】旅行会社情報交換会

観光プロモーション説明会

【第2部】レセプション(交流会)

◇東京から和歌山県への時刻表(アクセスガイド)の改訂発行

<時期> 4年3月

◇わかやま発信イベント

地域と協働した観光イベントを通して和歌山の魅力を発信します。

○ほんまにええとこ関西観光展

<時期等> 4年2月(予定) 横浜新都市プラザ(横浜市)

2020 実績

◇「“和みわかやま”東京レセプション2020」

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

◇東京から和歌山県への時刻表(アクセスガイド)の改訂発行

首都圏から本県への最適で最新の交通アクセス・時刻を紹介

V わかやま紀州館等県産品PR活動

◇出前紀州館

首都圏の商業施設やイベント会場等で、和歌山県産品の展示販売と観光PRを並行して行なうことにより、首都圏での和歌山県の認知度アップを図ります。

○和歌山関連物産展への出展

<時期等> 随時(年間8回以上)

○その他物産PRイベントへの出展

<時期等> 随時

2020実績

◇和歌山関連物産展・イベントへの出展

日 程	イベント名	場 所
11月5～6日	よい仕事おこしフェア	羽田イノベーションシ ティ

◇わかやま紀州館周年祭

<時期等> 3年2月1～28日 わかやま紀州館

<内 容> 県内各地のお菓子の限定販売及び抽選会を実施し、各種県産品の贈呈

VI 大型観光展への出展

※2021年度は首都圏ではなく大阪で開催

2020実績

◇ツーリズム EXPO ジャパンTEJ東京商談会/トラベルフェスタ

<時期等> 3年1月7～8日

<内 容> オンライン商談会（12社）

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京ビッグサイトでのトラベルフェスタは中止、商談会もオンライン開催に変更

4 和歌山でもてなす

県民みんなで来訪者を歓迎し、気持ちよく過ごしていただくことで、再訪につなげていくため、平成25年度からおもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」に取り組んでいます。県民のおもてなし意識の向上を柱として、ソフト、ハードの両面で「おもてなし」を推進していきます。

ソフト面では、総合的な受入対策として、第一線で観光客に接する関係者の接遇能力の向上を図るための研修会を実施し、従業員満足度（ES）の向上を図ることで従業員のやる気を引き出し、更には、顧客満足度（CS）の向上を図ります。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

(1) 夜の楽しみ方の提案

◇「Nightlife in WAKAYAMA ～和歌山の夜の楽しみ方～」の拡充

夜の娯楽としての県内飲食店や星空観察会をはじめとするイベント情報などを総合的に発信するとともに、県内飲食店の外国人観光客受入環境（メニュー多言語化等）の整備を進め、県内の消費拡大を目指します。

<内 容> 飲食店や体験プログラム、夜景スポットなどをまとめた「特設サイト」を更新

<時 期> 随時

<展 開> 特設サイトへの誘導

・専用リーフレット

QRコードを付したリーフレットを観光案内所、宿泊施設（フロント・客室）、観光関係施設等に配置

・多言語WEBサイト「Visit Wakayama」、県観光情報サイト「わかやま観光情報」にリンク設定

・各種パンフレット、SNSの活用

2020 実績

◇Nightlife in WAKAYAMA 特設サイトへのイベントや飲食店の掲載

<時 期> 随時掲載

<内 容> 飲食店や体験プログラムをエリア別に掲載

外国人観光客向けには、多言語版観光情報サイト「Visit Wakayama」内に「WAKAYAMA WHEN THE SUN GOES DOWN」ページを追加

<展 開> 各種HPでのバナー設置、印刷物のQRコード掲載

◇和歌山県内の夜景情報を追加

<時 期> 随時掲載

<内 容> 和歌山県内における夜景スポットを紹介

(2) 快適観光空間の創造

トイレの整備

◇観光地内公衆トイレ整備補助

公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るため、平成25年度から実施してきた「和歌山おもてなしトイレ大作戦」を引き継ぎ、観光地の公衆トイレ整備に取り組むとともに、適切な管理に努めます。

<内 容> 市町村等が行うトイレ整備（大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化など）に対して補助

2020 実績

◇観光地内公衆トイレの改修・整備

<箇所数> 3か所

<備 考> 累 計 693か所
平成25～29年度 677か所
平成30年度 7か所
元年度 6か所

観光客受入環境整備

◇宿泊施設等のバリアフリー化の推進 =New= [詳細 165 頁](#)

高齢者や障害のある人などあらゆる人が、安全で快適に旅行できる環境を整備するとともに、ウィズコロナ時代において反転攻勢に転じるための新たな魅力を創造し、集客力の向上を図るため、宿泊施設等のバリアフリー化を推進します。

(3) 二次交通（路線バス）

二次交通（路線バス）の利便性向上

主要駅や宿泊地から路線バスを利用して高野山や熊野に至るアクセスルートや周遊モデルプランを情報発信することで、海外を含む個人・グループ観光客の誘客を図ります。また、観光客の利便性を向上させるため関西国際空港や京都駅から高野山、高野山から熊野エリア、高野山麓を周遊するアクセスバスの利用促進を図ります。

◇リムジンバス・アクセスバスの運行

公共交通を利用して世界遺産を巡る観光客の利便性を向上するため、リムジンバス（関西国際空港～高野山）、高速バス（京都駅～高野山）、アクセスバス（高野山～熊野エリア、高野山麓）を組み込んだ旅行商品の造成と販売促進を旅行会社に働きかけます。また、当該バスの利用促進を図るため、積極的に情報発信を行います。

<内 容> バスPRチラシ・ポスター
雑誌・新聞・フリーペーパー・WEB・SNS等への情報掲載
車内吊りポスター掲出など

【参考：運行内容】

○高速バス（京都駅～高野山）

京都観光を楽しむ主に個人観光客をターゲットに、高野山への誘客を図るため、京都駅と高野山をダイレクトで結ぶ高速バスを運行します。

また、旅行会社に対しては、高速バスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

- <時期> 4月23日～11月28日
<コース> 京都駅～高野山（1日1往復予定）
<運行会社> 京阪バス(株)、南海りんかんバス(株)〔認可申請中〕



○リムジンバス（関西国際空港～高野山）

関西国際空港を利用する主に個人観光客の利便性向上を図るため、関西国際空港から高野山をダイレクトで結ぶリムジンバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、リムジンバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

- <時期> 今秋（予定）
<コース> 関西国際空港～高野山（1日1往復）
<運行会社> 関西空港交通(株)

○世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

公共交通を利用して世界遺産を巡る個人・グループ観光客の利便性向上を図るため、高野山と熊野エリアを結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

- <時期> 4月10日～ 5月31日
9月18日～11月23日
1日1往復運行



- <コース> 高野山発
午前便：高野山駅前（9：45）→護摩壇山（乗換）→
本宮大社前（14：22）
熊野本宮大社発
午前便：本宮大社前（8：05）→なかへち美術館前（乗換）
→護摩壇山（乗換）→高野山駅前（12：10）

- <運行会社> 龍神自動車(株)、南海りんかんバス(株)
<備考> 旅行商品（JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストなど）のオプションプランとして紹介

○高野山麓世界遺産アクセスバス

高野山とその麓に点在する世界遺産の社寺などの観光地を巡る観光客（主に個人）の利便性向上を図るため、橋本駅から高野山を結ぶアクセスバスを運行します。

また、旅行会社に対しては、アクセスバスを組み込んだ旅行商品の造成・販売促進を依頼します。

- <時期> 10月2日～11月29日の土日祝日（21日間）
<コース> ・橋本駅前～丹生都比売神社前（1日4往復）
※九度山町内・高野口経由

・丹生都比売神社前～奥の院前（1日3往復）

<運行会社> 南海りんかんバス㈱

◇「世界遺産 熊野古道ウォーキングナビ」

詳細 52 頁

2020 実績

◇リムジンバス・アクセスバス運行に関する情報発信

名 称	掲載テーマ	発行日等
観光連盟 WEBサイト	京都高野線	8月18日 ～11月30日
VISIT WAKAYAMA WEBサイト（9ヶ 国語）	京都高野線	8月18日 ～11月30日
Google バナー広告	京都高野線	9月1日 ～11月30日
BBC WEBサイト	京都高野線	9月16日 ～11月23日
リビング京都、滋賀	京都高野線	9月19日
月刊高野山	京都高野線	9月21日
高野町広報誌	京都高野線	9月25日
リビング京阪、シティリビング京都	京都高野線	9月25日
京都リビングエフエム	京都高野線	10月7日
チラシ（日本語・英語） A4/70,000 部	京都高野線	
ポスター（日本語） B3/1,700部、 50部	京都高野線	
ポスター（英語） B3/50部	京都高野線	
リーフレット（英語） A3/3,000 部	京都高野線	
観光連盟 WEBサイト	関西空港高野線	8月18日 ～11月30日
VISIT WAKAYAMA WEBサイト（9ヶ 国語）	関西空港高野線	8月18日 ～11月30日
Google バナー広告	関西空港高野線	9月1日 ～11月30日

BBC WEBサイト	関西空港高野線	9月16日 ~11月23日
月刊高野山	関西空港高野線	9月21日
高野町広報誌	関西空港高野線	9月25日
チラシ(日本語・英語) A4/20,000部	関西空港高野線	
ポスター(日本語・英語) B3/50部	関西空港高野線	
西Navi 5月号	聖地巡礼バス	4月25日
旅の手帖 6月号	聖地巡礼バス	5月9日
Natts 7月号	聖地巡礼バス	7月1日
JR時刻表 9月号	聖地巡礼バス	8月20日
紀州浪漫(秋号)	聖地巡礼バス	9月1日
観光連盟WEBサイト	聖地巡礼バス	10月29日
Leaf 3, 4, 5月合併号	聖地巡礼バス	3年1月25日
紀州浪漫(春号)	聖地巡礼バス	3年3月1日
ディスカバージャパン 4月号	聖地巡礼バス	3年3月8日
JR時刻表 4月号	聖地巡礼バス	3年3月20日
チラシ(日本語)	聖地巡礼バス	3年3月30日
ワンダーフォーゲル 10月号	高野山麓バス	
月刊高野山	高野山麓バス	
高野山時報	高野山麓バス	
もちつもたれつ秋号(高島屋通販同封新聞)	高野山麓バス	
西Navi 9月号	高野山麓バス	

パンフレット（日本語）A 4 / 36,000
部

高野山麓バス

◇世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス *観光振興課・観光交流課協働

<内 容> 世界遺産を巡る観光客の利便性向上を図るため、高野山と熊野エリアを結ぶアクセスバスを運行

<時 期> 4月1日～11月30日（当初運行日数244日、うち160日が運休）

<運休日数の内訳> ※運休…新型コロナウイルス感染拡大に伴うもの

4月：17日間、5月：31日間、6月：30日間、7月：21日間、
8月：なし、9月：20日間、10月：22日間、11月：19日間

<往復便数> 4、8月 平日1往復（午前便）、4～7月 土日祝2往復（午前便・午後便）、9～11月 土日祝1往復（午前便）

<運 賃> 片道5,000円（高野山駅前～本宮大社前）*こども半額

<運行主体> 龍神自動車(株)、南海りんかんバス(株)

◇「京都・高野山線」高速バス *観光振興課・観光交流課協働

<内 容> 外国人個人観光客（FIT）を中心に多くの観光客が訪れる京都からのアクセスを向上し誘客促進を図るため、京都駅と高野山を結ぶ直行バスを運行

<時 期> 9月18日～11月30日

<往復便数> 毎日2往復

<運 賃> ①京都駅八条口～奥の院前 片道：2,500円、往復：4,500円
②高速京田辺～奥の院前 片道：2,200円、往復：3,960円
*①・②ともにこどもは半額

<運行主体> 南海りんかんバス(株)、京阪バス(株)

◇「関西空港・高野山線」リムジンバス *観光振興課・観光交流課協働

<内 容> 観光客のアクセスを向上し誘客促進を図るため、関西空港と高野山を結ぶ直行バスを運行

<時 期> 9月18日～11月30日

<往復便数> 毎日1往復

<運 賃> 関西空港～奥の院前 片道：2,000円（ネット予約1,800円）
*こどもは半額

<運行主体> 関西空港交通(株)

◇高野山麓世界遺産アクセスバス

<内 容> 伊都管内の世界遺産を中心とした観光地を巡るアクセスバスを運行

<時 期> 9月12日～11月29日の土日祝の28日間

<運行主催> 南海りんかんバス(株)

◇世界遺産熊野古道ウォーキングナビ

[詳細 52 頁](#)

(4)わかやまおもてなし県民運動

「わかやまおもてなし宣言」

県民一人ひとりが来訪者をおもてなしの心で歓迎する機運を高めるため、「わかやまおもてなし宣言」の取組を継続、拡大し、県民の主体的なおもてなしを質、量ともに高めます。

◇「わかやまおもてなし宣言」の実施

県民総参加による観光振興を推進し、将来にわたり持続可能な観光力の強化につなげるため、県民一人ひとりが来訪者に対して行う具体的なおもてなしの内容を「わかやまおもてなし宣言」に登録し、実践していただきます。

<時 期> 平成25年8月28日～

<対 象> 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

<内 容> 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践

登録者に登録証、登録ステッカー、おもてなしハンドブックを進呈

<広 報> 交通関係、商工関係、教育関係、各種団体等と連携して、広報活動を継続して展開

◇おもてなし研修会の実施

「わかやまおもてなし宣言」の登録者に対して、おもてなし向上のための研修会を開催します。

2020 実績

◇おもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」の実施

<時 期> 平成25年8月28日～

<登録者> 1,707件 70,586人

<対 象> 県内在住、通勤通学、県内を拠点に活動している個人・団体等

<内 容> 自分ができる「おもてなし」を具体的に宣言して実践

登録者に登録証、ステッカー、おもてなしハンドブックを進呈

登録した「宣言内容」を県観光情報サイト内で紹介

<広 報> チラシ・ポスター設置・掲出、県内事業所などへの働きかけ

◇おもてなし宣言スキルアップ研修会の開催（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

(5) 観光週間

観光週間事業の実施

「和歌山県観光立県推進条例」に定める観光週間を中心に、観光週間が属する月に諸事業を実施し、観光振興に取り組む意識を高め、二度、三度と来ていただけるような取組を推進します。

2020 実績

◇「観光週間事業の実施」

観光週間事業として、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンにおける県外からの誘客促進施策開始に合わせ、情報発信を強化

(6) 接遇の向上・人材の育成

交通事業者のおもてなし向上

◇タクシードライバーのおもてなし力向上

県内全てのタクシードライバーが最高の接客・接遇と優良なサービスを提供できるよう、県企画部と連携しておもてなし力の向上に取り組みます。

○事業者が行う接客・接遇講習会等研修への支援【主管：総合交通政策課】

○わかやまおもてなし宣言との連携

車内用の登録証や名刺に「わかやまおもてなし宣言」の内容を記載

2020 実績

◇事業者が行う接客・接遇講習会等研修への支援

○接客・接遇講習会

<時期等> 11月～3年3月 計6回 計434人受講

○タクシー関係者の「わかやまおもてなし宣言」

<登録> 8社・団体 1,316人

ホスピタリティ向上

おもてなしの精神や作法など、特に第一線で観光客に接する観光関係者が必要とするおもてなし力の向上や、施設・料理など宿泊施設の商品力強化を支援します。

◇おもてなし力向上研修会

県内観光関連施設のおもてなし力の向上を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光協会、旅館組合、公共交通機関、企業など

<内容> 県内各地で、接遇スキルの向上を目指した研修会を開催

◇課題対応研修会

県内観光関連施設が抱える課題解決を目的に、研修会を開催します。

<対象> 観光協会、旅館組合、公共交通機関、企業など

<内容> 県内各地で、設定した課題に特化した研修会を開催

◇おもてなしの宿づくりセミナー

宿泊施設の経営者や支配人、基幹的職員を対象としたセミナーを開催するとともに、情報交換の場を設け、県全体のおもてなし向上を図ります。

<対象> 県内の宿泊施設

<内容> 講義・講演

◇おもてなし研修会

詳細 137 頁

2020 実績

◇おもてなし力向上研修会

- <時期等> 第1回 10月19日 有田市文化福祉センター 参加 7人
 第2回 10月20日 和歌山県民文化会館 参加 6人
 第3回 10月29日 那智勝浦町体育文化会館 参加 8名
 第4回 10月30日 紀南文化会館 参加10名
- <内 容> 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、正しい感染知識と正しい感染防止策について演習等を通じて学ぶ
- ◇課題対応研修会（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
 ◇おもてなしの宿づくりセミナー（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
 ◇「和みわかやま」おもてなしの宿アワード2020（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

人材の育成

和歌山大学、県、県観光連盟の三者で締結した相互連携協定に基づき、本県の基幹産業である観光産業の振興を図るため、大学、行政及び観光関係団体が有する知識や情報を有効に活用した協働事業を実施します。

◇和歌山大学「観光・地域づくり」講座の共同開催

観光に寄与する人材の育成に向け、先進観光地のキーパーソンから先進事例を学ぶ和歌山大学「観光・地域づくり」講座を和歌山大学観光学部と連携して共同開催します。

- <時期等> 10～12月 5講座
 <対 象> 観光学部学生、観光事業者、一般県民
 <内 容> 先進観光地キーパーソンの講演

◇インターンシップ受入

観光局、わかやま紀州館等においてインターンシップを受け入れます。

2020実績

◇「観光カリスマ講座」 受講者数 計359人

○第1回

- <時期等> 10月17日 参加77人
 <内 容> わが国の観光施策と地域づくりについて
 <講 師> 観光庁観光地域振興部観光資源課長 河野敦弥 氏

○第2回

- <時期等> 11月7日 参加70人
 <内 容> 「笑」あるところに人は集まる！
 <講 師> ゆのこう美春閣・鷺羽山下電ホテル 女将 永山泉水 氏

○第3回

- <時期等> 11月21日 参加68人
 <内 容> “宙ツーリズム”新しい観光による地域活性化の取組
 <講 師> (一社)宙ツーリズム推進協議会 理事

(株)電通 宇宙ラボ主任研究員 荒井誠 氏

○第4回

<時期等> 12月5日 参加68人

<内 容> 西国三十三所草創1300年によせて

—日本遺産西国巡礼認定ストーリーから寺院観光を考える—

<講 師> 西国16番札所清水寺執行補、京都観光おもてなし大使ほか
森清顕 氏

○第5回

<時期等> 12月19日 参加76人

<内 容> 持続可能な観光地域づくりへの思考法

<講 師> (株)インアウトバウンド仙台・松島

代表取締役 西谷雷佐 氏

◇インターンシップの受入（和歌山大学観光学部学生）（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

5 『海外』から和歌山へ招く、『外国人観光客』をもてなす

〔訪日外国人の状況〕

2020年の訪日外客数は、4,115,900人（前年比87.1%減）となりました。

2年1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、2月以降順次水際対策が強化されたことに伴い、訪日外客数は激減しました。7月以降、国際的な人の往来再開に向けた措置が段階的に進められ、ビジネス目的（順次、留学、家族滞在等のその他の在留資格へも拡大）の入国が限定的ながら再開されましたが、観光目的での入国は認められていない状況が続いています。

現時点では、インバウンドの早期回復は厳しい情勢ですが、日本政府による2030年目標「6千万人、15兆円」は堅持されています。将来的な日本の人口減少に伴い、国内旅行市場は確実に縮小することが見込まれます。一方で、アジアを中心とした新興国の人口増加と経済発展が益々進展することを考慮すると、中長期スパンにおいては著しい成長が見込めるインバウンドの重要性は依然として変わっておらず、一日も早い交流再開が期待されるところです。

〔訪和歌山外国人の状況〕

2年の和歌山県における外国人宿泊客数は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による影響を大きく受け、前年比9.1%減の4万5千人泊となりました。

○県内外国人宿泊客数の推移（国・地域別）

（人泊）

	2003	2015	2016	2017	2018	2019	2020		
	(平成15年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)	(令和元年)	(令和2年)	対前年比	シェア
アジア	45,737	323,381	373,808	330,971	316,040	320,323	30,746	9.6%	68.3%
中国	1,829	98,280	140,403	97,658	113,045	148,635	13,113	8.8%	29.1%
香港	5,858	97,313	103,609	105,802	86,075	78,753	8,612	10.9%	19.1%
台湾	28,327	80,478	70,315	64,484	54,003	46,128	4,259	9.2%	9.5%
韓国	8,046	15,874	25,095	34,568	35,820	20,175	1,210	6.0%	2.7%
タイ	-	8,839	11,919	10,226	8,957	9,043	851	9.4%	1.9%
シンガポール	-	7,824	10,737	8,515	7,892	8,498	846	10.0%	1.9%
アジアその他	1,677	14,773	11,730	9,718	10,248	9,091	1,855	20.4%	4.1%
欧米豪	12,671	79,764	107,782	125,450	142,138	168,386	12,189	7.2%	27.1%
フランス	1,139	14,343	18,356	17,593	25,611	29,200	1,531	5.2%	3.4%
アメリカ	4,909	14,307	19,654	22,635	23,230	28,770	2,111	7.3%	4.7%
オセアニア	601	13,033	14,927	22,650	28,792	25,139	2,366	9.4%	5.3%
ドイツ	2,283	4,592	8,013	9,283	9,866	13,989	1,087	7.8%	2.4%
イギリス	739	6,025	9,294	11,142	9,909	13,526	1,063	7.9%	2.4%
スペイン	-	5,902	6,975	7,307	7,133	9,858	493	5.0%	1.1%
イタリア	-	-	6,031	5,094	6,007	9,005	462	5.1%	1.0%
カナダ	547	3,711	4,348	7,430	8,386	8,879	814	9.2%	1.8%
欧米豪その他	2,453	17,851	26,215	27,410	29,211	30,020	2,262	7.5%	5.0%
その他	2,875	24,449	18,601	19,207	20,985	13,135	2,070	15.8%	4.6%
合計	61,283	427,594	500,191	475,628	479,163	501,844	45,005	9.0%	100.0%

○主要市町村別の宿泊客数（国・地域別）

（人泊）

	2020年 (令和2年)	2019年 (令和元年)	対前年比 (R2/R1)	2020年(令和2年) 国・地域別内訳										
				アジア	(中国)	(香港)	(台湾)	(韓国)	(タイ)	欧米豪	(フランス)	(アメリカ)	(オーストラリア)	その他
高野町	7,594	108,993	7.0%	864	573	125	90	0	31	6,573	873	848	841	157
和歌山市	12,971	105,899	12.2%	9,612	3,667	2,520	1,066	469	362	1,928	283	471	237	1,431
白浜町	12,743	105,348	12.1%	12,172	5,513	4,609	1,419	288	99	529	41	180	42	42
田辺市	3,317	50,926	6.5%	1,041	278	239	222	60	60	2,141	229	397	608	135
那智勝浦町	1,941	37,022	5.2%	1,543	273	180	626	92	220	374	27	122	85	24
みなべ町	1,554	29,768	5.2%	1,554	255	669	468	113	0	0	0	0	0	0
新宮市	1,255	12,504	10.0%	505	197	17	174	41	25	508	70	50	47	242
その他	3,630	51,384	7.1%	3,455	2,357	253	194	147	54	136	8	43	8	39
合計	45,005	501,844	9.0%	30,746	13,113	8,612	4,259	1,210	851	12,189	1,531	2,111	1,868	2,070

(1) 『新たなプロモーション』で和歌山へ招く

世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が、その年の最も旬な旅行先を紹介する「Best in Travel 2021」のサステナビリティ（持続可能性）部門において、読者投票により世界で唯一「和歌山」が選出されました。本県が誇る豊かな自然を背景として、観光資源と地域とが持続可能な形態で上手く維持されてきたことが選出のポイントとなりました。同誌が昨年9月に発表した「ULTIMATE TRAVEL LIST」で紹介された「世界の訪れるべき観光地トップ500」においても、熊野古道が83位、高野山が113位と高い評価を受けています。

近年、「サステナブル（持続可能）」であることは、観光客が旅行先を検討するうえで重要な要素になってきており、国連世界観光機関（UNWTO）による「持続可能な観光マネジメントのための国際基準（GSTC Destination Criteria）」や日本の観光庁による「日本版持続可能な観光ガイドライン」の策定や取り組みなどの動きも顕著で、これからの大きなトレンドになると考えられます。世界的に知名度が向上してきた熊野や高野山だけでなく、和歌の浦、白浜温泉、西国三十三所巡りなど古くから持続可能な形で維持されてきた本県の観光地の魅力はここに至って世界から大きな注目を得ています。様々な機関が実施した調査においても、コロナ収束後に訪れたい国として日本は常に上位にあり、訪日旅行再開への高い期待がみられることから、一日も早いコロナ収束とそれに伴うインバウンドの回復が待たれるところです。

県では、こういった情勢を踏まえ、将来期待できる外国人観光客の旅行意欲の維持・増進を図り、インバウンド再開時には多くの外国人観光客に訪問してもらえるよう、世界に向けた情報発信をより強化します。また、今後、海外との往来制限が解除された国・地域から本格的な海外プロモーションを再開します。

◇外国人個人観光客対策の強化（関西広域で連携した周遊観光ルートの提案、首都圏からのプラスワントリップ推進など）

コロナ収束後には、以前にも増して外国人観光客の旅行形態が個人旅行化することが予想されます。外国人個人観光客が集中する京都・大阪から紀伊半島へのプラスワントリップの推進を目指し、関西観光本部や近隣府県との連携により、広域周遊ルートを海外旅行会社やメディアに対して提案していきます。

また、航空機や鉄道、高速バスなど多様な移動手段を利用した首都圏から県南部エリアへの観光モデルルートを策定し、大手海外メディアを通じたグローバル・メディアキャンペーンを展開します。

◇アフターコロナの時代に対応したアウトドア観光の推進、国立公園・南紀熊野ジオパークと連携した誘客促進

アフターコロナにおいては、「安全・安心」はもとより「屋外型（アウトドア）」や「サステナブル（持続可能）」であること、「非接触型」の観光サービスなど新たな生活様式に沿った旅行ニーズが高まることが予想されることから、国立公園・南紀熊野ジオパーク関係者との連携をより強化し、和歌山県が誇る海・山・川の大自然を背景としたアウトドア観光を旅行会社やメディアに提案します。

2020 実績

◇京都・大阪、首都圏からのプラスワントリップ誘客促進

○関西観光本部との連携事業

<時期> 通年

<内容> 京都・大阪からのプラスワントリップ促進のため、「The Exciting KANSAI」のブランド名で熊野古道ルートを含む関西圏8ルートを紹介するためのWEBサイトを開設するとともに、仏ガイドブック「Petit Fute」関西版や英国ナショナルジオグラフィック誌（2月号）への記事広告を実施

○東京観光財団との連携事業

<時期> 通年

<内容> 東京都と熊野古道地域の魅力を海外に共同発信するための協定を締結し、今年度事業として共同プロモーションビデオ「Lost in Japan Kumano×Tokyo」を制作、YouTubeチャンネル「Tourism of All JAPAN×TOKYO」にて配信

○日本航空との連携事業

<時期> 3年3月

<内容> 日本航空WEBサイトにおいて、南紀白浜空港利用促進のため、東京都との共同プロモーションビデオ「Lost in Japan Kumano×Tokyo」を配信

◇関西広域や近隣府県との連携による誘客促進

○関西空港利用促進協議会

<時期> 4月～3年3月

<内容> 関西国際空港を利用する旅行者に対し、空港内の観光案内所において観光情報を提供（5月15日から案内所での業務を休止し、補完事業としてSNSによる情報発信を実施）

○英国旅行情報誌「National Geographic Traveller Food」

<時期> 10月3～4日

<取材先> 湯浅町（醤油）、高野町（精進料理、壇上伽藍、奥之院）

<内容> 関西観光本部との連携により、英国旅行情報誌の「食」をテーマにした特集記事の取材を支援

○台湾カルフル「日本週 関西特展」

<時期> 10月6～20日

<内容> 関西観光本部主催のプロモーションイベントに参加し、台湾カルフル69店舗で観光情報を発信

○フランス語ガイドブック「Petit Futé」関西版

<時期> 10月17～20日

<取材先> 高野町、九度山町、海南市、湯浅町

<内容> 関西観光本部との連携により、フランス2大旅行ガイドブックのひとつである「Petit Futé」の関西版を作成するための取材を支援

○ドイツ語日本情報サイト「JAPAN DIGEST」

- <時 期> 11月12～13日
 - <取材先> 九度山町、かつらぎ町、高野町
 - <内 容> 徳島県及び香川県との連携により、ドイツ語で日本情報を発信するWEBマガジンに寄稿する「四国遍路と高野山」特集記事の取材を実施
- 関西広域観光PR動画ロケ
 - <時 期> 11月20～21日
 - <取材先> 那智勝浦町、田辺市、串本町
 - <内 容> 関西広域連合が企画・制作する観光PR動画のロケを支援
- 紀伊半島周遊アウトドアツーリズム推進事業
 - <時 期> 12月18～21日
 - <視察先> 田辺市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市
 - <内 容> 三重県との連携により外国人ライターを招聘し、サイクリングやダイビングなどアウトドアをテーマに紀伊半島を周遊するモデルルートを海外メディア「Rough Guides」「Voyapon」を通じて紹介
- 紀伊半島周遊ゴルフツーリズム推進事業
 - <時 期> 12月23～24日
 - <視察先> 那智勝浦町、日高川町
 - <内 容> 三重県との連携により、ゴルフ旅行専門メディア「Golf in Japan」の記者を招聘し、ゴルフツーリズムをテーマに紀伊半島を周遊するモデルルートを紹介
- 台湾 関西観光本部オンライン大商談会
 - <時 期> 3年1月28日～2月4日
 - <内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信（県内事業者1社参加）
- 関西観光本部 関西在住外国人インタビュー
 - <時 期> 3年2月19日
 - <場 所> 田辺市
 - <内 容> 関西観光本部による観光業界で活躍する外国人へのインタビューを支援するとともに、熊野古道中辺路の視察を実施
- 地域の観光資源を活用したプロモーション事業
 - <時 期> 3年2月下旬
 - <内 容> 奈良県との連携により、奈良県南部から和歌山県北部地域への周遊するモデルルートを海外メディア「Wonderlust」「Voyapon」「Conde Nast Traveler」「Lonely Planet」「L' echo Touristique」で紹介
- 関西観光本部「外国人モニターツアーコンテンツ化事業（外国人コラムニスト招聘）」
 - <時 期> 3年3月8～10日
 - <視察先> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町
 - <内 容> 関西観光本部との連携により、滋賀県在住の英国人コラムニストを招聘し、「ガーデンツーリズムをテーマに外国人専門家の視点による周遊観光ルートの検証及び同本部が運営する海外向け観光情報サイト

「The KANSAI GUIDE」に掲載する旅行記事を制作

◇アウトドア観光の推進、国立公園・南紀熊野ジオパークと連携した誘客促進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。146 項「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に市場別に記載

(2) 『海外26か国・地域』から和歌山へ招く

I アジア

2019年までの本県の外国人宿泊者数は、約6割のシェアをアジアからの観光客が占めていました。中でも、東アジア4市場（中国、香港、台湾、韓国）については58.5%と最大のシェアを誇っていたことから、県ではこれまで最重要市場として位置づけプロモーションに取り組んできました。

海外との往来が制限されている現状においては、メディアやWEBサイト・SNSを通じた情報発信を継続しつつ、主要6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置する観光プロモーターを活用した現地旅行博覧会・商談会への出展や旅行会社へのセールス活動を実施するとともに、今後、往来制限が解除された国・地域から重点的に海外プロモーションを展開します。

ターゲット市場（アジア）13市場

東アジア：中国、香港、台湾、韓国

東南アジア：タイ、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン

その他：インド、トルコ、ドバイ

アジア市場においては、これまで団体型ツアーを想定した取組に一定の重点を置いて取り組んできました。アフターコロナにおいては、以前にも増して個人旅行化や小グループ化が進み、小規模分散型の旅行が中心になることが予想されます。各種メディアやインフルエンサーの活用に加え、デジタル化の一層の推進を踏まえて、多言語WEBサイトやSNSによる情報発信をより強化するとともに、富裕層の旅行やカスタマイズツアーを取り扱う旅行会社やOTA（オンライン・トラベル・エージェント）をターゲットとしたセールス活動を展開します。

今後、求められるコンテンツとしては、「安全・安心」や「健康」、「アウトドア（屋外型）」、「サステナビリティ（持続可能性）」がキーワードになることが予想されます。本県の感染症への取り組みを紹介するとともに、世界遺産の巡礼道や国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラム、健康づくりをテーマとしたウェルネスツーリズム、ガーデンツーリズムなどを積極的に提案します。

2020実績

◇海外プロモーション

○台湾 旅行博「台北国際夏季旅展」（台北市）

<時期> 7月17～20日

<内容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○中国 オンラインセールス（成都市）

<時期> 8月12日

<対象> 中国現地旅行社「四川和平国際旅行社有限公司」、「成都中国青年旅

- 行社」、「成都光大国際旅行社」「北京易去国際旅行社成都支社」
- <内 容> オンラインにてセールスを実施し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介
- 中国 上海夏日祭盆踊納涼大会
- <時 期> 8月14～16日、21～25日
- <内 容> 上海で開催された日本夏祭りイベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 オンライン観光セミナー（広州市）
- <時 期> 8月19日
- <対 象> 中国現地旅行社「広之旅」
- <内 容> 県主催オンライン観光セミナーを実施し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介
- 台湾 旅行博「台北国際観光博覧会（TTE）」（台北市）
- <時 期> 8月28～31日
- <内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 オンラインセールス（広州市、深圳市）
- <時 期> 9月9～10日
- <対 象> 中国現地旅行社「广州遨游国際旅行社」、「北京首都国際旅行社广州分社」、「広東国旅国際旅行社」、「広東南湖国際旅行社」、「深圳華僑城国際旅行社」、「深圳海豚哆哆国際旅行社」
- <内 容> オンラインにてセールスを実施し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介
- 中国 広東国際旅游産業博覧会 2020（広州市）
- <時 期> 9月11～13日
- <内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 2020 JAPAN FAIR 金虹橋日本風情周（上海市）
- <時 期> 9月17～20日
- <内 容> 上海で開催された日本 PR イベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 大連日本商品展覧会（大連市）
- <時 期> 9月25～27日
- <内 容> 観光資源ほか日本商品に特化した上記展覧会に出展し、観光情報を発信（県観光プロモーションオフィスによる出展）
- 韓国 自治体国際協会（CLAIR）ソウル事務所「トランドラン」情報発信事業
- <時 期> 8月24日～9月4日
- <内 容> 韓国でインスタグラム及びフェイスブックにより観光地10カ所と県産品を紹介
- 台湾カルフル「日本週 関西特展」
- <時 期> 10月6～20日
- <内 容> 関西観光本部主催のプロモーションイベントに参加し、台湾カルフル69店舗で観光情報を発信

- 台湾 日台オンライン観光説明会（ITF2020）
 - <時期> 10月29日
 - <内容> 日本観光振興協会が主催するオンライン観光説明会に参加し、台湾の旅行会社に対して観光情報を発信
- ベトナム B2Bオンラインセミナー
 - <時期> 10月29日
 - <内容> HISハノイ支店の協力により、ベトナムの旅行会社を対象に和歌山県と日高町の観光情報を発信
- 中国 国際旅游交易会 2020（上海市）
 - <時期> 11月16～18日
 - <内容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 中国 深圳国際旅游博覧会（深圳市）
 - <時期> 11月20～22日
 - <内容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- 韓国 日本政府観光局（JNTO）ソウル事務所「訪日旅行専門家育成セミナー」
 - <時期> 11月18日、12月2日
 - <対象> 現地旅行会社
 - <内容> 韓国の旅行会社や旅行業界関係者を対象に訪日旅行専門家の育成を目的としたセミナーに参加し、和歌山県の観光情報を提供（観光プロモーターによる参加）
- 香港 EGL ツアーズとの意見交換会
 - <時期> 12月1日
 - <対象> 香港EGLツアーズ（オンライン）
 - <内容> 本県の観光大使を委嘱している香港EGLツアーズの袁文英社長と県内事業者9社との意見交換会を開催
- 中国 正佳広場国際ショッピングフェスティバル・JAPAN フェア（広州市）
 - <時期> 12月23～26日
 - <内容> 広州市最大級の商業施設で開催されたイベントにおける JAPAN フェアに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）
- マレーシア オンライン訪日旅行セミナー・商談会（クアラルンプール）
 - <時期> 3年1月13日
 - <内容> JNTO クアラルンプール事務所が主催するオンラインセミナー・商談会に参加し、クアラルンプールの旅行会社に対して観光情報を発信
- マレーシア オンライン訪日旅行セミナー・商談会（ペナン・ジョホールバル）
 - <時期> 3年1月19日
 - <内容> JNTO クアラルンプール事務所が主催するオンラインセミナー・商談会に参加し、ペナン及びジョホールバルの旅行会社に対して観光情報を発信
- フィリピン オンライン旅行博「Japan Fiesta 2021」
 - <時期> 3年1月18～24日
 - <内容> JNTO マニラ事務所が主催するオンライン旅行博に観光PR動画を提供。

旅行博特設WEBサイトやJNTO マニラ事務所公式SNSで発信

○台湾 関西観光本部オンライン大商談会

<時 期> 3年1月28日～2月4日

<内 容> 関西観光本部が主催するオンライン商談会に参加し、観光情報を発信
(県内事業者1社参加)

○タイ 和歌山観光セミナー

<時 期> 3年2月19日

<内 容> 観光プロモーターによる和歌山セミナーを開催し、現地旅行会社に対して観光情報を発信

○タイ 和歌山観光セミナー

<時 期> 3年2月20日

<内 容> タイ観光プロモーターによる和歌山セミナーを開催し、現地の一般旅行者に対して観光情報を発信

○タイ 和歌山観光セミナー

<時 期> 3年2月25日

<内 容> タイ観光プロモーターによる和歌山セミナーを開催し、現地メディアやインフルエンサーに対して観光情報を発信

○中国 広東ジャパンプランドフェア（広州市）

<時 期> 3年2月27～28日

<内 容> 広州市最大級の商業施設で開催された日本関連イベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○台湾 旅行博「高雄巨蛋（春季）国際旅展（KSTF）」（高雄市）

<時 期> 3年3月12～15日

<内 容> 旅行博覧会に出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

○中国オンラインセールス（青島市）

<時 期> 3年3月18日

<対 象> 中国現地旅行社「山東海外国際旅行社有限公司」、「山東遠洋国際旅行社有限公司青島支店」、「青島中広国際旅行社有限公司」、「山東省観光国際旅行社有限公司（青島）」、「青島青年国際旅行社」

<内 容> オンラインにてセールスを実施し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介

○中国 重慶ジャパンプランドフェア（重慶市）

<時 期> 3年3月20～21日

<内 容> 重慶市市最大級の商業施設で開催された日本関連イベントに出展し、観光情報を発信（観光プロモーターによる出展）

◇旅行会社ファムツアー

○エムエスツーリスト

<時 期> 6月18日

<視察先> 和歌山市、紀の川市

<内 容> 東南アジア市場を中心に旅行商品を取り扱うランド会社による視察を支援

○中国系ランド会社「ジェイワイド」

<時期> 8月17～21日

<視察先> 和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市、田辺市、高野町、かつらぎ町、紀の川市

<内容> 在大阪の中国系ランド旅行社による視察を支援

○海外大手OTA「Trip.com」

<時期> 10月19～23日

<視察先> 高野町、田辺市、那智勝浦町、白浜町

<内容> 観光事業者向けデジタル・マーケティング・セミナーの開催に合わせ、中国市場を中心に観光・宿泊施設の予約サイトを展開するOTAを招聘、視察を支援

○韓国ハナツアー

<時期> 12月11～12日

<視察先> 和歌山市、白浜町

<内容> 韓国大手旅行会社による和歌山商品を紹介する動画の撮影を支援

○日本旅行 西日本国際旅行支店

<時期> 3年3月15日

<視察先> 和歌山市、紀の川市、高野町、海南市

<内容> 在大阪の大手ランド旅行会社の中国担当者による視察を支援

○クオニイ・ツムラーレ・ジャパン

<時期> 3年3月25日

<視察先> 高野町

<内容> 台湾向けオンラインツアーPR用素材の作成を支援

○南海国際旅行

<時期> 3年3月28～29日

<視察先> 由良町、御坊市、白浜町、みなべ町、和歌山市

<内容> ウェルネスツーリズムのツアー商品造成を目的とした、在大阪の大手ランド旅行会社及び医療コーディネーターによる視察を支援

○HISベトナム・オンラインツアー

<時期> 3年3月29～30日

<視察先> 和歌山市、日高町、白浜町、那智勝浦町、串本町

<内容> HISベトナムが造成するオンラインツアーの撮影を支援

○日本旅行 西日本国際旅行支店

<時期> 3年3月30日

<視察先> 紀の川市

<内容> 在大阪の大手ランド旅行会社の中国担当者による視察を支援

◇メディア取材支援・情報発信

○台湾映像会社 ジャパンコンシェルジュ

<時期> 7月28日

<取材先> 湯浅町

<内容> 台湾の映像会社による観光地の下見を支援

○香港旅行情報誌「GO! Japan」

<時 期> 9月

<取材先> 和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町

<内 容> 香港最大手旅行情報誌に「和歌山の夏」をテーマとする特集記事を掲載

○関西広域観光PR動画ロケ

<時 期> 11月20～21日

<取材先> 那智勝浦町、田辺市、串本町

<内 容> 関西広域連合が企画・制作する観光PR動画のロケを支援

○外務省中国向けPR動画撮影（地域の魅力海外発信支援事業）

<時 期> 11月27～29日

<視察先> 和歌山市、白浜町、串本町、太地町、新宮市

<内 容> 地方の魅力発信を目的に、外務省が中国向けに制作するPR動画の撮影を支援するとともに、招聘した日本在住の中国人キー・オピニオンリーダー（KOL）を通じて中国SNSで情報発信を実施

○中国富裕層向け観光情報誌「行楽ジャパン」

<時 期> 12月4～6日

<取材先> 田辺市、高野町

<内 容> 観光庁の専門家派遣事業を活用し、中国の富裕層向けの観光情報誌を創刊し、JNTOの中国市場有識者も務める行楽ジャパンの袁静氏を招聘し、県内関係者との意見交換を実施するとともに視察を通じて情報を発信

◇その他

○和歌山観光セミナー・商談会

<時 期> 7月3日

<場 所> 大阪市 なんばスカイオ

<内 容> 在関西のランドオペレーター31社（主に中国系）を対象に観光情報を紹介するとともに、県内観光事業者34団体とのビジネスマッチングを実施

○対話山東 中日文化旅游フォーラム「好客山東」文化と観光オンラインプロモーション

<時 期> 8月26日

<内 容> 山東省政府が主催するオンラインプロモーションイベント及び交流会に参加

○デジタルマーケティングセミナー・相談会

<時 期> 10月21～22日

<場 所> 那智勝浦町、白浜町

<内 容> 県内事業者を対象に海外OTA（3社）の事業紹介と相談会を実施

○全日空「ANA Japan Travel Planner」

<時 期> 9月～3年5月（予定）

<内 容> 全日空が11言語で運営する旅行情報サイトで県内の観光地21カ所

を紹介

○ツーリズム EXPO ジャパン商談会（オンライン）

<時 期> 3年1月7～8日

<内 容> 海外向けツアー商品（韓国、台湾、タイ、マレーシア、フィリピン等）を取り扱う旅行社6社とオンラインで商談を実施

○和歌山県観光プロモーターによるオンライン市場説明会・個別相談会

<時 期> 3年3月2日

<内 容> 海外6市場に設置する観光プロモーターによる県内事業者向けの市場説明会及び個別相談会を実施（説明会参加者：52名、個別相談会参加者：延べ67社）

○アジア太平洋研究所シンポジウム「インバウンド先進地域としての関西」

<時 期> 3年3月4日

<内 容> コロナ後を見据えたインバウンドの課題と戦略について議論することを目的に開催されたシンポジウムにパネリストとして参加し、本県の取り組みを紹介

II 欧米豪

欧米豪市場については、これまで高野山から熊野への周遊観光を積極的に提案してきたこともあり、2019年には世界遺産エリアを訪問する観光客が大幅に増加し、全県でも全体の3分の1以上のシェアを占めるに至りました。

海外との往来が制限されている現状においては、メディアやWEBサイト・SNSを通じた情報発信にこれまで以上に取り組むとともに、今後、往来制限が解除された国・地域から重点的に海外プロモーションを再開します。

ターゲット市場（欧米豪）13市場

欧 州：フランス、ドイツ、英国、スペイン、イタリア、ロシア

北・中南米：米国、カナダ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン

オセアニア：オーストラリア、ニュージーランド

欧米豪市場においては、従来から個人観光客が中心であったことから、各種メディアを通じた情報発信に重点を置いて取り組んできました。アフターコロナにおいては、アジア市場と同様に以前にも増して個人旅行化や小グループ化が進み、小規模分散型の旅行が中心になることが予想されます。各種メディアやインフルエンサーの活用に加え、デジタル化の一層の推進を踏まえて、多言語WEBサイトやSNSによる情報発信をより強化するとともに、富裕層やカスタマイズツアーを取り扱う旅行会社やOTA（オンライン・トラベル・エージェント）をターゲットとしたセールス活動を展開します。

欧米豪市場では、観光地が「サステナブル（持続可能）」であることを重視する傾向が顕著になっています。本県が、ロンリープラネットから世界一の評価を受けたこの絶好の機会を活かし、従来から好評を得ている熊野や高野山の世界遺産エリアについてより一層の情報発信に加え、国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラムや

日本庭園など文化的コンテンツを重視したガーデンツーリズムに新しく取り組みます。

欧米豪市場からの観光客は、比較的長く日本国内に滞在し、各地を周遊する傾向があることから、関西観光本部や近隣府県との連携をより一層強化し、周遊観光ルートの造成に取り組めます。

2020実績

◇海外プロモーション

○米国 日本政府観光局(JNTO) ロサンゼルス事務所主催オンライン観光セミナー

<時期> 6月24日、30日、7月7日、9日、30日

<対象> 現地旅行会社「IACE Travel」「All Japan Tours」「Japan Deluxe Tours」「HIS International Tours」他

<内容> 日本政府観光局(JNTO) ロサンゼルス事務所主催のオンライン観光セミナーに参加し、現地旅行会社4社に対して観光情報を紹介

○豪州 旅行会社「Walk Through Japan」とのWEB商談

<時期> 8月27日

<内容> 豪州現地広告代理店 JAMS.TV 主催のオンライン商談会に参加、現地旅行会社との商談を実施

○英国 商談会「World Travel Market Virtual 2020」

<時期> 11月9～11日

<対象> イギリス他、欧州・北米等各国の現地旅行会社・メディア

<内容> オンラインで開催された商談会に参加し、現地旅行会社やメディアとの商談を実施

○米国 ロサンゼルス旅行会社コンソーシアム「Signature Travel Network」主催観光セミナー

<時期> 12月9日

<内容> 米国最大級の富裕層を取り扱う旅行会社によるコンソーシアム主催のオンライン観光セミナーに参加し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介

○米国 オンライン旅行博「Virtual Travel Show Asia & South Pacific」

<時期> 12月17日

<内容> 全米最大の旅行博トラベル&アドベンチャーショーの主催者がオンラインで開催する旅行博に出展し、現地旅行会社に対して観光情報を紹介

○ドイツ 商談会「ITB Berlin NOW」

<時期> 3年3月9～12日

<内容> ドイツで開催されたオンライン BtoB 商談会に出展し、現地旅行会社やメディアとの商談を実施

◇旅行会社ファムツアー

○海外大手OTA「チケット・インターナショナル」

<時期> 7月20～21日

<視察先> 新宮市、古座川町、串本町、田辺市、海南市、紀の川市、橋本市

<内 容> 欧州（本社：オランダ）を中心に観光・文化施設の予約サイトを展開するOTAによる視察を支援

○海外大手OTA「チケッツ・インターナショナル」

<時 期> 10月21～22日

<視察先> 那智勝浦町、白浜町

<内 容> 観光事業者向けデジタル・マーケティング・セミナーの開催に合わせ、欧米豪市場を中心に観光施設や体験プログラムの予約サイトを展開するOTAを招聘、視察を支援

○聖地巡礼バス モニターツアー

<時 期> 11月6～8日

<視察先> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 京都駅から高野山へとつなぐ京都高野線、熊野へとつなぐ聖地巡礼バスを活用した商品造成を目的にJTBグローバルマーケティング&トラベルと共同でモニターツアーを実施。

◇メディア取材支援・情報発信

○外国人向けフリーペーパー・情報サイト「Kansai Scene」

<時 期> 6月

<取材先> 新宮市、北山村、古座川町

<内 容> 関西発の外国人向け英語フリーペーパー・情報サイトに「水の国わかやま」の特集記事を掲載

○外国人向けフリーペーパー・情報サイト「Kansai Scene」

<時 期> 7月8～9日

<取材先> かつらぎ町

<内 容> 関西発の外国人向け英字フリーペーパー・情報サイトの記者 Alena Eckelmann 氏による農村ステイ体験とサイクリングをテーマとした取材を支援

○外国人向け情報サイト「Japan Travel」

<時 期> 7月20～21日

<取材先> 田辺市、串本町

<内 容> 外国人向け情報サイトの記者 Alena Eckelmann 氏による「水の国わかやま」をテーマとした取材を支援

○日本政府観光局(JNTO) マドリード事務所ハネムーン動画撮影

<時 期> 7月30～31日

<取材先> 高野町、橋本市

<内 容> 日本政府観光局(JNTO) マドリード事務所によるスペイン及びイタリア向けハネムーン誘致を目的とした動画撮影を支援

○日本在住スペイン人インフルエンサー「Bunny Tokyo」

<時 期> 7月30日

<取材先> 高野町（精進料理）

<内 容> 東京からスペイン向けに情報発信しているインフルエンサーによる取材を支援

- 外国人向け情報サイト「Gaijin Pot」
 - <時 期> 9月2～4日
 - <取材先> 九度山町、かつらぎ町、高野町
 - <内 容> 在日外国人向け情報サイトによる高野山特集記事の取材を支援
- 米国訪日旅行専門雑誌「JAPAN BOOK」
 - <時 期> 9月
 - <内 容> 米国 IACE TRAVEL 社が発行する訪日旅行専門雑誌に高野山及び熊野古道の記事と旅行プランを掲載
- 英国旅行情報誌「National Geographic Traveller Food」
 - <時 期> 10月3～4日
 - <取材先> 湯浅町（醤油）、高野町（精進料理、壇上伽藍、奥之院）
 - <内 容> 関西観光本部との連携により、英国旅行情報誌の「食」をテーマにした特集記事の取材を支援
- フランス語ガイドブック「Petit Futé」関西版
 - <時 期> 10月17～20日 ※3年2月発行予定
 - <取材先> 高野町、九度山町、海南市、湯浅町
 - <内 容> 関西観光本部との連携により、フランス2大旅行ガイドブックのひとつである「Petit Futé」の関西版を作成するための取材を支援
- ドイツ語日本情報サイト「JAPAN DIGEST」
 - <時 期> 10月23～26日
 - <取材先> 田辺市、有田市、海南市
 - <内 容> 日本情報を発信するドイツのWEBマガジンによる「ミカン」をテーマとした取材を支援
- 外国人向け旅行情報サイト「Japan Travel」
 - <時 期> 10月26～27日
 - <取材先> 紀美野町
 - <内 容> 外国人向け旅行情報サイトによる「紀美野町でロードトリップ」をテーマとした取材を支援
- 日本情報オンラインメディア「Travel & Work」
 - <時 期> 10月29日
 - <取材先> 高野町
 - <内 容> 英語で日本情報を発信するオンラインメディアによる動画配信企画を支援
- 観光ルート映像企画「KUMANO×TOKYO」
 - <時 期> 10月30日～11月1日（ロケハン）、11月27日～12月1日
 - <視察先> 高野町、田辺市、那智勝浦町、白浜町、新宮市
 - <内 容> 東京都との連携により、東京から高野・熊野地域への観光ルートの紹介を目的とした動画を作成
- 訪日旅行サイト「Japan Travel.com」
 - <時 期> 11月3～5日
 - <取材先> 田辺市、白浜町、上富田町

- <内 容> 国内最大級の訪日旅行サイトによる和歌山県特設サイトのリニューアル及びサイクリングなど体験プログラムの核とした商品造成を目的とした視察を支援
- ドイツ語日本情報サイト「JAPAN DIGEST」
 - <時 期> 11月6日
 - <取材先> かつらぎ町、九度山町
 - <内 容> 日本情報を発信するドイツのWEBマガジンによる「柿」をテーマとした取材を支援
- ドイツ語日本情報サイト「JAPAN DIGEST」
 - <時 期> 11月12～13日
 - <取材先> 九度山町、かつらぎ町、高野町
 - <内 容> 徳島県及び香川県との連携により、ドイツ語で日本情報を発信するWEBマガジンに寄稿する「四国遍路と高野山」特集記事の取材を実施
- 関西広域観光PR動画ロケ
 - <時 期> 11月20～21日
 - <取材先> 那智勝浦町、田辺市、串本町
 - <内 容> 関西広域連合が企画・制作する観光PR動画のロケを支援
- ドイツ語日本情報サイト「JAPAN DIGEST」
 - <時 期> 11月下旬
 - <内 容> 日本情報を発信するドイツのWEBマガジンに熊野古道の特集記事2本を掲載
- 紀伊半島周遊アウトドアツーリズム推進事業
 - <時 期> 12月18～21日
 - <視察先> 田辺市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市
 - <内 容> 三重県との連携により外国人ライターを招聘し、サイクリングやダイビングなどアウトドアをテーマに紀伊半島を周遊するモデルルートを海外メディア「Rough Guides」「Voyapon」を通じて紹介
- 紀伊半島周遊ゴルフツーリズム推進事業
 - <時 期> 12月23～24日
 - <視察先> 那智勝浦町、日高川町
 - <内 容> 三重県との連携により、ゴルフ旅行専門メディア「Golf in Japan」の記者を招聘し、ゴルフツーリズムをテーマに紀伊半島を周遊するモデルルートを紹介
- 地域の観光資源を活用したプロモーション事業
 - <時 期> 3年2月
 - <内 容> 奈良県との連携により、奈良県南部から和歌山県北部地域への周遊するモデルルートを海外メディア「Wonderlust」「Voyapon」「Conde Nast Traveler」「Lonely Planet」「L'echo Touristique」で紹介
- 環境省「吉野熊野国立公園満喫プロジェクト」
 - <時 期> 3年2月28日～3月1日
 - <視察先> 田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 環境省近畿地方環境事務所が、国立公園の魅力を海外に向けて発信することを目的に招聘した外国人ジャーナリスト（米国、イタリア）及び旅行コンサルタント（日本、米国、英国）による吉野熊野国立公園内観光スポットの視察・取材を支援

○関西観光本部「外国人モニターツアーコンテンツ化事業（外国人コラムニスト招聘）」

<時 期> 3年3月8～10日

<視察先> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

<内 容> 関西観光本部との連携により、滋賀県在住の英国人コラムニストを招聘し、「ガーデンツーリズム」をテーマに外国人専門家の視点による周遊観光ルートの検証及び同本部が運営する海外向け観光情報サイト「The KANASAI GUIDE」に掲載する旅行記事を制作

○メディアコープ「The Japan Times」他

<時 期> 3年3月15～17日

<視察先> 白浜町、田辺市、串本町、那智勝浦町、新宮市

<内 容> 「ワーケーション」をフックに、白浜や熊野エリアを首都圏の外資系企業や在留外国人にプロモーションする記事を制作し、複数メディアへ掲載

○日本政府観光局（JNTO）訪日グローバルキャンペーンPV/KV制作

<時 期> 3年3月17日（ロケハン）、25日（撮影）

<視察先> 那智勝浦町

<内 容> 日本政府観光局（JNTO）が企画する訪日グローバルキャンペーン（Enjoy my Japan）用の動画を撮影

○ガーデンツーリズムPR用素材制作

<時 期> 3年3月下旬～

<取材先> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

<内 容> ガーデンツーリズムのPR用素材を制作するため、プロフォトグラファーによる庭園及び周辺の観光スポット等の写真撮影を実施

○旅行情報メディア「Passion Passport」

<時 期> 3年3月

<内 容> 高野山と熊野について、同WEBサイトへの記事掲載、Instagramへの投稿、他SNSやニュースレターでの情報発信

◇その他

○全日空「ANA Japan Travel Planner」

<時 期> 9月～3年5月（予定）

<内 容> 全日空が11言語で運営する旅行情報サイトで県内の観光地21カ所を紹介

○デジタル・マーケティング・セミナー

<時 期> 10月21～22日

<場 所> 那智勝浦町、白浜町

<内 容> 県内事業者を対象に海外OTA（3社）の事業紹介と相談会を実施

○ツーリズムEXPO ジャパン（オンライン商談会）

<時 期> 3年1月7～8日

<内 容> 海外向けツアー商品（韓国、台湾、タイ、マレーシア、フィリピン等）
を取り扱う旅行社6社とオンラインで商談を実施

○和歌山大学観光学部 ヘリテージツーリズム研修

<時 期> 3年1月9～10日

<場 所> 和歌山市、海南市

<内 容> 「和歌山の古道を歩く」をテーマに、持続可能な「スロートーリズム」
について学ぶことを目的としたフィールドワーク（於：和歌の浦、熊
野古道 藤白王子～所坂王子）に協力

○関西観光本部 関西在住外国人インタビュー

<時 期> 3年2月19日

<場 所> 田辺市

<内 容> 関西観光本部による観光業界で活躍する外国人へのインタビューを支
援するとともに、熊野古道中辺路の視察を実施

○和歌山大学観光学部「持続可能な観光地マネジメント・セミナー」

<時 期> 3年3月4日

<場 所> 和歌山市

<内 容> 持続可能な観光マネジメントについて学ぶことを目的に開催されたセ
ミナーのフィールドワーク（於：和歌の浦）に協力

○観光庁 上質なインバウンド観光サービス創出事業

<時 期> 3年3月15～18日

<場 所> 高野町、田辺市、新宮市、那智勝浦町

<内 容> 観光庁が、海外富裕層の誘客を目的に地方における上質な体験コンテ
ンツの発掘、磨き上げを目的に派遣したニュージーランド人アドバイ
ザー2名による視察を支援

(3) 『ネットメディア展開』で和歌山へ招く

◇多言語観光WEBサイト・SNS等による情報発信

美しい写真や映像を多用した多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」（9言語対応）に加え、Facebook 及び Instagram の「Visit Wakayama」（英語）を活用して情報発信します。

また、アジア主要6市場（中国、香港、台湾、韓国、タイ、インドネシア）に設置している観光プロモーターを通じて各市場における主要SNSでの現地語による情報発信を行うことにより、将来回復が期待される外国人観光客のニーズの変化と市場毎の特殊事情にタイムリーかつ柔軟に対応します。

なお、海外プロモーション実施時には、WEBサイト「Visit Wakayama」と連動した多言語観光パンフレット（11言語対応）を活用し、効果的な情報発信を行います。

※各市場をターゲットにしたSNS

市場	SNS名
欧米豪 (英語)	Facebook「Visit Wakayama」
	Instagram「Visit Wakayama」
中国	Weibo（中国版 Twitter）
	WeChat（中国版 Facebook）
香港	Facebook「All about Wakayama・日本和歌山」 Instagram「All about Wakayama・日本和歌山」
台湾	Facebook「遊日盟族」 ※観光プロモーターが運営する訪日観光情報SNS
韓国	Instagram「go_wakayama」 ※1月新規開設 ※同市場におけるトレンドを踏まえ Facebook から変更
タイ	Facebook「Wakayama IKORA」
インドネシア	Facebook「Wakayama Tourism Indonesia」
	Instagram「Wakayama.id」

◇グローバル・メディア等との共同キャンペーン

グローバルニュースネットワークであるCNNやBBC、世界的旅行ガイドブックであるロンリープラネットとの共同キャンペーンを展開します。

海外メディア（テレビ番組、旅行雑誌、ガイドブックなど）やインフルエンサー（ブログ、SNSなど）の招へいや取材支援を通じ、ストーリー性をもった情報発信や個人観光客の多様なニーズに対応したプロモーションを展開します。

アフターコロナにおける生活様式の変化に沿って、「安全・安心」「健康」「アウトドア（屋外型）」「サステナビリティ（持続可能性）」といったキーワードを意識し、世界遺産の巡礼道や国立公園・ジオパークなど豊かな自然を生かした体験プログラム、健康づくりをテーマとしたウェルネスツーリズム、庭園など文化財を活用したガーデンツーリズムなどを積極的に情報発信します。

近年、欧米豪市場を中心に、観光地が「サステイナブル（持続可能）」であることを重視する傾向が顕著であることから、ロンリープラネットから世界一の評価を受けたこの絶好の機会を活かし、和歌山県が誇る豊かな自然を背景に、観光と地域とが古くから持続可能な形で維持されきたことをアピールし、誘客に結び付けます。

2020実績

◇多言語観光WEBサイト「VISIT WAKAYAMA」

9言語（英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語繁体字・簡体字、韓国語、タイ語、インドネシア語）で運営する公式サイトで観光情報を発信

新規コンテンツとして、ガーデンツーリズム及びカフェ情報の特集ページを開設

◇多言語SNS「VISIT WAKAYAMA」

公式SNS (Facebook、Instagram) を活用して英語による観光情報を発信

◇観光プロモーターの活用

中国、香港、台湾、韓国、タイ及びインドネシアに設置している観光プロモーターが、現地語によりSNSにて情報発信

◇海外メディアとの共同キャンペーン

○BBCオンラインにおける和歌山県観光キャンペーン

<時期> 9月16日～11月23日

<内容> 英国拠点の世界大手メディアBBCのWEBサイト内にて和歌山県の観光魅力を紹介する特設ページを開設、バナー配信の実施

○CNNオンラインにおける和歌山県観光キャンペーン

<時期> 1月29日～3年3月30日

<内容> 米国拠点の世界大手メディアCNNのWEBサイト内にて和歌山県の観光魅力を紹介する特設ページを開設、バナー配信の実施

○Japan Travel.comにおける和歌山県観光キャンペーン

<時期> 1月29日～3年3月30日

<内容> 国内最大級訪日旅行サイト JapanTravel.com に新たにサイクリングツアーなど県内体験プログラムを紹介する特設ページを開設、バナー配信の実施

◇その他メディア取材支援・情報発信

※146項「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に市場別に記載

(4) 『テーマ別の取組』で和歌山へ招く

◇インバウンド向け体験型観光の推進

和歌山が誇る多彩なフルーツ狩りや大自然を背景としたサイクリング、カヌー、ダイビングなど和歌山ならではの体験型観光の魅力を提案することにより、外国人観光客の長期滞在・消費拡大を図ります。

◇スポーツツーリズムの推進

海外の旅行会社等にサイクリングやゴルフ等のレクリエーション活動を提案するとともに、コロナ収束後にはこれまで以上に増加が予想される外国人個人観光客をターゲットに、観光情報の発信を行うことで誘客を図ります。

また、2022年5月に延期されたワールドマスタースゲームズ2021関西には、関西地方各地で開催される全種目に外国人選手20,000人の参加が期待されます。開会式から閉会式までの期間が約1か月と比較的長く、参加選手による観光を目的とした周遊も期待できることから、県内の主要観光地との連携でキャンペーンを展開し、誘客につなげます。

◇医療・ウェルネスツーリズムの推進

「地域医療に影響を及ぼさないこと」を前提に、県内の医療機関・旅行会社・医療通訳養成機関と行政で構成する医療観光協議会の枠組みを活かして人間ドックと観光とを組み合わせたツアー商品の造成を図るとともに、サイクリングなど健康づくりをテーマにした体験プログラムを積極的に取り入れ、特色あるウェルネスツーリズムを推進します。

◇ガーデンツーリズムの推進 **=New=**

アフターコロナを意識して、これまでは観光資源としてあまり注目されてこなかった庭園を中心に、周辺の観光地や食文化、体験プログラムなども取り入れたストーリー性のある周遊観光を国内外に向けて提案します。

和歌山県内には「紀州徳川家所縁の庭園」や「高野山の庭園」など世界に誇れる庭園文化があります。この2つを主要なテーマにして、関係市町・団体とで構成する協議会を軸に、日本語及び多言語によるWEBサイト及びパンフレットの制作、国内外のメディアを通じた情報発信に取り組みます。

◇レンタカー観光の推進

レンタカー利用者向けの多言語ドライブマップ（英語、繁体字、韓国語）を活用し、公共交通機関の利用だけではアクセスが難しい地域を含めた周遊型の観光を海外旅行会社やメディアに提案します。

主なターゲット国：香港、台湾（左ハンドル）、韓国（左ハンドル）、タイ、シンガポール

◇インバウンド教育旅行の誘致 詳細 103 頁

◇外国クルーズ客船誘致による誘客促進

港湾行政を担当する県港湾空港局との連携により、訪日クルーズの客船運航会社等による視察への支援やWEBサイトによる情報発信を行います。

◇国際チャーター便による誘客促進

2021年秋の南紀白浜空港国際線ターミナル開設を控え、空港路線誘致及び空港振興行政を担当する県港湾空港局や空港を運営する(株)南紀白浜エアポートと連携し、国際チャーター便を利用した外国人観光客の誘客に取り組みます。

<取組内容>

空港路線誘致の主要なターゲットである東アジア3市場(中国沿岸部、韓国、台湾)の旅行会社に対してツアー商品の造成を働きかける際に、海外から和歌山県南部にダイレクトにアクセス可能な南紀白浜空港へのチャーター便の利用を提案します。

2020実績

◇インバウンド体験型観光の推進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。146項「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に市場別に記載

◇スポーツツーリズムの推進

※海外への情報発信や旅行会社ファムツアー、メディア取材支援時の行程・プログラムに組み入れ。146項「海外26か国・地域から和歌山へ招く」に市場別に記載

◇医療・ウェルネスツーリズムの推進

○在留中国人向けモニターツアーの実施【国事業】(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

○国内代理店等向けファムツアーの実施【国事業】(新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止)

○在留中国人向けプレゼンテーション・インタビューの実施【国事業】

<時期> 3年2月22日

<人数> 2人

○国内代理店向けプレゼンテーション・インタビューの実施【国事業】

<時期> 3年3月2日

<人数> 2人

○南海国際旅行

<時期> 3年3月28~29日

<視察先> 由良町、御坊市、白浜町、みなべ町、和歌山市

<内容> ウェルネスツーリズムのツアー商品造成を目的とした、在大阪の大手ランド旅行会社及び医療コーディネーターによる視察を支援

◇ガーデンツーリズムの推進

○関西観光本部「外国人モニターツアーコンテンツ化事業(外国人コラムニスト招聘)」

<時期> 3年3月8~10日

<視察先> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

<内容> 関西観光本部との連携により、滋賀県在住の英国人コラムニストを招聘し、「ガーデンツーリズムをテーマに外国人専門家の視点による周遊観光ルートの検証及び同本部が運営する海外向け観光情報サイト「The KANASAI GUIDE」に掲載する旅行記事を制作

○ガーデンツーリズムPR用素材制作

<時 期> 3年3月下旬～

<取材先> 和歌山市、岩出市、紀の川市、高野町

<内 容> ガーデンツーリズムのPR用素材を制作するため、プロフォトグラファーによる庭園及び周辺観光スポット等の写真撮影を実施

○和歌山県公式観光サイト「わかやま観光(日本語)」及び公式多言語観光サイト「VISIT WAKAYAMA(9言語)」にガーデンツーリズムの特集ページを開設

◇レンタカー観光の推進

○多言語ドライブマップの制作

<エリア> 高野山・山麓地域

<言 語> 英語

<内 容> アフターコロナ時代において増加が見込まれるレンタカーを利用する外国人観光客をターゲットに、公共交通機関及びレンタカーを活用した新たな周遊ルートを紹介するドライブマップを制作

(5) 『外国人観光客』を和歌山でもてなす

今後のインバウンドの段階的回復を見据え、ソフト面では公共交通を活用した移動環境の改善、交通パス等のデジタル化の強化や情報発信や多言語観光WEBサイトの充実、観光案内板等の多言語表示を進めていきます。また、外国人観光客が県内でショッピングを楽しむことができるよう消費税免税店の電子化対応やキャッシュレス決済の対応を推進します。さらに、多言語電話通訳・簡易翻訳サービスを提供するとともに、Wi-Fi アクセスポイントの利便性向上に引き続き取り組みます。

ハード面では引き続き、公衆トイレの快適性向上や美化促進を図るために、大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化などに市町村等と連携して取り組みます。

I 外国人観光客の受入

外国人観光客の皆様安心して快適に周遊していただき、より深く魅力を味わっていただくため、言語や文化、習慣の違いが原因で起こる様々な「困ったこと」を着実かつ効果的に解決する必要があります。

元年9～12月、観光庁が主要5空港で実施した「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート」の結果を見ると、旅行中全体を通して「困ったことはなかった」の割合が過去最高を記録し、各項目別でも全体的に「困った」割合が減少する一方、都市部と地方部の比較では、「公共交通の利用」や「無料公衆無線LAN環境」、「キャッシュレス対応」などについて「便利」と回答した割合が地方部で著しく低い結果となり、地方部における受入環境整備には改善の余地が大きいことが明らかになりました。

県では、こうした課題を解決するため、市町村や観光関係事業者等の皆様とともに受入環境の整備を進めています。

外国人観光客の移動環境づくり

◇デジタルを活用した観光周遊環境整備 =New=

情報検索やコンテンツ予約のデジタル対応、キャッシュレスの推進など、非接触が求められるウィズコロナ時代の観光ニーズに対応し、スマートフォン1つで観光周遊できるよう多言語WEBアプリを構築し、交通パス等のデジタル化を軸にワンストップで様々な観光コンテンツを提供する環境を整備します。

◇公共交通等の移動環境の整備

外国人個人観光客が紀伊半島をストレスなく公共交通等を利用して移動できるよう、交通事業者の連携により交通アクセスの改善や多言語案内表示など、世界遺産エリアを中心に県域をまたぐ統一的な受入環境整備を推進するとともに、紀伊半島周遊ルート等の情報を発信します。

2020実績

◇公共交通の移動環境の整備

高野山・熊野・伊勢路エリアを中心に県域をまたいで多言語案内表示等を整備し、外国

人個人観光客が紀伊半島をストレスなく公共交通を活用して紀伊半島を快適かつ円滑に周遊できる環境を整備

<対象地域> 高野山・熊野・伊勢路エリア

<協議体> 紀伊半島外国人観光客受入推進協議会(4月1日設立)

バス事業者、JR西日本、南海電鉄、国、県、関係自治体、DMO

6月29日 第1回総会

10月16日 第1回二次交通部会

10月28日 第2回総会

3年3月3日 第2回二次交通部会

<主な整備内容> 本宮大社前バス停における乗り換え案内の充実(デジタルサインエージの設置)

高野山内、伊勢路沿いのバス停等における多言語案内等の充実
中辺路、小辺路、伊勢路の公共交通ガイドマップの作成

◇観光のデジタル化を推進する体制の整備

高野山エリアをモデル地域として、外国人観光客をはじめ、国内外で進む個人旅行化、スマートフォンを活用した情報検索や決済、コロナ時代を見据えた混雑緩和対策など、旅行スタイルの変化に対応したIT技術の活用を推進

<協議体> 高野山デジタル対応推進部会(※紀伊半島外国人観光客受入推進協議会内に設置)(10月28日設立)

南海りんかんバス、南海電鉄、高野町、県

12月23日 第1回部会

3月23日 第2回部会

◇「高野山デジタルパス」実証事業

キャッシュレス対応、人と人との接触の最小限化を図るため、高野山内のバスや観光施設等のチケットの決済・発行・利用がスマートフォン1つで可能となる「高野山デジタルパス」の実証事業を実施

<時期> 1月8日～3月21日

<内容> バス1日フリー乗車券(山内店舗クーポンを含む)、諸堂共通内拝券、
霊宝館入場券のデジタル化

<連携先> 南海電鉄、南海りんかんバス、金剛峯寺、高野山文化保存会

外国人観光客受入環境整備

◇宿泊施設等のバリアフリー化の推進 =New=

高齢者や障害のある人などあらゆる人が、安全で快適に旅行できる環境を整備するとともに、ウィズコロナ時代において反転攻勢に転じるための新たな魅力を創造し、集客力の向上を図るため、宿泊施設等のバリアフリー化を推進します。

◇和歌山県版通訳ガイド育成研修、情報発信などの実施

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に外国語(英語・中国語・フランス語・スペイン語)でガイドができる本県独自の有償観光ガイド(和歌山県版通訳

ガイド)の育成を図ります。また、登録済みガイドの就業促進のため、ガイド情報を発信するとともに、ビジネスマッチング会やスキルアップ研修を実施します。

◇Wi-Fi環境の整備と活用

市町村が実施するWi-Fi環境の整備を支援します。また、多言語観光WEBサイト「Visit Wakayama」に「和歌山フリーWi-Fi」のアクセスポイント情報を掲載し活用を図るとともに、KANSAI Wi-Fi」アプリを活用した情報発信を推進します。

◇多言語案内表示の整備・充実

市町村が実施する多言語案内表示の整備を支援します。また、観光地における案内表示の多言語化を推進するとともに、英語による案内表示に関するガイドラインを充実させ、観光地の英語名称の統一を推進します。

◇和歌山ほんまもん体験インバウンド対応支援

外国人観光客の誘客と長期滞在化と消費拡大を図るため、「和歌山ほんまもん体験」を磨き上げるとともに外国人目線でのコンテンツ開発等への支援を実施し、インバウンド向け体験型観光を推進するとともに、情報発信を強化します。

◇多言語電話通訳・簡易翻訳サービスの導入

接客等における外国人観光客とのコミュニケーションを支援するため、観光関係施設等に対して、多言語で原則24時間体制の電話通訳サービスやチラシ等の簡易翻訳サービスを提供するとともに、翻訳機器の積極的な活用を推進します。

◇グローバルメディアを活用した県内事業者の情報発信強化

世界的に高いシェアを占めるグローバルメディアを活用し、観光関係者自らがタイムリーに外国人観光客に情報を提供する取組や、得られたデータを分析しマーケティングに活用する取組を推進します。

◇外国人観光客向け消費環境の整備

県内で外国人観光客の消費拡大につなげるため、観光関係施設や飲食店でのメニューの多言語化、キャッシュレス化や消費税免税店の拡大を推進するとともに、情報発信に取り組みます。

◇観光案内所の整備促進

外国人観光客の受け入れ体制の整った、JNTO認定の観光案内所の整備を促進します。

2020実績

◇和歌山県版通訳ガイドの養成

「高野山・熊野」の世界遺産エリアを外国人観光客に有償でガイドができる本県独自の観光ガイド(和歌山県版通訳ガイド)を育成・認定・登録

<登録者数> 232人(3年3月現在)

英語212人・中国語13人・フランス語3人・スペイン語4人

<資格取得に係る研修及び試験>

・募集 8月1～31日

・申込(応募)67人

・研修 9月20日～3年2月13日

・試験 3年3月21日 口述試験

◇Wi-Fi環境の整備（AP＝アクセスポイント）

平成28年3月末：約800か所・1,200AP

和歌山フリーWi-Fiポータルサイト 運用開始

2年9月末：1,151か所・1,648AP

◇多言語案内表示の整備

外国人観光客が円滑・快適に本県を移動・滞在できるようにあらゆる場面で必要となる多言語案内表示の整備

<箇所数> 27か所（3年3月末時点）

<備考> 平成29年度42か所、30年度195か所、元年度38か所

◇ほんまもん体験インバウンド対応支援

<支援先>（一社）高野山麓ツーリズムビューロー

<内容> 体験型観光コンテンツを含む商品造成のためのワークショップ及びモニターツアーの実施に対する支援

◇多言語電話通訳・簡易翻訳サービス

<登録者数> 74施設

<電話通訳実績> 12件（3年2月末）

<消防実績> 7件（3年2月末）

<簡易翻訳実績> 288件（3年2月末）

◇県内免税店の状況

<店舗数> 197店舗（9月30日現在／観光庁発表資料）

◇セミナーの開催

観光客の消費拡大に向け、地域で取り組むべきデータを活用したマーケティングと観光客へのスマートフォンを利用した情報発信の必要性についてセミナーを開催

<時期> 10月21～22日

<場所> 那智勝浦町、白浜町

<参加者> 那智勝浦会場36名、白浜会場44名、オンライン13名

<内容> ○デジタルマーケティングの概要、スマートフォンを活用した店舗・設情報の発信

【講師】永山卓也氏

（Google社公認GMB・GoogleMapゴールドエキスパート）

○OTA活用による情報発信のメリット等

【講師】石川美奈氏

（Trip.comグループ日本マーケティング戦略部部長）

○観光客が体験をする際のニーズ等

【講師】荒木篤実氏（チケッツインターナショナル日本支店代表）

○Go To トラベル地域共通クーポンにかかる制度概要等

【講師】Go To トラベル事務局（和歌山事務局）

◇観光案内所の状況

<JNTO認定の観光案内所> 27か所（3年3月末現在）

※30年3月末現在 10か所

- II 夜の楽しみ方の提案 詳細 131 頁
- III 快適観光空間の創造 詳細 132 頁
- IV 二次交通（路線バス） 詳細 132 頁